

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

3-1 調査の概要

ここでは、今後のまちづくりの方向性を検討するため、以下の調査により、本市のまちづくりに関する市民の意向を把握します。

【整理対象の調査】

① 市民意識調査

- ・今後の市政運営に活用することを目的に、市が進めている取り組みに対する評価や今後のまちづくりについての意向を把握するため、企画政策課が実施した調査。

② 蒲郡市のまちづくりに関するアンケート調査

- ・都市計画マスタープラン策定にあたり、生活環境の現状や本市の中心拠点である蒲郡駅周辺の今後のまちづくりについて市民の意向を把握するため、都市計画課が実施した調査。

③ 転出入者アンケート

- ・市民課窓口にて転入または転出の手続をした方に依頼している、転居理由などに関する調査。

3-2 蒲郡市市民意識調査

(1) 調査概要

本市では、今後の市政の運営方針を決定するため、市が進めている取り組みなどについての意向調査を実施しており、まちづくりに関連する内容について、調査結果を整理します。

■調査概要

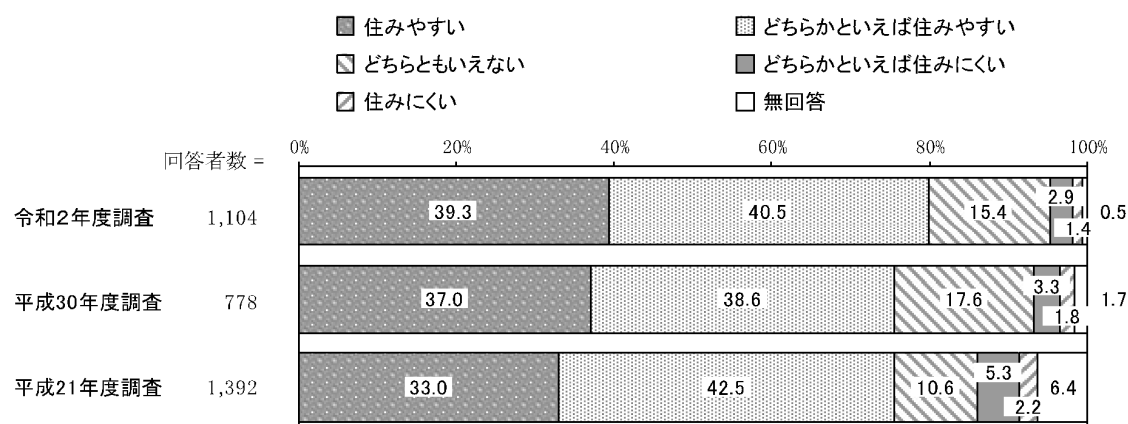
調査対象	18歳以上の蒲郡市民（無作為抽出）
調査期間	令和2年7月1日（水）～令和2年7月20日（月）
調査方法	配布：郵送 回収：郵送
回収状況	配布数：2,000通 回収数：1,104通（回収率：55.2%）

(2) 調査結果

○蒲郡市の住みやすさ・印象について

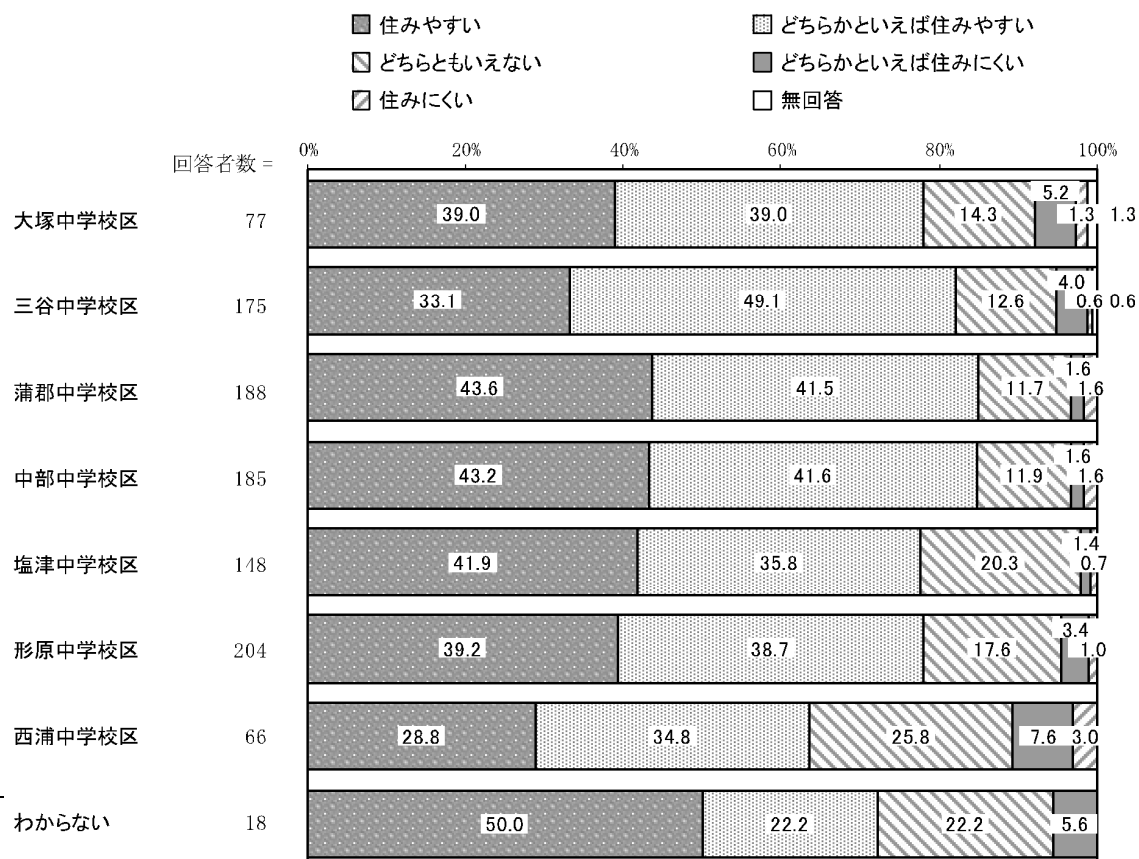
(問1) 蒲郡市は住みやすいまちだと思うか

- ・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた“住みやすい”の割合が79.8%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」をあわせた“住みにくい”の割合が4.3%、「どちらともいえない」の割合が15.4%となっています。

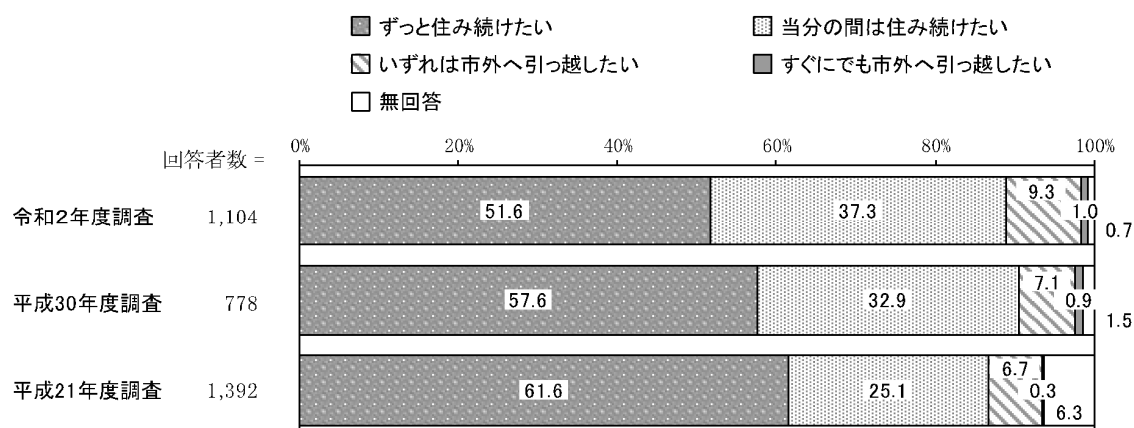


◇居住地別

- ・蒲郡中学校区、中部中学校区で“住みやすい”の割合が高く、80%以上となっています。
- ・西浦中学校区は、“住みにくい”の割合が10.6%と高くなっています。

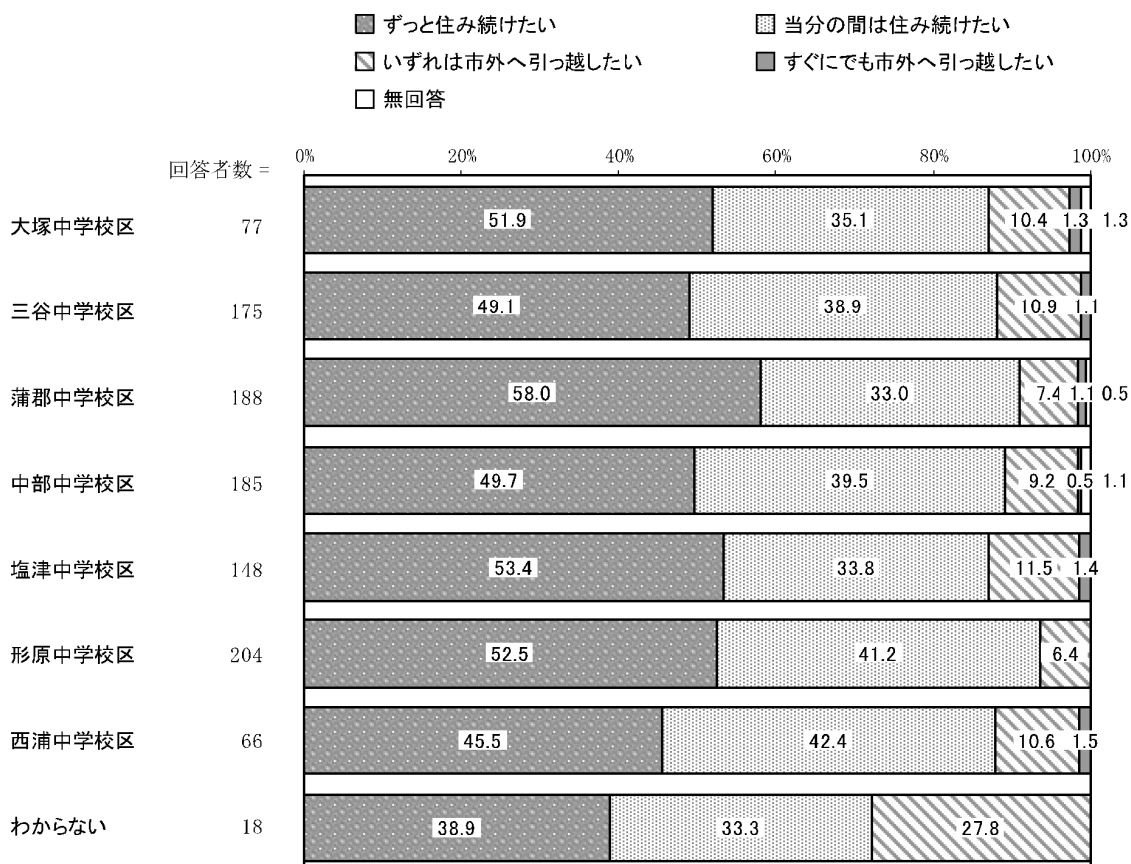


- ・「ずっと住み続けたい」の割合が51.6%と最も高く、次いで「当分の間は住み続けたい」の割合が37.3%となっています。
- ・平成21年度調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」の割合が61.6%から51.6%と10.0%減少しています。



◇居住地別

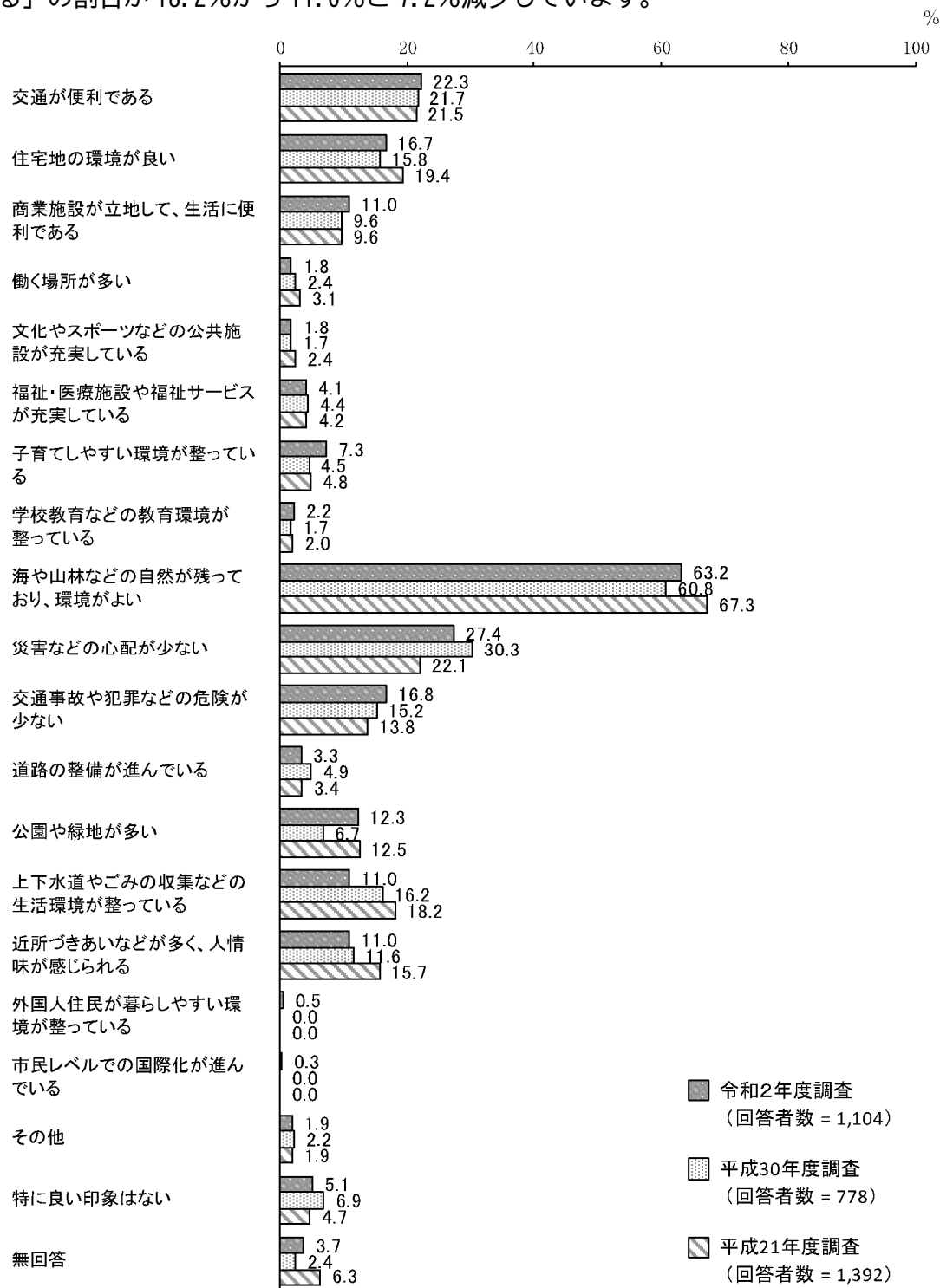
- ・蒲郡中学校区は、「ずっと住み続けたい」の割合が58.0%と高くなっています。



第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

(問3) 蒲郡市に対する良い印象

- ・「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」の割合が63.2%と最も高く、次いで「災害などの心配が少ない」の割合が27.4%、「交通が便利である」の割合が22.3%となっています。
- ・平成21年度調査と比較すると、「上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている」の割合が18.2%から11.0%と7.2%減少しています。



※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

◇居住地別

- ・どの中学校区についても、「海や山林などの自然が残っており、環境がよい」の割合が最も高く、60%以上となっており、特に西浦中学校区は77.3%と最も高くなっています。
- ・中部中学校区は、他の中学校区と比較して、「災害などの心配が少ない」の割合が35.7%と高く、また蒲郡中学校区は、「交通が便利である」の割合が35.1%と高くなっています。

単位：％

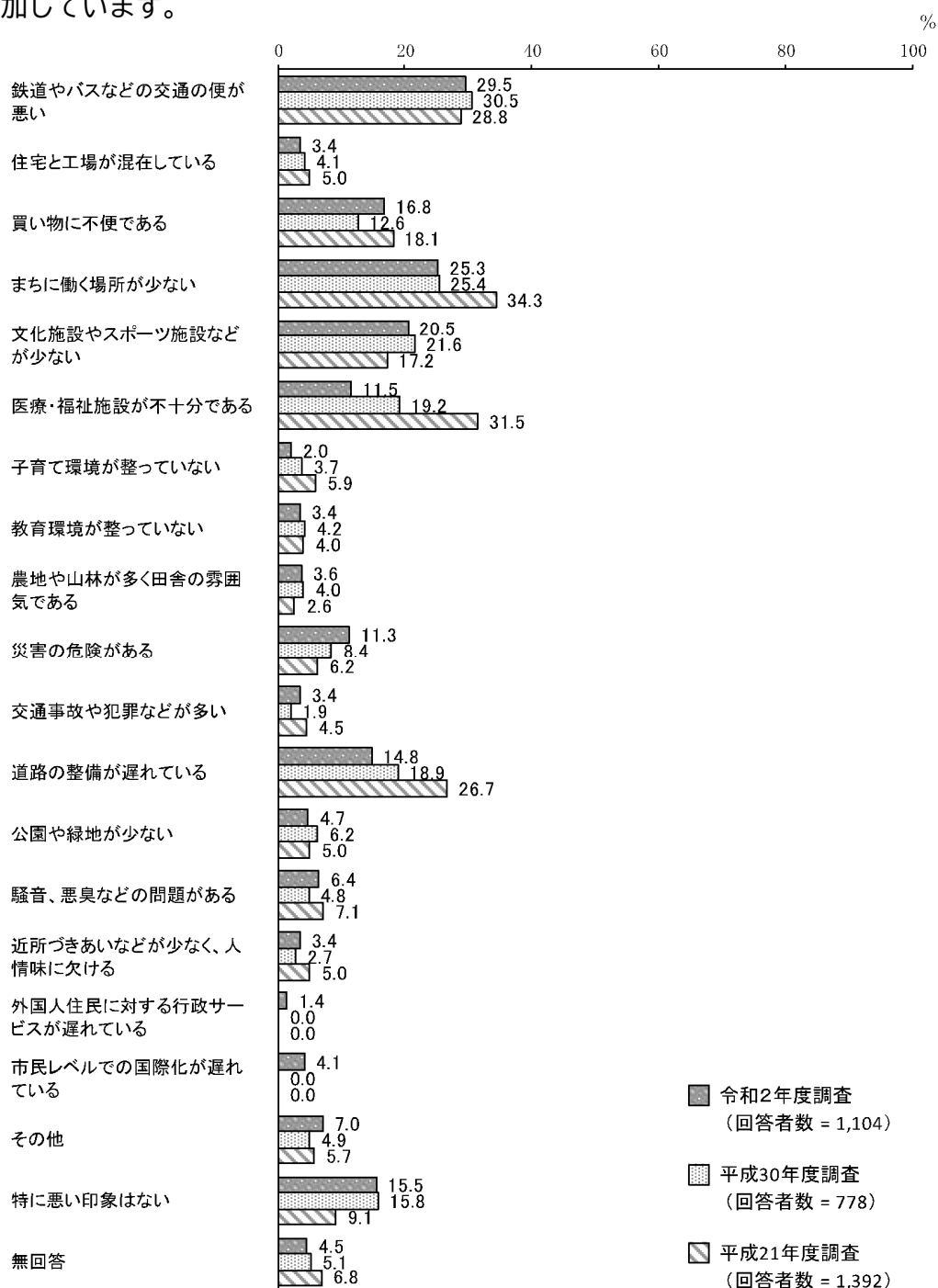
		蒲郡市に対する良い印象									
		交通が便利である	住宅地の環境が良い	商業施設が立地して、生活に便利である	働く場所が多い	文化施設が充実している	福祉・医療施設が充実している	子育てしやすい環境が整っている	学校教育などの教育環境が整っている	海や山林などの自然が残っており、環境がよい	災害などの心配が少ない
居住地	大塚中学校区 (n=77)	14.3%	14.3%	—	2.6%	2.6%	3.9%	3.9%	2.6%	75.3%	20.8%
	三谷中学校区 (n=175)	20.0%	20.0%	13.7%	1.1%	1.7%	5.1%	5.1%	2.3%	61.1%	21.7%
	蒲郡中学校区 (n=188)	35.1%	18.6%	11.7%	1.1%	1.1%	3.2%	6.9%	—	61.7%	31.9%
	中部中学校区 (n=185)	27.6%	16.8%	7.6%	1.1%	1.6%	5.4%	9.2%	2.2%	62.2%	35.7%
	塩津中学校区 (n=148)	25.7%	12.8%	21.6%	4.1%	2.7%	2.7%	8.8%	2.7%	60.8%	27.7%
	形原中学校区 (n=204)	12.7%	18.6%	9.8%	2.0%	2.5%	4.4%	7.4%	3.4%	67.6%	20.6%
	西浦中学校区 (n=66)	9.1%	12.1%	1.5%	1.5%	1.5%	3.0%	12.1%	3.0%	77.3%	28.8%
	わからない (n=18)	—	16.7%	22.2%	5.6%	—	5.6%	16.7%	5.6%	33.3%	22.2%
		蒲郡市に対する良い印象									
		危険が少ない	道路の整備が進んでいる	公園や緑地が多い	生活環境が整っている	近所づきあいが多く、人情味を感じる	外国人が住んでいる	市民レベルでの国際化が進んでいる	その他	特に良い印象はない	無回答
居住地	大塚中学校区 (n=77)	20.8%	5.2%	9.1%	15.6%	15.6%	1.3%	—	3.9%	7.8%	2.6%
	三谷中学校区 (n=175)	16.6%	5.1%	11.4%	13.7%	12.6%	0.6%	1.1%	1.7%	6.3%	4.0%
	蒲郡中学校区 (n=188)	17.6%	3.2%	11.2%	13.8%	8.0%	—	0.5%	2.1%	2.7%	4.3%
	中部中学校区 (n=185)	16.2%	3.2%	15.1%	8.1%	9.2%	0.5%	—	1.6%	3.2%	2.7%
	塩津中学校区 (n=148)	11.5%	2.7%	11.5%	8.1%	12.2%	0.7%	—	2.0%	2.7%	2.7%
	形原中学校区 (n=204)	18.1%	1.5%	15.7%	8.8%	11.3%	0.5%	—	1.5%	7.4%	2.5%
	西浦中学校区 (n=66)	24.2%	—	4.5%	9.1%	16.7%	—	—	1.5%	4.5%	1.5%
	わからない (n=18)	11.1%	—	22.2%	—	5.6%	—	—	5.6%	16.7%	11.1%

太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

(問4) 蒲郡市に対する悪い印象

- ・「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」の割合が29.5%と最も高く、次いで「まちに働く場所が少ない」の割合が25.3%、「文化施設やスポーツ施設などが少ない」の割合が20.5%となっています。
- ・平成21年度調査と比較すると、「医療・福祉施設が不十分である」の割合が31.5%から11.5%と20.0%減少しており、「道路の整備が遅れている」の割合が26.7%から14.8%と11.9%減少し、「まちに働く場所が少ない」の割合が34.3%から25.3%と9.0%減少しています。一方、「災害の危険がある」の割合が6.2%から11.3%と5.1%増加しています。



※複数回答のため、各項目の合計値は100%とにならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別

- ・形原中学校区は、他の中学校区と比較して、「鉄道やバスなどの交通の便が悪い」の割合が40.7%と高くなっています。
- ・大塚中学校区は、「買い物に不便である」の割合が37.7%と高くなっています。

単位：％

		蒲郡市に対する悪い印象									
		便鉄 道やバ スなど の交通 の	住宅 と工場 が混在 している	買 い物に 不便で ある	ま ちに働 く場所 が少ない	文化 施設や スポーツ 施設 などが 少ない	医療・ 福祉 施設が 不十分 で	子育 て環境 が整っ ていない	教育 環境が 整って いない	農地や 山林が 多く田 舎の	災害 の危険 がある
居住地	大塚中学校区 (n=77)	36.4%	—	37.7%	20.8%	23.4%	11.7%	6.5%	6.5%	3.9%	11.7%
	三谷中学校区 (n=175)	27.4%	2.9%	17.1%	20.6%	20.0%	13.7%	1.7%	5.1%	1.1%	14.9%
	蒲郡中学校区 (n=188)	19.1%	3.7%	14.4%	25.5%	23.9%	13.3%	1.6%	4.8%	5.3%	10.6%
	中部中学校区 (n=185)	27.6%	1.6%	15.1%	27.0%	19.5%	11.4%	1.6%	2.7%	5.4%	6.5%
	塩津中学校区 (n=148)	24.3%	3.4%	12.2%	26.4%	21.6%	8.8%	2.0%	3.4%	4.7%	14.2%
	形原中学校区 (n=204)	40.7%	6.4%	13.7%	26.5%	20.6%	8.8%	1.0%	0.5%	2.5%	10.3%
	西浦中学校区 (n=66)	37.9%	4.5%	31.8%	34.8%	19.7%	9.1%	4.5%	—	3.0%	13.6%
	わからない(n=18)	38.9%	5.6%	—	27.8%	11.1%	5.6%	—	—	—	11.1%
		蒲郡市に対する悪い印象									
		交通 事故や 犯罪な どが多 い	道路 の整備 が遅れ ている	公園 や緑地 が少ない	騒音、 悪臭な どの問 題があ る	近所づ きに欠 けるな どが少 なく、	外国 人が住 民に対 する行 政	市民レ ベルで の国際 化が	その他	特に悪 い印象 はない	無回 答
居住地	大塚中学校区 (n=77)	2.6%	19.5%	6.5%	9.1%	1.3%	1.3%	3.9%	9.1%	6.5%	5.2%
	三谷中学校区 (n=175)	2.3%	12.6%	2.3%	5.7%	4.6%	0.6%	4.0%	5.1%	17.7%	4.6%
	蒲郡中学校区 (n=188)	4.3%	12.2%	9.0%	6.4%	1.6%	1.6%	6.9%	10.1%	14.9%	3.2%
	中部中学校区 (n=185)	1.6%	19.5%	2.7%	7.6%	4.3%	1.6%	2.7%	6.5%	16.8%	4.3%
	塩津中学校区 (n=148)	7.4%	17.6%	7.4%	10.1%	2.7%	3.4%	4.1%	6.8%	14.9%	2.0%
	形原中学校区 (n=204)	2.5%	15.2%	2.5%	4.4%	3.4%	0.5%	3.4%	5.9%	17.6%	5.9%
	西浦中学校区 (n=66)	1.5%	10.6%	6.1%	1.5%	1.5%	—	3.0%	4.5%	10.6%	4.5%
	わからない(n=18)	5.6%	5.6%	5.6%	11.1%	5.6%	—	—	11.1%	16.7%	11.1%

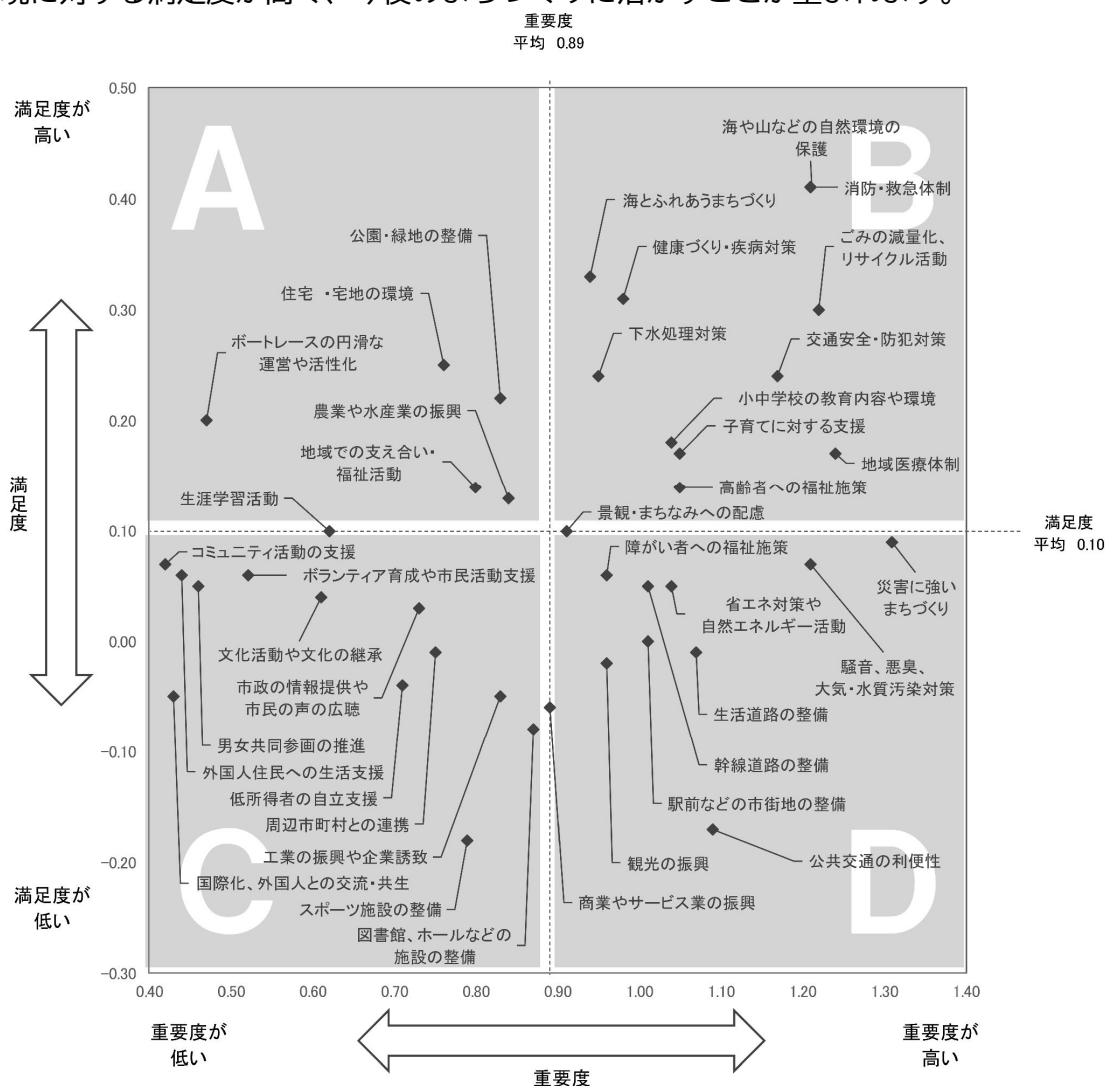
太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

○蒲郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度について

(問5) 施策に対する重要度と満足度

- ・「公共交通の利便性」「生活道路の整備」「幹線道路の整備」などの交通環境にかかわる項目、「災害に強いまちづくり」などの安心・安全な暮らしにかかわる項目、「駅前などの市街地整備」といった都市構造上の拠点形成にかかわる項目、「高齢者への福祉施策」「障がい者への福祉施策」などの福祉にかかわる項目などが、重要度が高くなっています。
- ・「海や山などの自然環境の保護」「海とふれあうまちづくり」といった、豊かな自然環境に対する満足度が高く、今後のまちづくりに活かすことが望まれます。



A：維持施策項目 満足度が高く、重要度は低い

このままの状態を保つことが求められている。

B：重点維持施策項目 満足度が高く、重要度も高い

おおむね満足が得られているが、引き続き維持していくことが求められている。

C：ウォッチング施策項目 満足度が低く、重要度も低い

推移を注目していくことが求められている。喫緊性は高くないものの、生活の質を高めるなどのために、満足度を上げていくことが求められている。

D：重点改善施策項目 満足度が低く重要度が高い

最優先で改善が求められている。

◇過年度との比較（都市計画に関わりの強い項目に対する重要度と満足度について）

- ・「海や山などの自然環境の保護」や「海とふれあうまちづくり」の重要度、満足度がともに高く、本市の自然を活かしたまちづくりが望まれています。
- ・「災害に強いまちづくり」や「交通安全・防犯対策」、「生活道路の整備」の重要度が高く、安全・安心に暮らせるまちが望まれています。
- ・バス・鉄道の「公共交通の利便性」の重要度が高い一方で、満足度が低い状況です。
- ・「駅前などの市街地の整備」の重要度が高まる一方、満足度は低下しています。

■都市計画に関わりの強い項目に対する重要度と満足度

分野	評価項目	重要度			満足度		
		H21	R2	R2-H21	H21	R2	R2-H21
土地利用	住宅・宅地の環境	51.7%	56.7%	+5.0%	27.4%	31.5%	+4.1%
	工業の振興や企業誘致	54.5%	56.1%	+1.6%	13.7%	12.3%	▲1.4%
	商業やサービス業の振興	54.7%	60.5%	+5.8%	7.3%	14.6%	+7.3%
	駅前などの市街地の整備	60.5%	71.0%	+10.5%	43.5%	31.2%	▲12.3%
	農業や水産業の振興	54.8%	57.1%	+2.3%	55.7%	57.1%	+1.4%
施設整備	幹線道路の整備	66.2%	69.4%	+3.2%	21.9%	32.0%	+10.1%
	生活道路の整備	67.8%	73.1%	+5.3%	23.5%	29.9%	+6.4%
	交通安全・防犯対策	71.4%	74.3%	+2.9%	71.4%	74.1%	+2.7%
	公共交通の利便性	66.5%	73.2%	+6.7%	20.2%	24.5%	+4.3%
	公園・緑地の整備	57.3%	63.7%	+6.4%	33.3%	36.3%	+3.0%
	下水処理対策	61.3%	63.0%	+1.7%	31.9%	34.9%	+3.0%
自然環境	海や山などの自然環境の保護	75.0%	79.2%	+4.2%	39.1%	45.1%	+6.0%
	海とふれあうまちづくり	70.1%	69.1%	▲1.0%	35.1%	39.1%	+4.0%
都市景観	景観・まちなみへの配慮	57.0%	66.1%	+9.1%	27.8%	30.0%	+2.2%
防災施設	災害に強いまちづくり	69.7%	77.8%	+8.1%	13.7%	21.3%	+7.6%
産業基盤	観光の振興	57.9%	63.1%	+5.2%	16.3%	18.2%	+1.9%

※評価項目は分野横断的な指標があるが、代表的な分野で表示しています。

※重要度は、各評価項目について「重要」または「やや重要」と回答した人の割合

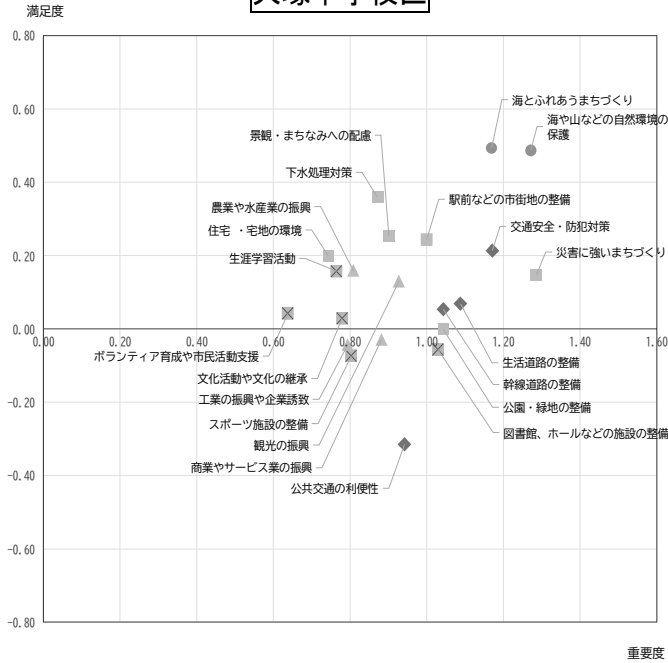
※満足度は、各評価項目について「満足」または「やや満足」と回答した人の割合

◇居住地別

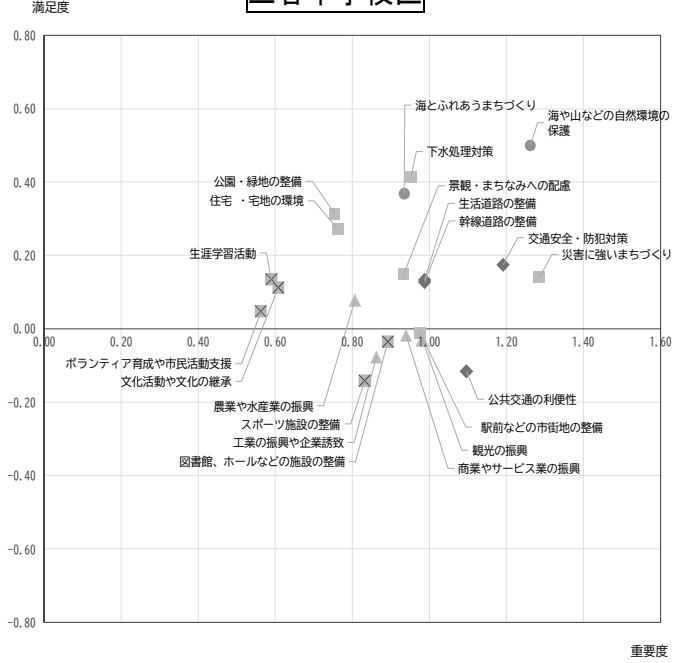
- ・どの中学校区についても、「海や山などの自然環境の保護」「海とふれあうまちづくり」など、本市の自然を活かしたまちづくりに関する項目は、重要度、満足度ともに高くなっています。
- ・「災害に強いまちづくり」「交通安全・防犯対策」などの安全・安心なまちづくりに関する項目の重要度が高くなっています。
- ・「公共交通の利便性」も重要度が高くなっていますが、蒲郡中学校区を除く全ての中学校区で、満足度が低くなっています。特に、西浦中学校区は、満足度が低くなっています。
- ・平成21年度調査と比較すると、どの中学校区においても「駅前などの市街地の整備」の重要度が高まる一方で、満足度は低下しており、特に、三谷中学校区、中部中学校区、西浦中学校区は、満足度が低下しています。

◇居住地別（1）

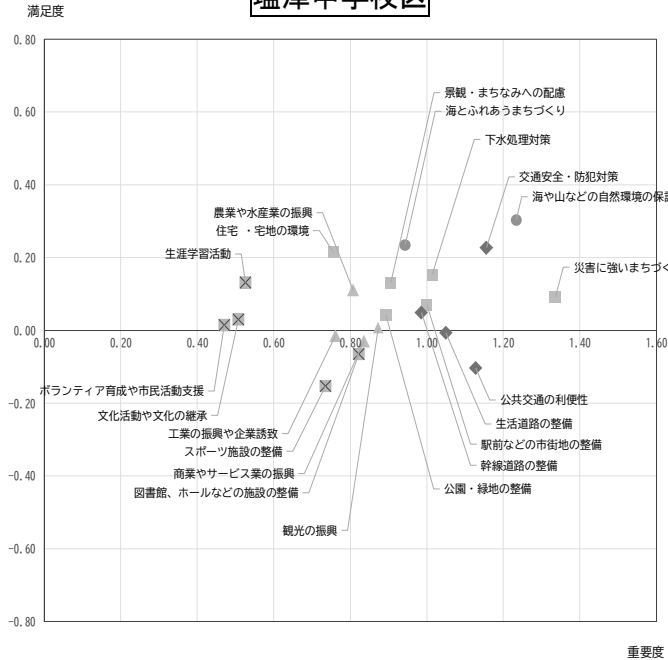
大塚中学校区



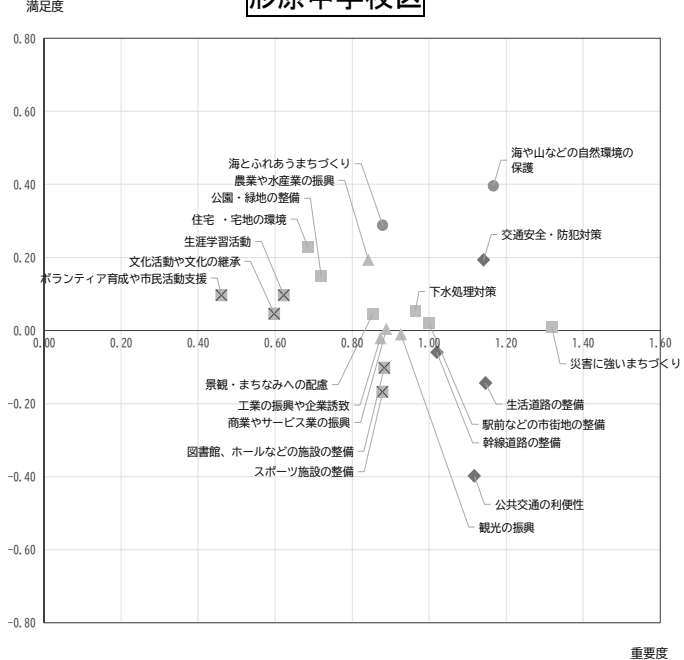
三谷中学校区



塩津中学校区



形原中学校区



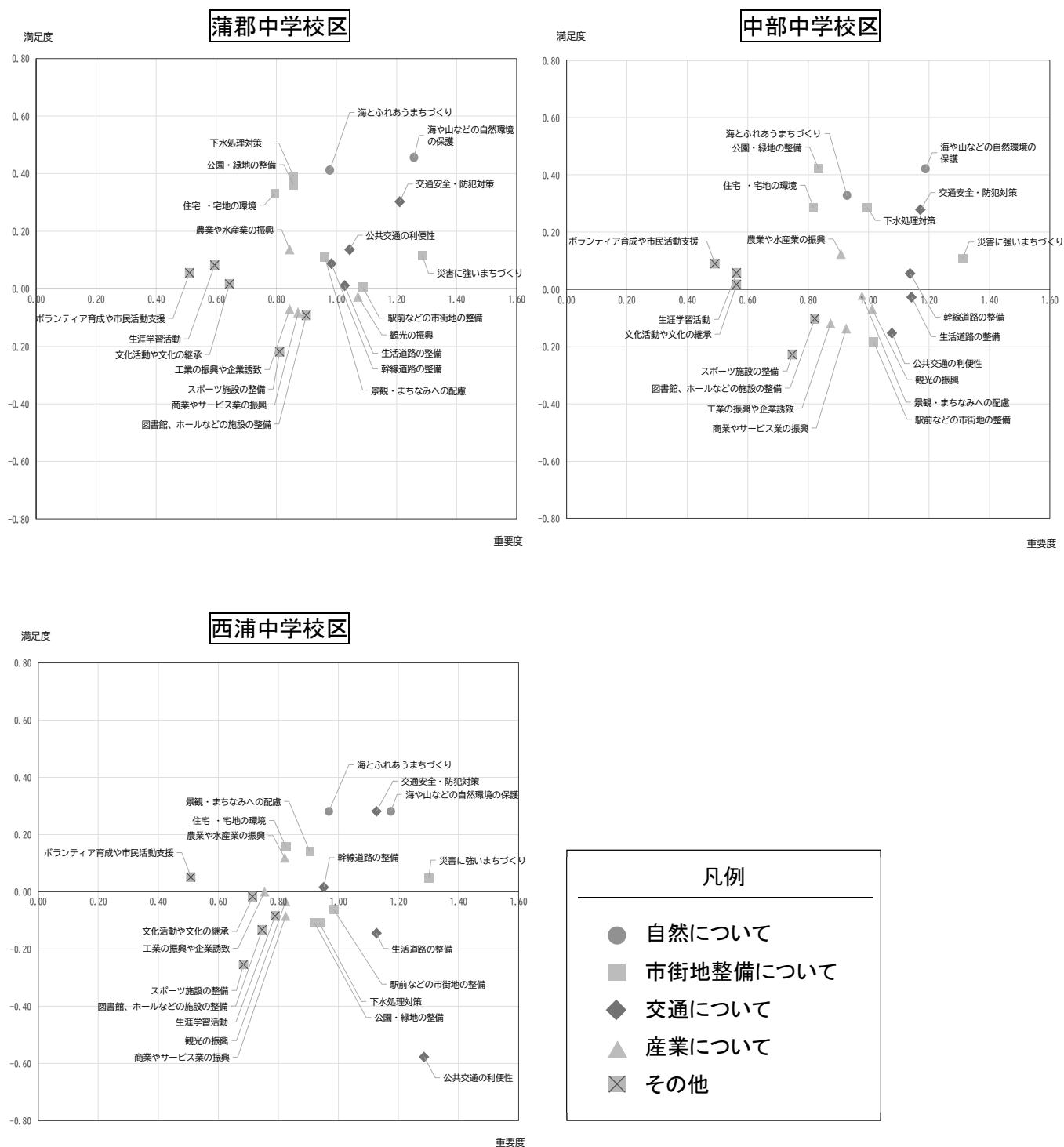
※満足度・重要度は、項目ごとの5段階評価を以下のように点数化して平均値を算出している。

【満足度】満足：2点、やや満足：1点、どちらとも言えない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点

【重要度】重要：2点、やや重要：1点、どちらとも言えない：0点、あまり重要でない：-1点、重要でない：-2点

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別（2）



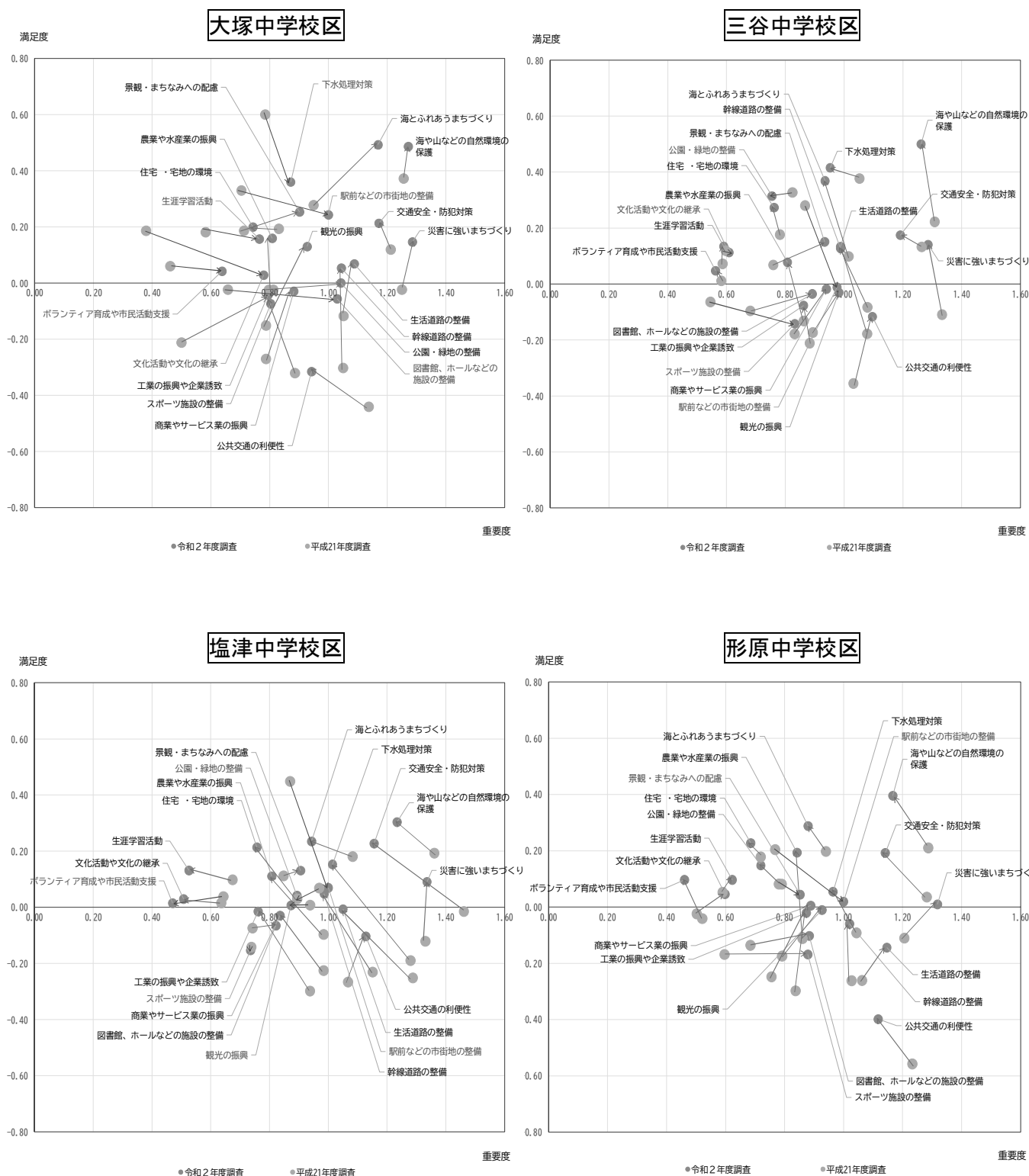
※満足度・重要度は、項目ごとの5段階評価を以下のように点数化して平均値を算出している。

【満足度】満足：2点、やや満足：1点、どちらとも言えない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点

【重要度】重要：2点、やや重要：1点、どちらとも言えない：0点、あまり重要でない：-1点、重要でない：-2点

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別（平成21年度調査と令和2年度調査の比較）（1）



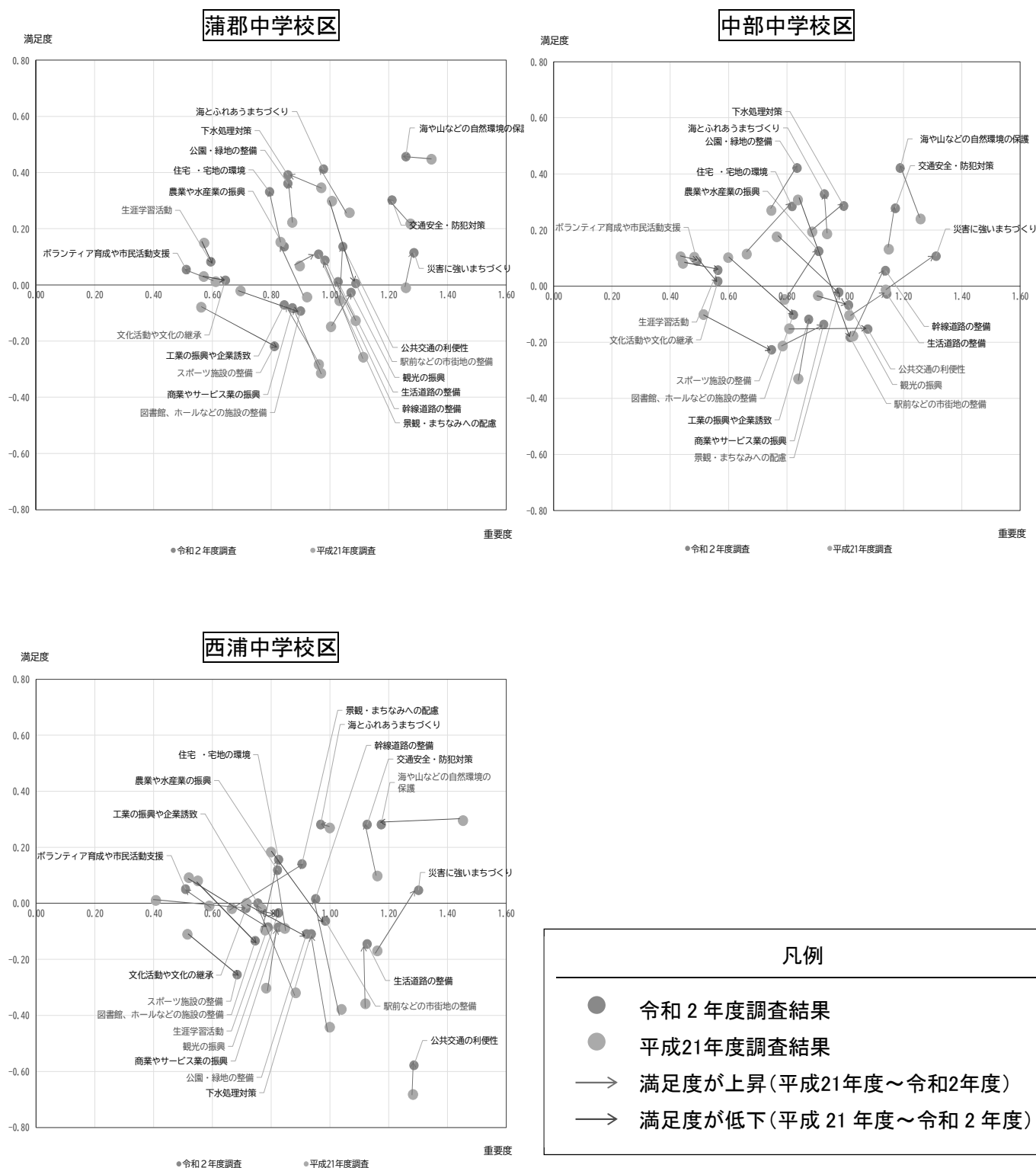
※満足度・重要度は、項目ごとの5段階評価を以下のように点数化して平均値を算出している。

【満足度】 満足：2点、やや満足：1点、どちらとも言えない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点

【重要度】 重要：2点、やや重要：1点、どちらとも言えない：0点、あまり重要でない：-1点、重要でない：-2点

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別（平成21年度調査と令和2年度調査の比較）（2）



※満足度・重要度は、項目ごとの5段階評価を以下のように点数化して平均値を算出している。

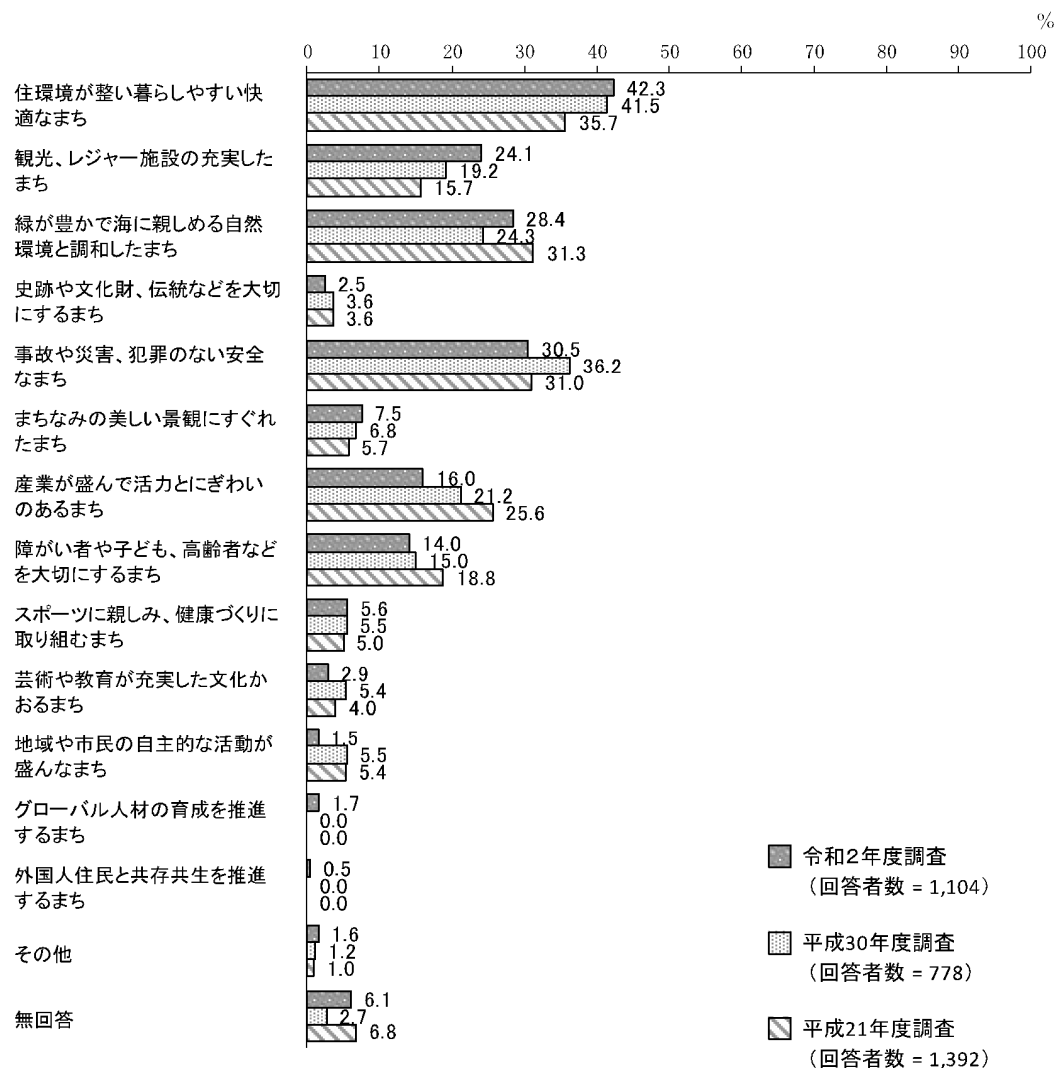
【満足度】満足：2点、やや満足：1点、どちらとも言えない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点

【重要度】重要：2点、やや重要：1点、どちらとも言えない：0点、あまり重要でない：-1点、重要でない：-2点

○これからのまちづくりについて

（問6）蒲郡市の魅力を高めるために目指すべき将来像

- ・「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合が42.3%と最も高く、次いで「事故や災害、犯罪のない安全なまち」の割合が30.5%、「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」の割合が28.4%となっています。
- ・平成21年度調査と比較すると、「観光、レジャー施設の充実したまち」の割合が15.7%から24.1%と8.4%増加しており、「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合が35.7%から42.3%と6.6%増加しています。一方、「産業が盛んで活力と賑わいのあるまち」の割合が25.6%から16.0%と9.6%減少しています。



※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別

- ・「住環境が整い暮らしやすい快適なまち」の割合がどの中学校区でも最も高く、特に中部中学校区は46.5%、蒲郡中学校区が46.3%と高くなっています。
- ・西浦中学校区は、他の中学校区と比較して、「緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち」の割合が37.9%と高く、塩津中学校区と中部中学校区は、「観光、レジャー施設の充実したまち」の割合がそれぞれ30.4%、27.0%と高くなっています。一方、大塚中学校区は、「産業が盛んで活力と賑わいのあるまち」の割合が5.2%と低くなっています。

単位：％

		目指すべき将来像									
		快適なまちが整い暮らしやすい	観光、レジャー施設の充実したまち	緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち	史跡や文化財、伝統などを大切にす	事故や災害、犯罪のない安全なまち	まちなみの美しい景観にすぐれたまち	産業が盛んで活力とにぎわいのあるまち	障がい者や子ども、高齢者などを大切にす	健康づくりに親しみ、組みまち	芸術や教育が充実した文化か
居住地	大塚中学校区 (n=77)	41.6%	23.4%	32.5%	2.6%	20.8%	10.4%	5.2%	19.5%	9.1%	3.9%
	三谷中学校区 (n=175)	41.7%	26.3%	26.3%	6.9%	30.3%	8.0%	14.3%	16.0%	5.1%	3.4%
	蒲郡中学校区 (n=188)	46.3%	20.7%	28.7%	2.1%	31.9%	8.5%	16.0%	11.7%	5.3%	2.7%
	中部中学校区 (n=185)	46.5%	27.0%	25.9%	3.2%	29.7%	5.4%	20.0%	13.5%	2.7%	2.7%
	塩津中学校区 (n=148)	39.9%	30.4%	31.8%	1.4%	33.1%	6.8%	9.5%	9.5%	7.4%	2.0%
	形原中学校区 (n=204)	41.7%	21.6%	26.5%	1.0%	34.3%	8.8%	19.1%	15.2%	7.4%	2.5%
	西浦中学校区 (n=66)	39.4%	21.2%	37.9%	—	30.3%	4.5%	18.2%	10.6%	6.1%	1.5%
	わからない (n=18)	38.9%	22.2%	22.2%	—	27.8%	11.1%	16.7%	22.2%	—	11.1%

		目指すべき将来像				
		盛んなまちの自主的な活動が	推進するまちの育成を	外国人住民と共生を	その他	無回答
居住地	大塚中学校区 (n=77)	1.3%	5.2%	1.3%	2.6%	6.5%
	三谷中学校区 (n=175)	2.3%	0.6%	0.6%	2.3%	3.4%
	蒲郡中学校区 (n=188)	1.6%	3.2%	1.1%	1.6%	4.8%
	中部中学校区 (n=185)	1.6%	0.5%	0.5%	0.5%	5.9%
	塩津中学校区 (n=148)	0.7%	1.4%	0.7%	0.7%	7.4%
	形原中学校区 (n=204)	1.0%	1.0%	—	2.9%	5.4%
	西浦中学校区 (n=66)	3.0%	3.0%	—	—	9.1%
	わからない (n=18)	5.6%	—	—	—	5.6%

太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの
※複数回答のため、各項目の合計値は100%とまらない

3-3 蒲郡市のまちづくりに関するアンケート

(1) 調査概要

本市では、地域ごとのまちづくり方針を決定するため、生活環境の現状や、本市の中心拠点である蒲郡駅周辺の今後のまちづくりなどについての意向調査を実施しました。

なお、本調査は、郵送とWEBを併用して調査しましたが、若い世代ほどWEBでの回答率が高い状況でした。

■調査概要

調査対象	18歳以上の市民（居住地(中学校区)毎の人口割合に応じた調査票送付数を設定したうえで、無作為抽出）
調査期間	令和3年8月13日（金）～令和3年8月30日（月）
調査方法	配布：郵送 回収：郵送、WEB（回答者が選択）
回収状況	配布数：2,200通 回収数：858通（うち郵送：670通、WEB：188通） （回収率：39.0%）

【蒲郡市のまちづくりに関するアンケートの回収票の信頼性について】

アンケートの回収票と回答の精度（誤差）との関係は、票数が多いと精度高く（誤差が小さく）なります。

統計学的には、この精度（誤差）は3～5%であればよいとされています。

今回のアンケートでは、858票の有効回答票数がありましたので、必要な回答票数を計算する以下の式にあてはめると3.3%となりました。

これは、例えば、違う市民の方々を対象にして同じ調査を100回行った場合、95回（信頼度95%）は、その結果の%の値が±3.3%以内になるということを示しています。

$$\text{標本誤差} = k \sqrt{\{(N-n)/(N-1) \times p(1-p)/n\}} = 3.3\%$$

N：アンケート対象者（18歳以上の市民 65,330人（R3.4.1））

n：有効回答数（858票）

p：回答比率（最も誤差が生じる比率に設定：0.5）

k：信頼度係数（信頼度95%の場合：1.96）

【蒲郡市のまちづくりに関するアンケート 年齢別回収方法別の回収状況について】

今回のアンケート調査では、調査票の郵送回収と Web での回答の 2 つの回収方法を併用しており、回答方法の傾向を整理しました。

全体的には郵送回収が 78%と多い状況でした。

年齢別に傾向をみると、各世代で郵送回収が多いですが、若い世代ほど、Web での回答が多くなる傾向があります。

■ 年齢別回収方法別の回収数

年齢	回収数			回収方法別割合	
	郵送 (A)	Web (B)	合計 (C)	郵送 (A/C)	Web (B/C)
20歳代以下	87	51	138	63%	37%
30歳代	88	49	137	64%	36%
40歳代	89	39	128	70%	30%
50歳代	124	35	159	78%	22%
60歳代	139	14	153	91%	9%
70歳代以上	137	0	137	100%	0%
不明	6	0	6	100%	0%
合計	670	188	858	78%	22%

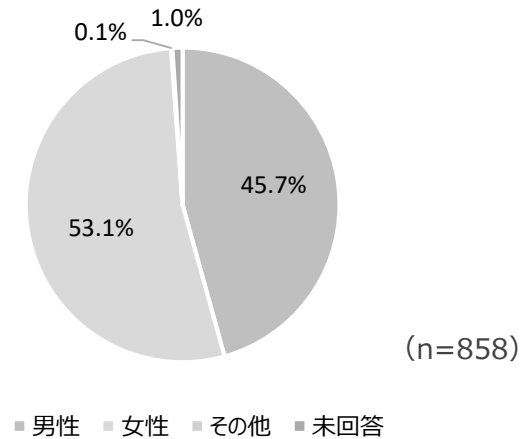
(2) 調査結果

○回答者について

(問1) 性別や年齢などについて

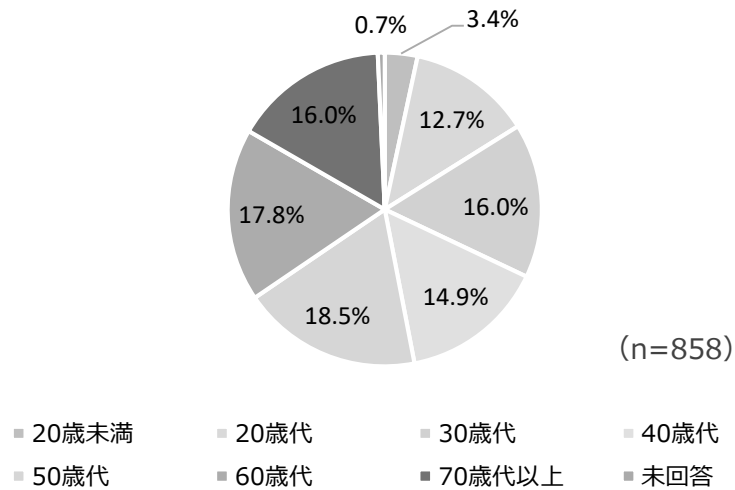
①性別

・「男性」の割合が45.7%、「女性」の割合が53.1%となっています。



②年齢(令和3年4月1日時点)

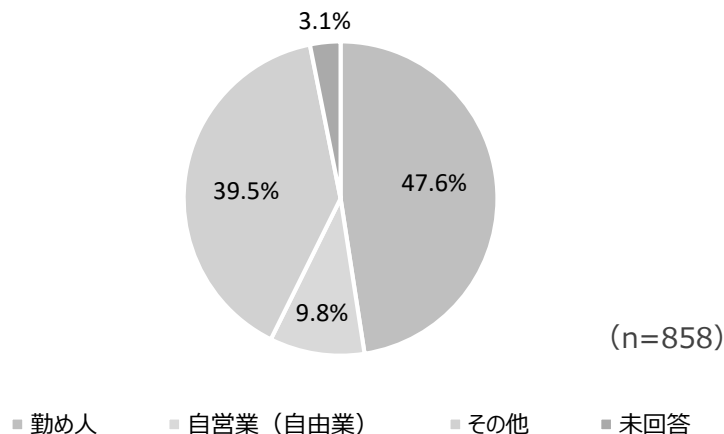
・各年齢層から概ね同数の回答がありました。



第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

③職業

- ・「勤め人」の割合が47.6%と最も高くなっています。
- ・職業の内訳をみると、「無職」の割合が12.6%と最も高く、次いで「事務職」の割合が11.4%、「家事専業」の割合が10.3%となっています。

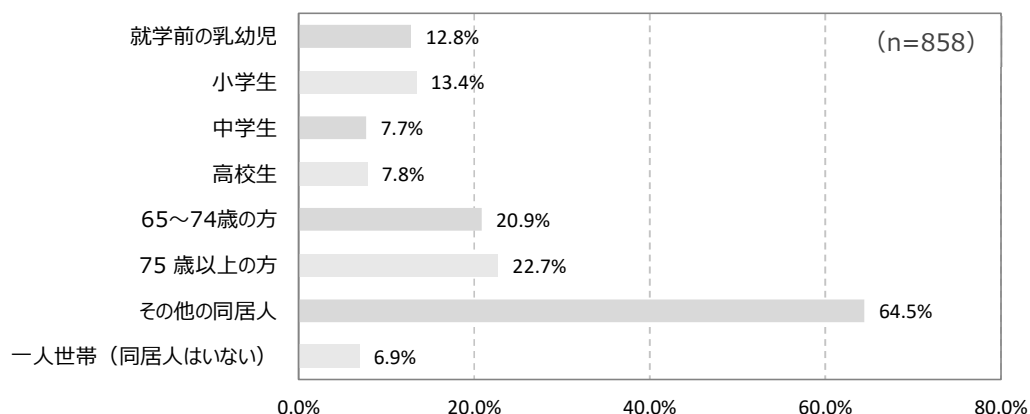


■職業 (内訳)

職業 (内訳)		回答者数 (人)	割合	職業 (内訳)		回答者数 (人)	割合
勤め人	事務職	98	11.4%	(自営業)	卸・小売業	9	1.0%
	研究・技術職	65	7.6%		飲食業	3	0.3%
	工場・運搬作業	86	10.0%		サービス業	18	2.1%
	企画・営業	30	3.5%		その他	13	1.5%
	接客・販売業	41	4.8%	その他	家事専業	88	10.3%
	広報・デザイン	3	0.3%		パート、アルバイト	86	10.0%
	会社役員	17	2.0%		学生	40	4.7%
	その他	68	7.9%		無職	108	12.6%
					その他	17	2.0%
(自営業)	農林水産業	17	2.0%	未回答		27	3.1%
	製造業	11	1.3%	合計		858	100.0%
	建設業	13	1.5%				

④同居人

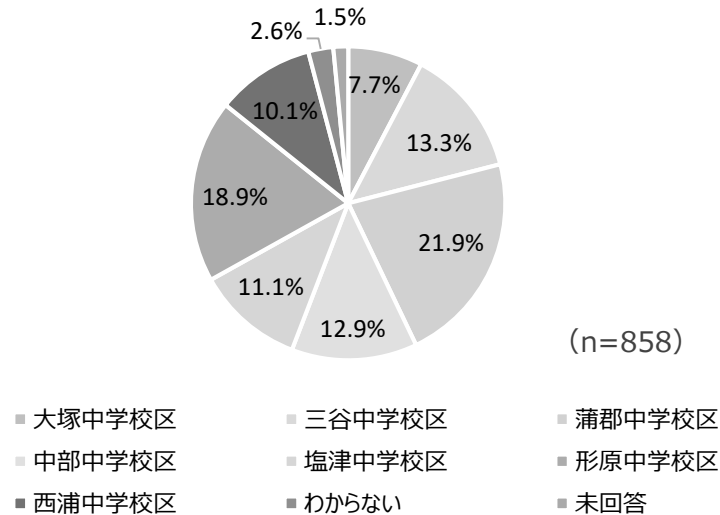
- ・「その他の同居人」の割合が64.5%と最も高く、次いで「75歳以上の方」の割合が22.7%、「65～74歳の方」の割合が20.9%となっています。



※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

⑤居住地区

- ・「蒲郡中学校区」の割合が21.9%と最も多く、次いで「形原中学校区」の割合が18.9%、「三谷中学校区」の割合が13.3%となっています。
- ・全ての町からの回答がありました。（浜町は令和3年9月時点で居住者がいません。）

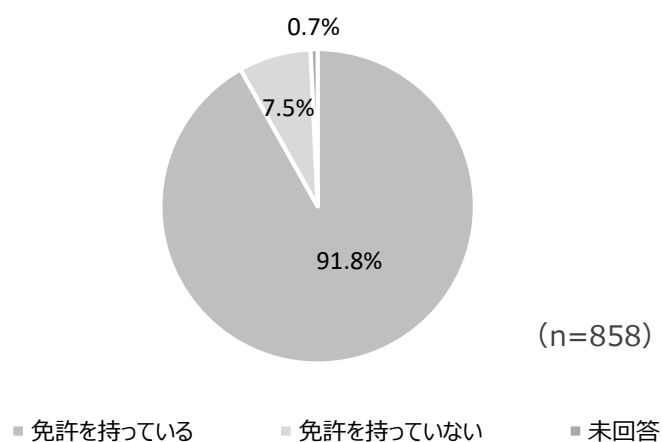


■町名（内訳）

町名（内訳）	回答者数(人)	割合	町名（内訳）	回答者数(人)	割合
相楽町	5	0.6%	宮成町	13	1.5%
大塚町	58	6.8%	緑町	19	2.2%
海陽町	7	0.8%	旭町	5	0.6%
三谷町	99	11.5%	丸山町	8	0.9%
三谷北通	28	3.3%	竹島町	4	0.5%
平田町	8	0.9%	松原町	8	0.9%
豊岡町	42	4.9%	港町	11	1.3%
五井町	8	0.9%	栄町	8	0.9%
水竹町	27	3.1%	柏原町	8	0.9%
清田町	15	1.7%	竹谷町	48	5.6%
坂本町	5	0.6%	西迫町	3	0.3%
神ノ郷町	15	1.7%	拾石町	25	2.9%
府相町	14	1.6%	鹿島町	16	1.9%
新井形町	6	0.7%	浜町	0	0.0%
蒲郡町	6	0.7%	一色町	6	0.7%
堀込町	3	0.3%	金平町	32	3.7%
新井町	7	0.8%	形原町	121	14.1%
八百富町	7	0.8%	西浦町	86	10.0%
神明町	8	0.9%	わからない	2	0.2%
本町	12	1.4%	未回答	16	1.9%
上本町	6	0.7%			
中央本町	11	1.3%			
元町	5	0.6%			
宝町	5	0.6%			
御幸町	12	1.4%			
			合計	858	100.0%

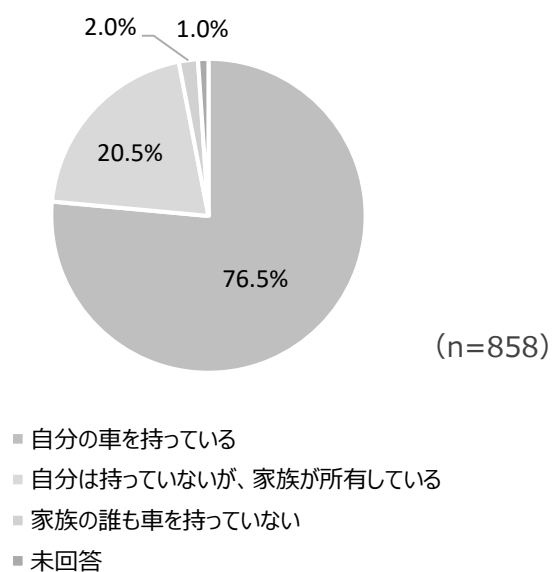
⑥自動車の運転免許の保有状況

・「免許を持っている」の割合が91.8%と最も高くなっています。



⑦自動車の保有状況

・「自分の車を持っている」の割合が76.5%と最も高く、次いで「自分は持っていないが、家族が所有している」の割合が20.5%、「家族の誰も車を持っていない」の割合が2.0%となっています。

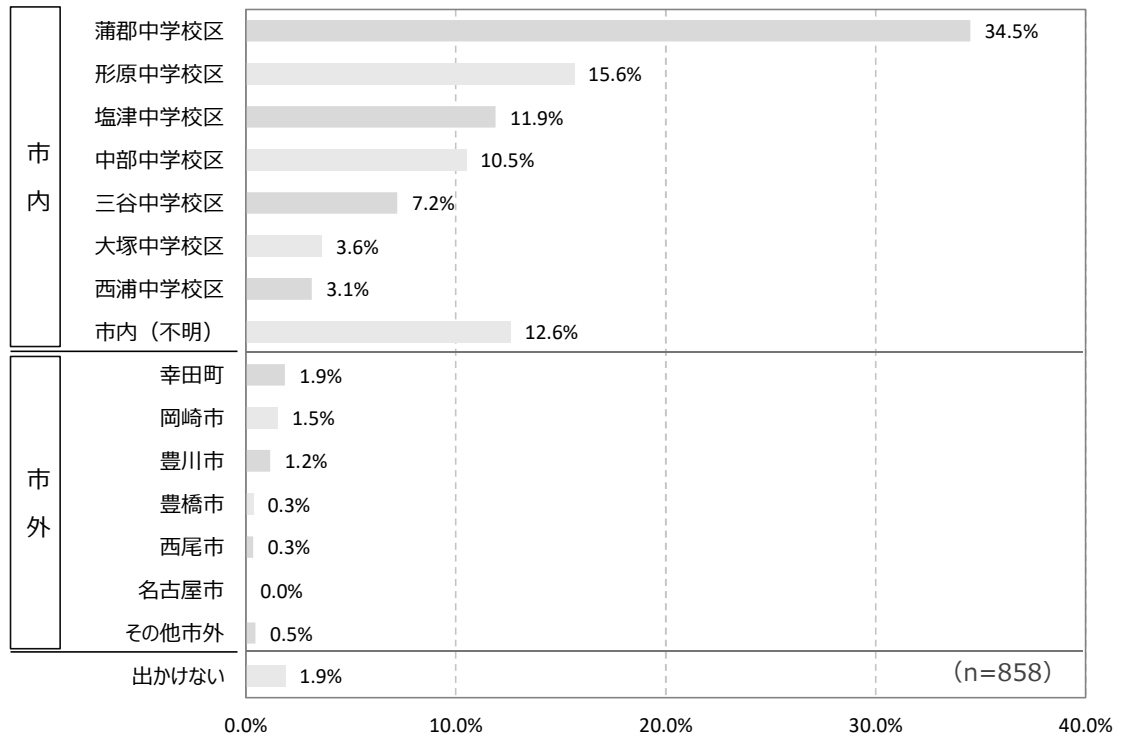


(問2) 買い物や通院の際の主な行先や交通手段について

① 毎日の食料品や日用品

【主な行先】

- ・ 毎日の食料品や日用品の買い物は、市外よりも市内が多くなっています。
- ・ 「蒲郡中学校区」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「形原中学校区」の割合が 15.6%、「塩津中学校区」の割合が 11.9%となっています。



※複数回答のため、各項目の合計値は 100%とならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別

- ・概ね居住地と同じ中学校区内の割合が高くなっていますが、大塚中学校区と三谷中学校区は「蒲郡中学校区」、西浦中学校区は「形原中学校区」の割合が高くなっています。

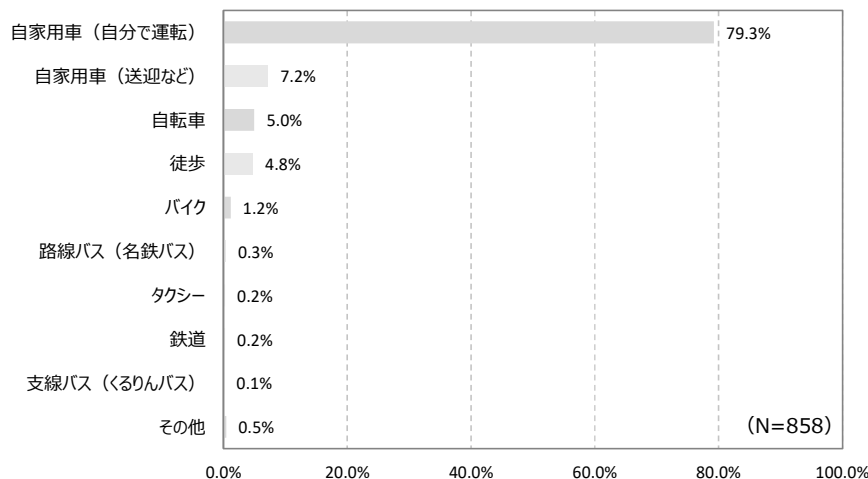
		目的地(市内)							
		大塚中学校区	三谷中学校区	蒲郡中学校区	中部中学校区	塩津中学校区	形原中学校区	西浦中学校区	市内(不明)
居住地	大塚中学校区(n=66)	25.8%	10.6%	34.8%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	15.2%
	三谷中学校区(n=114)	0.9%	33.3%	42.1%	6.1%	4.4%	0.9%	0.0%	10.5%
	蒲郡中学校区(n=188)	0.5%	4.8%	76.1%	6.4%	2.1%	0.0%	0.0%	6.9%
	中部中学校区(n=111)	0.9%	0.0%	27.9%	56.8%	3.6%	0.0%	0.0%	11.7%
	塩津中学校区(n=95)	3.2%	4.2%	17.9%	5.3%	62.1%	4.2%	0.0%	13.7%
	形原中学校区(n=162)	3.7%	0.6%	13.0%	1.2%	13.0%	59.3%	0.0%	13.0%
	西浦中学校区(n=87)	2.3%	1.1%	10.3%	0.0%	6.9%	36.8%	31.0%	10.3%
	わからない(n=22)	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	68.2%
		目的地(市外)							
		豊橋市	豊川市	岡崎市	幸田町	西尾市	名古屋市	その他市外	出かけない
居住地	大塚中学校区(n=66)	1.5%	7.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%
	三谷中学校区(n=114)	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
	蒲郡中学校区(n=188)	0.0%	0.5%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
	中部中学校区(n=111)	1.8%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
	塩津中学校区(n=95)	0.0%	1.1%	2.1%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
	形原中学校区(n=162)	0.0%	1.2%	2.5%	3.1%	0.0%	0.0%	1.9%	2.5%
	西浦中学校区(n=87)	0.0%	0.0%	3.4%	4.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	わからない(n=22)	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%

太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とにならない

【主な交通手段】

- ・「自家用車（自分で運転）」の割合が79.3%と最も高く、次いで「自家用車（送迎など）」の割合が7.2%、「自転車」の割合が5.0%となっており、自動車の利用が多くなっています。

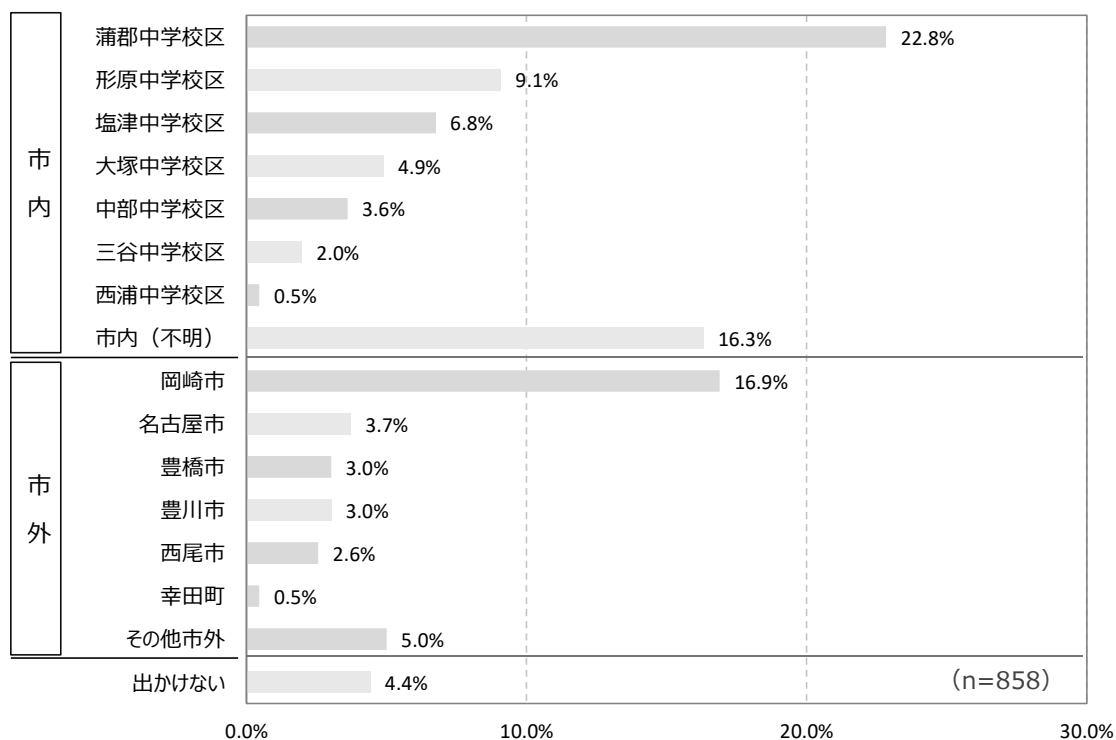


※複数回答のため、各項目の合計値は100%とにならない

②衣料品・家電・家具などの日用品以外

【主な行先】

- ・衣料品・家電・家具などの日用品以外の買い物は、市外（岡崎市）も多くなっています。
- ・「蒲郡中学校区」の割合が22.8%と最も高く、次いで「岡崎市」の割合が16.9%、「形原中学校区」の割合が9.1%となっています。



※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別

- ・大塚中学校区、三谷中学校区、蒲郡中学校区、中部中学校区では「蒲郡中学校区」、形原中学校区では「中学校区内」の割合が最も高くなっていますが、市西部の塩津中学校区、西浦中学校区は、「岡崎市」の割合が最も高くなっています。

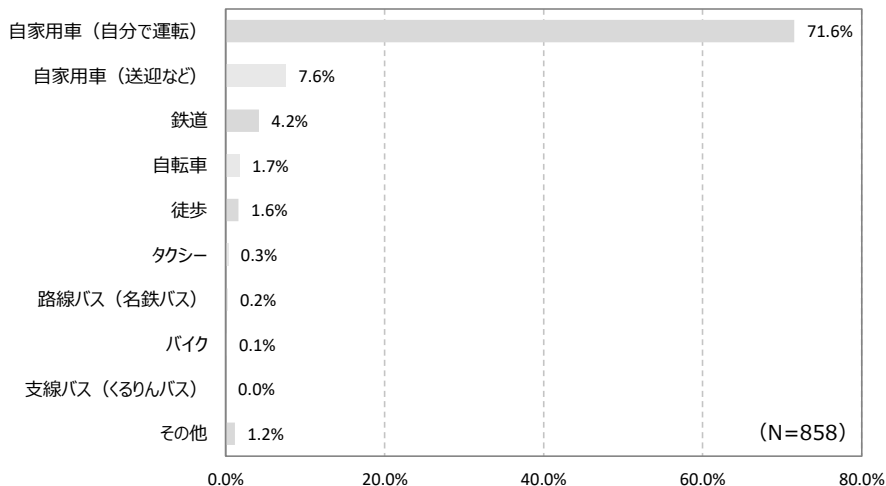
		目的地(市内)							
		大塚中学校区	三谷中学校区	蒲郡中学校区	中部中学校区	塩津中学校区	形原中学校区	西浦中学校区	市内(不明)
居住地	大塚中学校区(n=66)	4.5%	4.5%	19.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.7%
	三谷中学校区(n=114)	6.1%	7.0%	28.9%	1.8%	2.6%	7.9%	0.9%	14.0%
	蒲郡中学校区(n=188)	4.3%	0.5%	35.6%	3.7%	4.8%	4.3%	0.0%	12.8%
	中部中学校区(n=111)	5.4%	0.0%	34.2%	13.5%	6.3%	3.6%	0.0%	14.4%
	塩津中学校区(n=95)	6.3%	2.1%	12.6%	4.2%	17.9%	6.3%	0.0%	15.8%
	形原中学校区(n=162)	4.9%	1.2%	12.3%	0.6%	11.7%	21.0%	0.0%	18.5%
	西浦中学校区(n=87)	4.6%	0.0%	12.6%	2.3%	2.3%	18.4%	3.4%	16.1%
	わからない(n=22)	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	50.0%
		目的地(市外)							
		豊橋市	豊川市	岡崎市	幸田町	西尾市	名古屋市	その他市外	出かけない
居住地	大塚中学校区(n=66)	12.1%	13.6%	9.1%	0.0%	0.0%	1.5%	6.1%	1.5%
	三谷中学校区(n=114)	2.6%	7.9%	13.2%	0.9%	0.9%	2.6%	6.1%	5.3%
	蒲郡中学校区(n=188)	4.8%	1.6%	16.0%	0.0%	0.5%	6.9%	5.9%	4.3%
	中部中学校区(n=111)	1.8%	0.9%	14.4%	0.0%	3.6%	0.9%	3.6%	5.4%
	塩津中学校区(n=95)	0.0%	2.1%	24.2%	1.1%	2.1%	4.2%	4.2%	8.4%
	形原中学校区(n=162)	1.9%	1.2%	18.5%	0.6%	2.5%	3.1%	6.8%	3.7%
	西浦中学校区(n=87)	1.1%	0.0%	25.3%	1.1%	11.5%	3.4%	1.1%	3.4%
	わからない(n=22)	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%

太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

【主な交通手段】

- ・「自家用車（自分で運転）」の割合が71.6%と最も高く、次いで「自家用車（送迎など）」の割合が7.6%、「鉄道」の割合が4.2%となっており、自動車の利用が多くなっています。

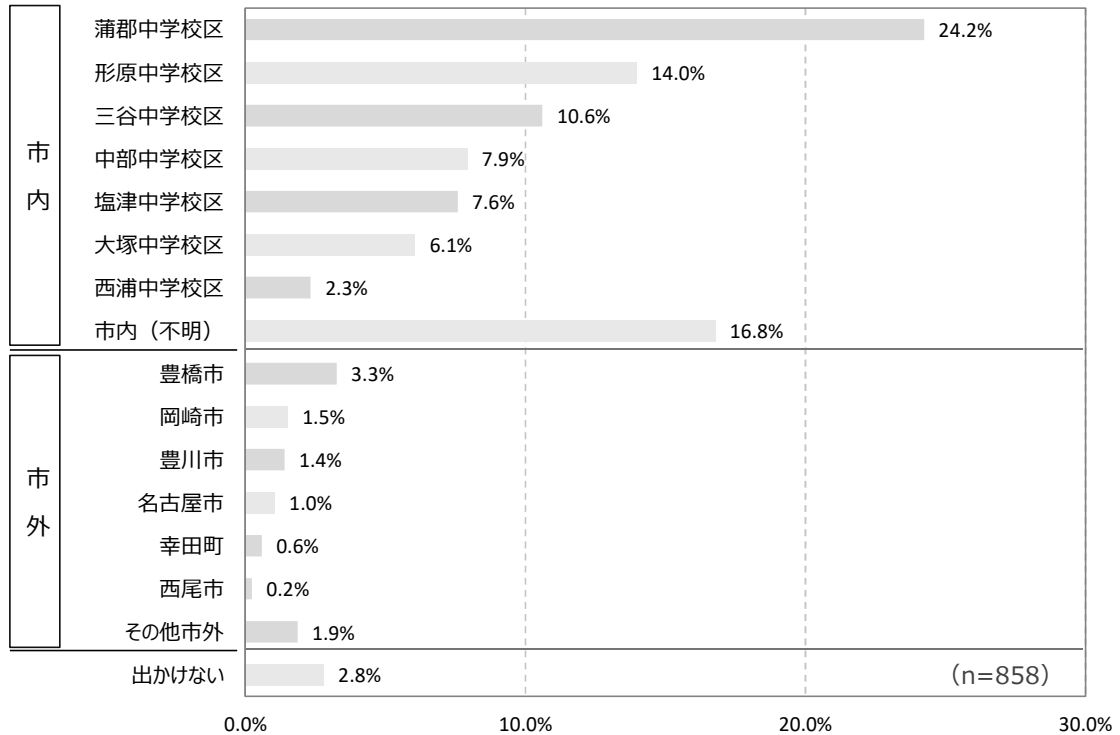


※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

③病院・診療所

【主な行先】

- ・病院・診療所の通院は、市外よりも市内が多くなっています。
- ・「蒲郡中学校区」の割合が24.2%と最も高く、次いで「形原中学校区」の割合が14.0%、「三谷中学校区」の割合が10.6%となっています。



※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別

- ・概ね居住地と同じ中学校区内の割合が高くなっていますが、大塚中学校区と三谷中学校区は「蒲郡中学校区」、西浦中学校区は「形原中学校区」の割合が高くなっています。

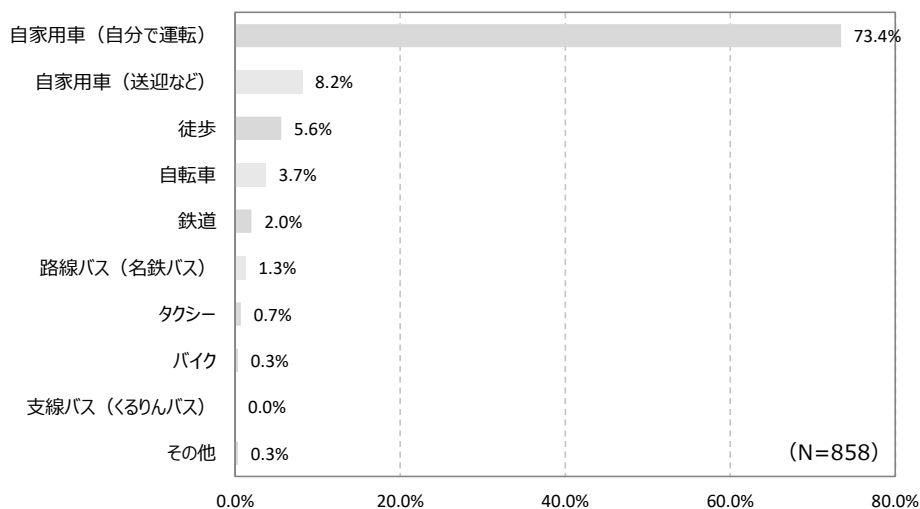
		目的地(市内)							
		大塚中学校区	三谷中学校区	蒲郡中学校区	中部中学校区	塩津中学校区	形原中学校区	西浦中学校区	市内(不明)
居住地	大塚中学校区(n=66)	39.4%	13.6%	15.2%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	三谷中学校区(n=114)	7.9%	43.9%	14.9%	3.5%	2.6%	3.5%	0.0%	14.9%
	蒲郡中学校区(n=188)	1.6%	9.6%	55.3%	7.4%	1.6%	0.5%	0.0%	13.3%
	中部中学校区(n=111)	4.5%	3.6%	27.9%	34.2%	9.9%	0.9%	0.0%	11.7%
	塩津中学校区(n=95)	4.2%	2.1%	25.3%	6.3%	29.5%	4.2%	0.0%	20.0%
	形原中学校区(n=162)	2.5%	4.3%	6.2%	2.5%	8.6%	47.5%	0.0%	19.8%
	西浦中学校区(n=87)	0.0%	1.1%	12.6%	1.1%	4.6%	35.6%	23.0%	12.6%
	わからない(n=22)	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	59.1%
		目的地(市外)							
		豊橋市	豊川市	岡崎市	幸田町	西尾市	名古屋市中	その他市外	出かけない
居住地	大塚中学校区(n=66)	6.1%	4.5%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
	三谷中学校区(n=114)	4.4%	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.9%	0.9%	3.5%
	蒲郡中学校区(n=188)	4.3%	1.1%	2.1%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	2.7%
	中部中学校区(n=111)	3.6%	2.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	2.7%	2.7%
	塩津中学校区(n=95)	2.1%	1.1%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%	2.1%	2.1%
	形原中学校区(n=162)	2.5%	0.6%	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%	3.1%	3.7%
	西浦中学校区(n=87)	1.1%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	3.4%
	わからない(n=22)	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	4.5%

太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

【主な交通手段】

- ・「自家用車（自分で運転）」の割合が73.4%と最も高く、次いで「自家用車（送迎など）」の割合が8.2%、「徒歩」の割合が5.6%となっており、自動車の利用が多くなっています。

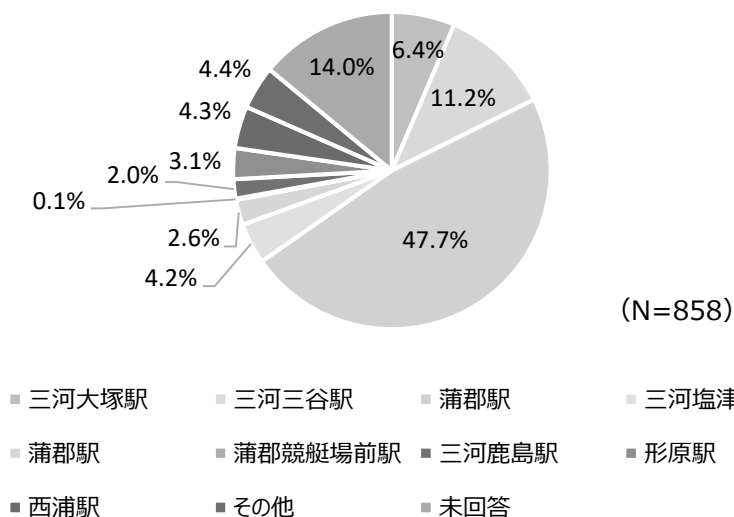


※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

(問3) 鉄道駅を利用する際の目的や移動手段などについて

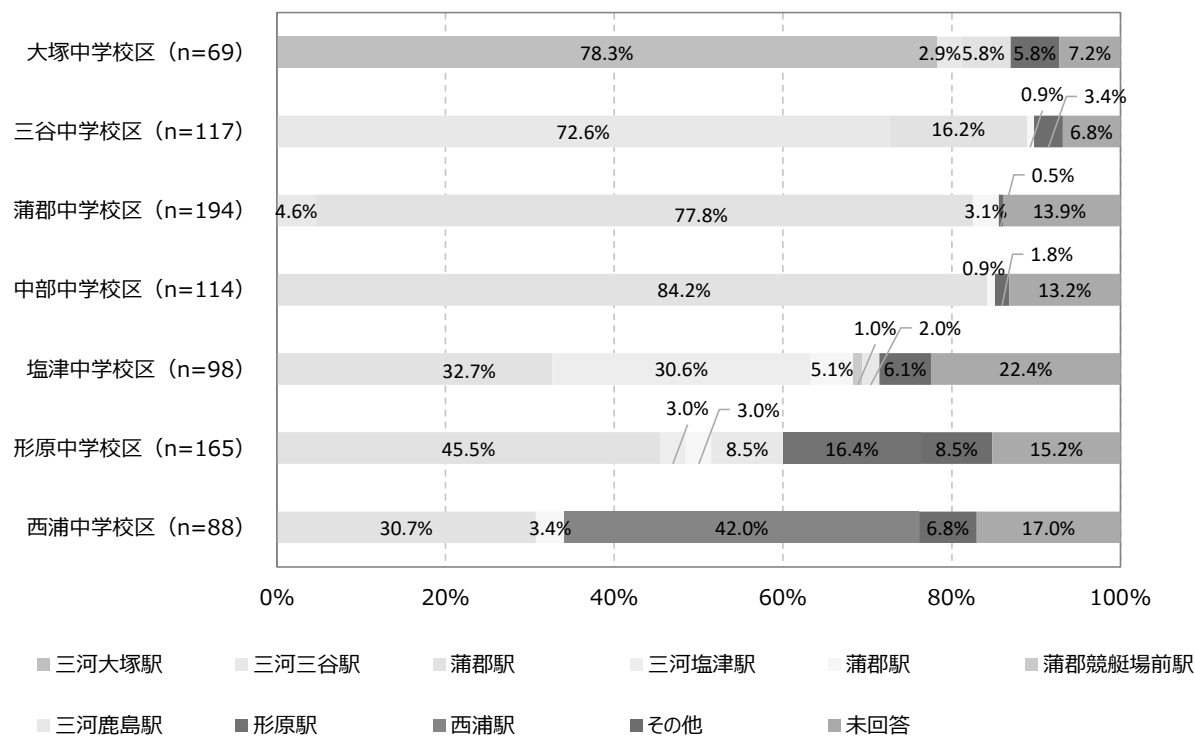
①最も利用する駅

・「蒲郡駅」の割合が47.7%と最も高く、次いで「三河三谷駅」の割合が11.2%、「三河大塚駅」の割合が6.4%となっています。



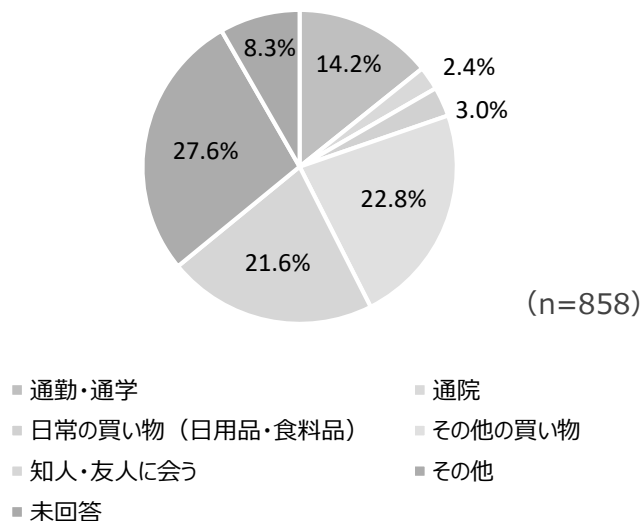
◇居住地別

・概ね中学校区内または隣接校区内の駅の割合が最も高くなっていますが、塩津中学校区と形原中学校区は「蒲郡駅」の割合が最も高くなっています。



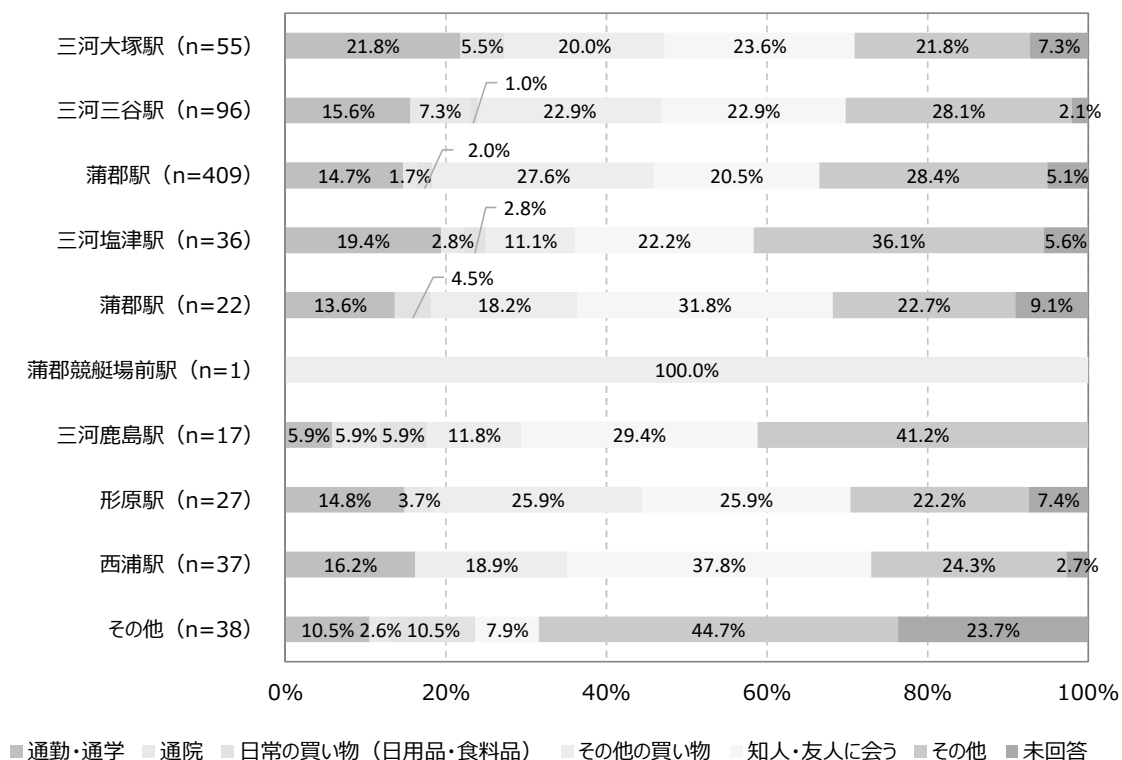
②主な利用目的

- ・「その他」の割合が27.6%と最も高く、次いで「その他の買い物」の割合が22.8%、「知人・友人に会う」の割合が21.6%となっています。



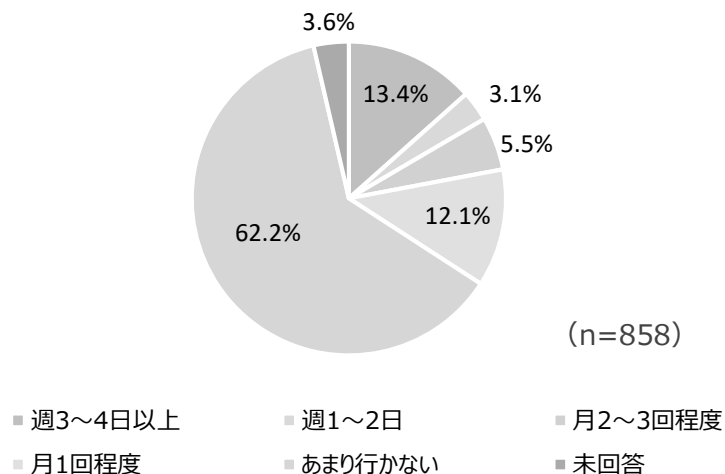
◇利用駅別

- ・西浦駅は、他の駅と比較して「知人・友人に会う」の割合が37.8%と高くなっています。
- ・三河鹿島駅は、「通勤・通学」の割合が5.9%と低くなっています。



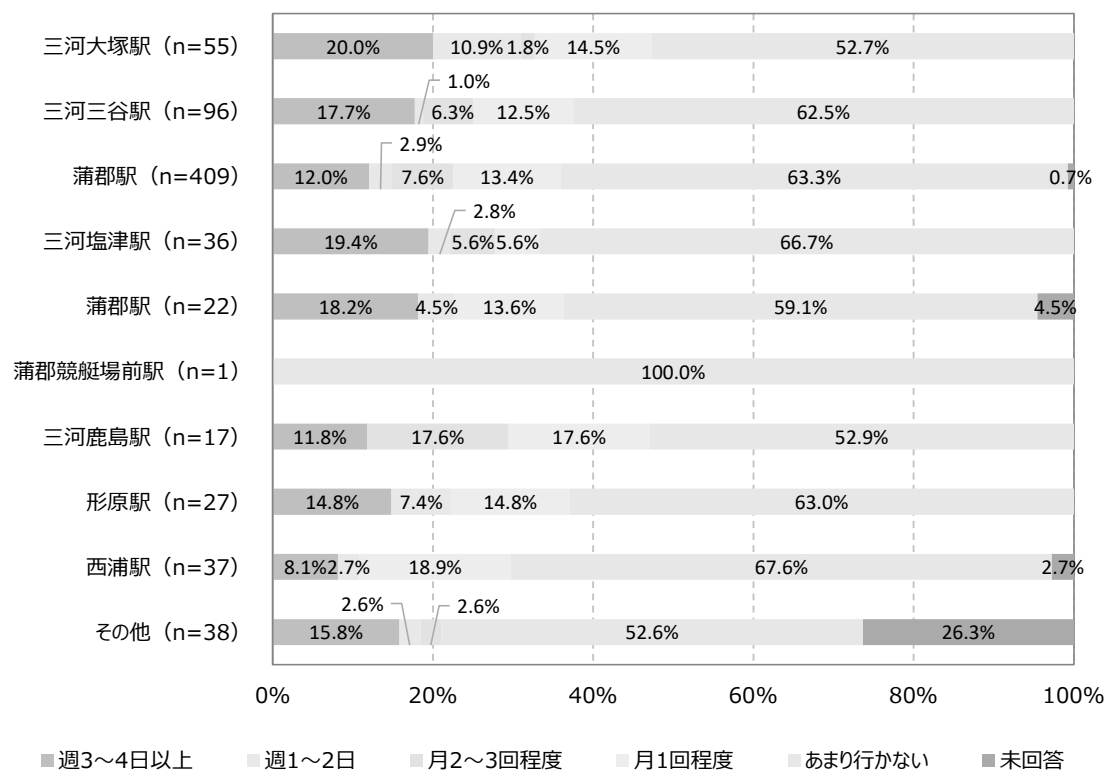
③利用頻度

- ・「あまり行かない」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「週 3～4 日以上」の割合が 13.4%、「月 1 回程度」の割合が 12.1%となっています。



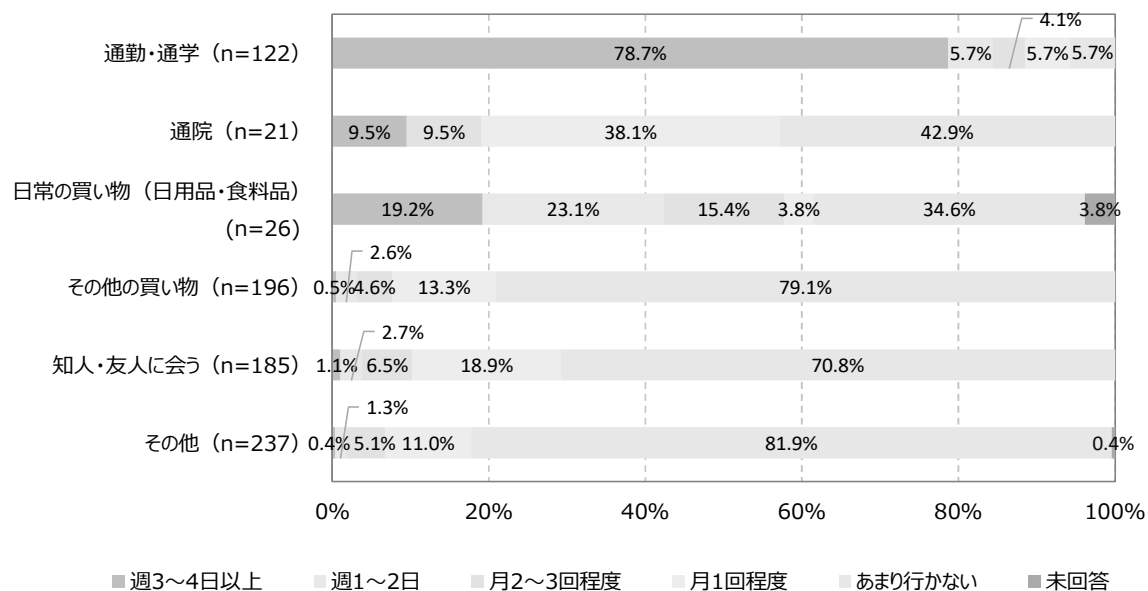
◇利用駅別

- ・全ての駅で「あまり行かない」の割合が最も高くなっています。
- ・三河大塚駅は、他の駅と比較して「週 1～2 日以上」の割合が 30.9%と高くなっています。



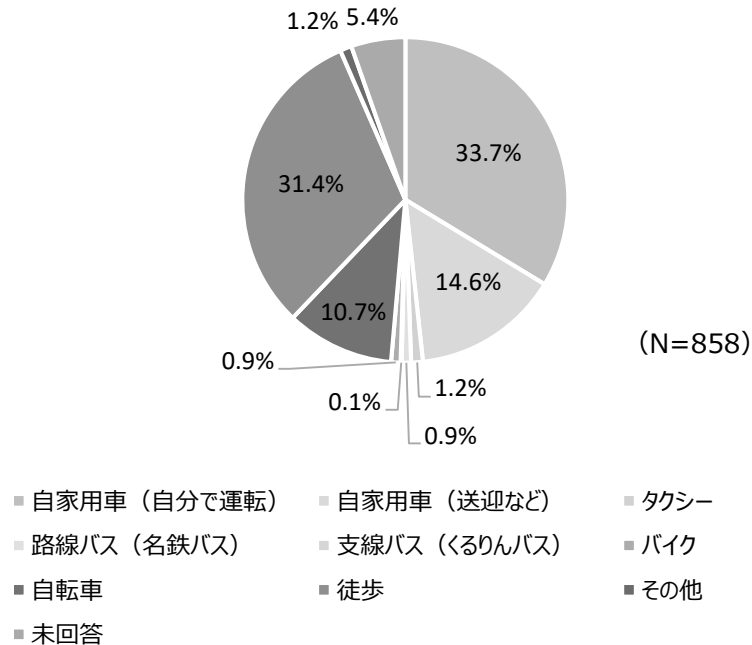
◇利用目的別

- ・通勤・通学は「週3～4日以上」の割合が78.7%と最も高くなっています。
- ・日常の買い物（日用品・食料品）は、「月2～3回以上」、通院は「月1回以上」が半数を超えています。



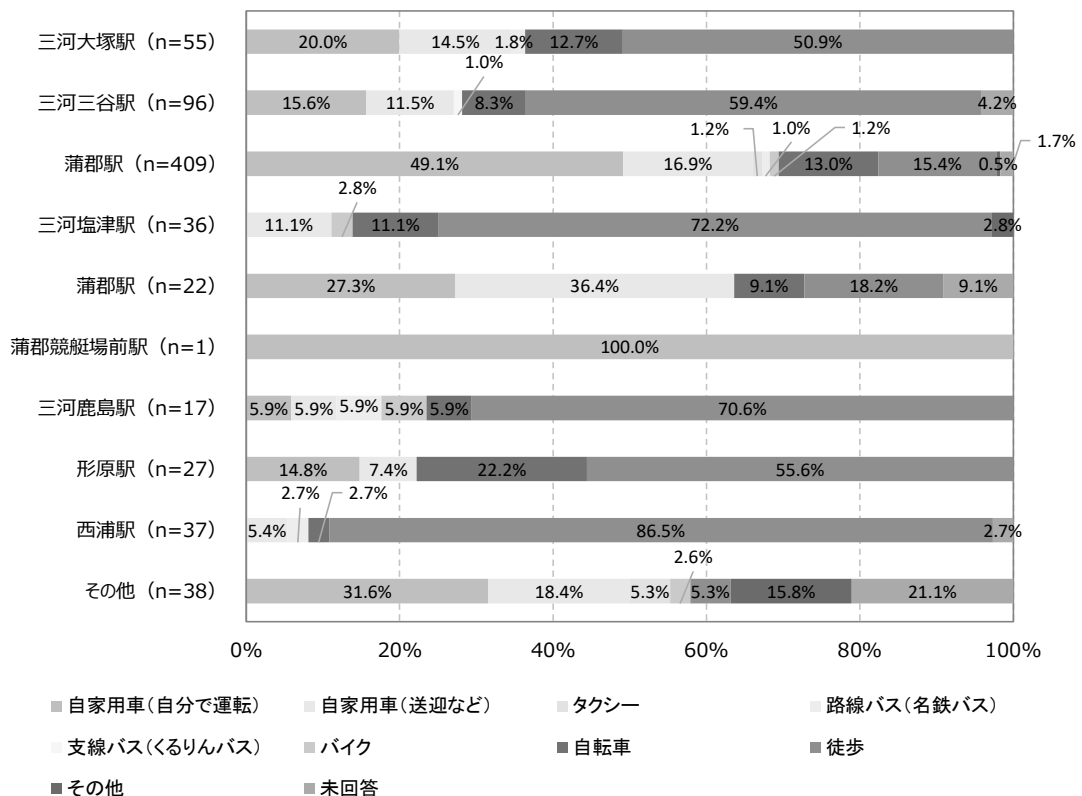
④駅までの移動手段

- ・「自家用車(自分で運転)」の割合が33.7%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が31.4%、「自家用車(送迎など)」の割合が14.6%となっています。
- ・「自家用車(自分で運転)」と「自家用車(送迎など)」をあわせた“自家用車”の割合が、約半数を占めています。



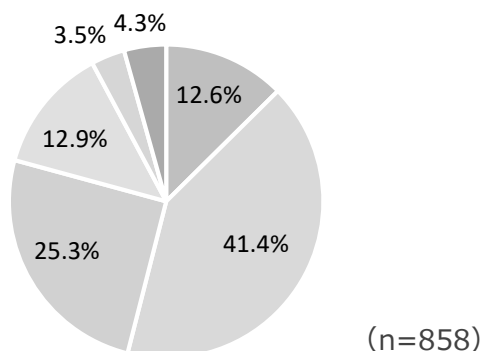
◇利用駅別

- ・蒲郡駅は「自家用車(自分で運転)」、蒲郡駅は「自家用車(送迎など)」の割合が最も高くなっていますが、その他の駅では、「徒歩」の割合が最も高くなっています。



⑤駅までの移動時間

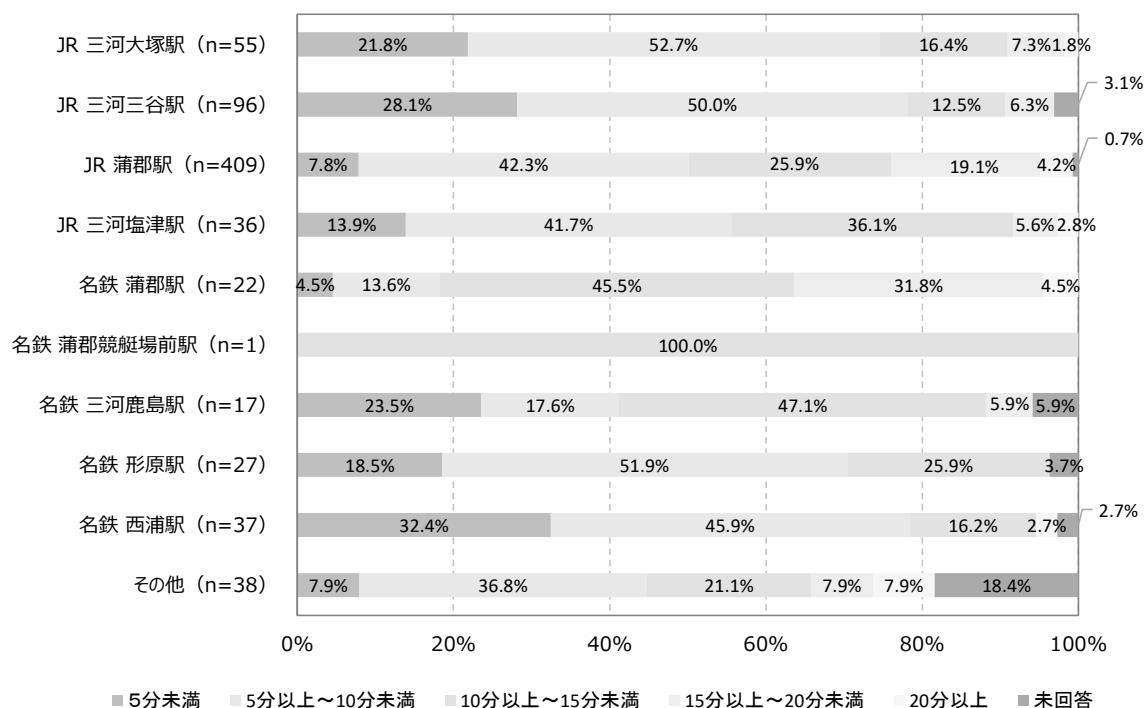
- ・「5分以上～10分未満」の割合が41.4%と最も高く、次いで「10分以上～15分未満」の割合が25.3%、「15分以上～20分未満」の割合が12.9%となっています。



- 5分未満
- 5分以上～10分未満
- 10分以上～15分未満
- 15分以上～20分未満
- 20分以上
- 未回答

◇利用駅別

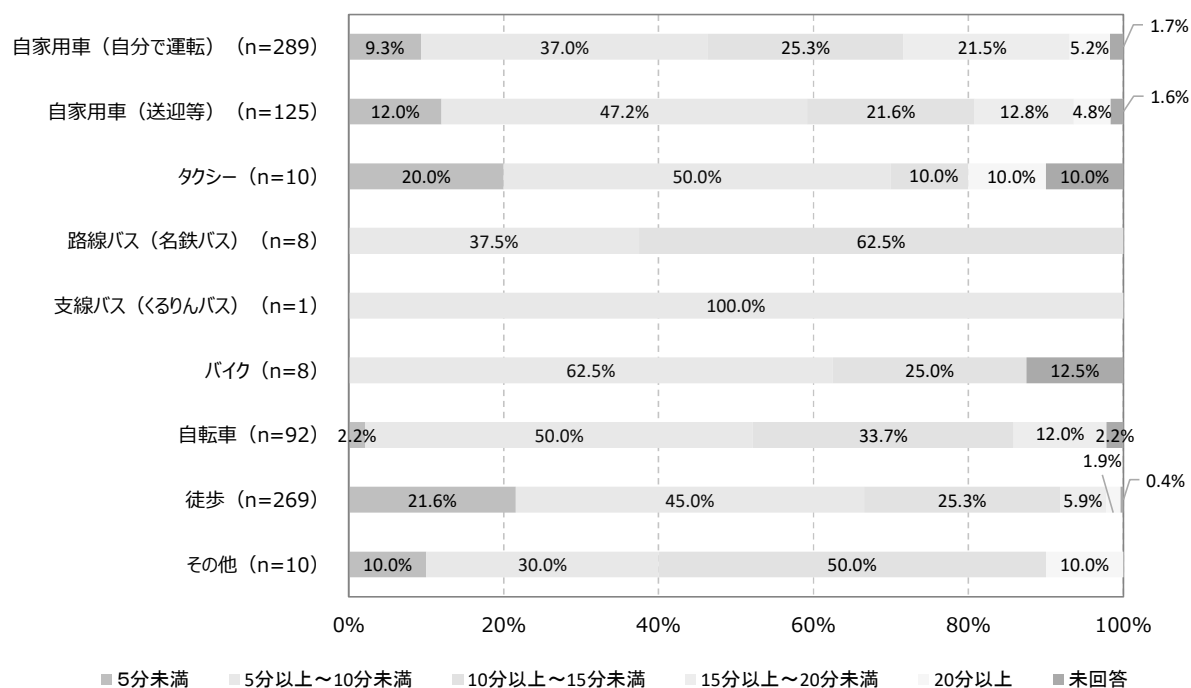
- ・概ねどの駅においても「10分未満」の割合が半数を超えていますが、「蒲郡駅」と「三河鹿島駅」では、半数以下となっています。



- 5分未満
- 5分以上～10分未満
- 10分以上～15分未満
- 15分以上～20分未満
- 20分以上
- 未回答

◇移動手段別

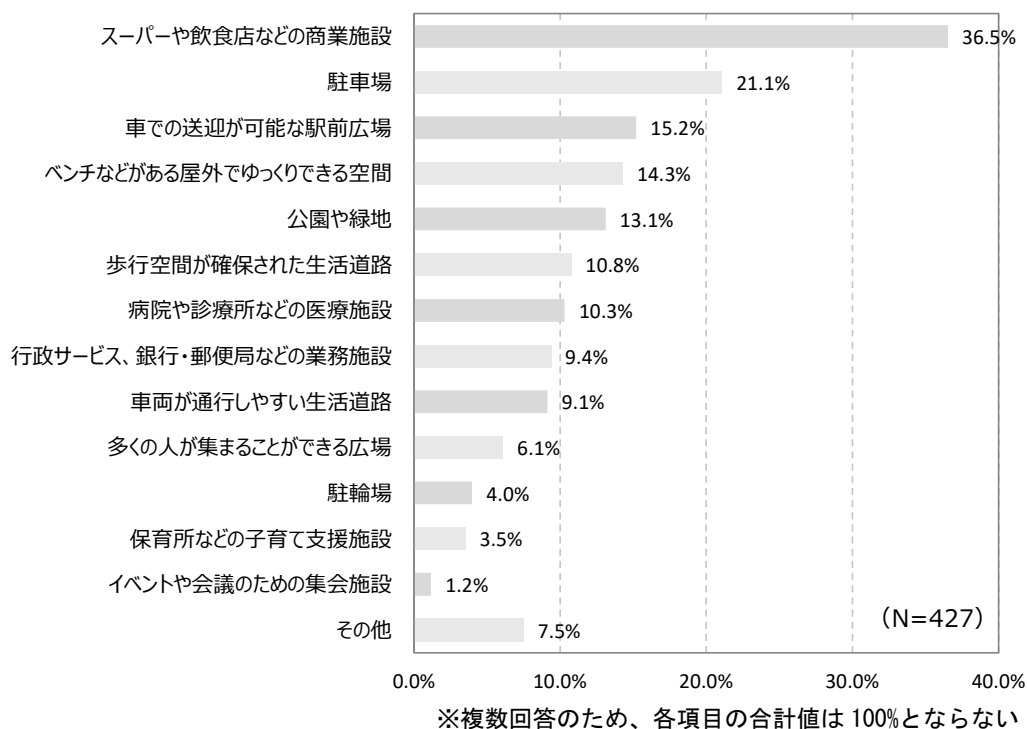
- ・概ねどの移動手段においても「10分未満」の割合が半数を超えていますが、路線バス（名鉄バス）はその割合が37.5%と最も低くなっています。



⑥「①で最も利用する」と回答した駅に必要だと思う施設（蒲郡駅以外）

※蒲郡駅については、P153～156 を参照

- ・「スーパーや飲食店などの商業施設」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「駐車場」の割合が 21.1%、「車での送迎が可能な駅前広場」の割合が 15.2%となっています。



◇利用駅別

- ・三河大塚駅、三河三谷駅、三河塩津駅、西浦駅は「スーパーや飲食店などの商業施設」の割合が最も高く、特に三河大塚駅は 65.5%となっています。
- ・三河鹿島駅と形原駅は「車での送迎が可能な駅前広場」の割合が最も高く、また三河鹿島駅は、「ベンチなどがある屋外でゆっくりできる空間」の割合も高くなっています。

		駅に必要だと思う施設						
		施設 スーパーや飲食店などの商業	医療施設 病院や診療所などの	郵便局などの業務施設・	支援施設 保育所などの子育て	集会施設 イベントや会議のための	公園や緑地	ベンチなどがある屋外で
利用駅	三河大塚駅(n=55)	65.5%	16.4%	7.3%	7.3%	0.0%	14.5%	14.5%
	三河三谷駅(n=96)	50.0%	11.5%	17.7%	3.1%	0.0%	13.5%	19.8%
	三河塩津駅(n=36)	38.9%	11.1%	11.1%	2.8%	0.0%	11.1%	11.1%
	蒲郡競艇場前駅(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	三河鹿島駅(n=17)	23.5%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	29.4%
	形原駅(n=27)	18.5%	7.4%	7.4%	0.0%	3.7%	14.8%	22.2%
	西浦駅(n=37)	32.4%	16.2%	8.1%	8.1%	2.7%	27.0%	21.6%
	その他(n=38)	23.7%	2.6%	7.9%	2.6%	0.0%	2.6%	7.9%

		駅に必要だと思う施設						
		できる広場 人が集まることが	駅前広場 車での送迎が可能	生活道路 車両が通行しやすい	歩行空間 生活道路が確保された	駐輪場	駐車場	その他
利用駅	三河大塚駅(n=55)	5.5%	12.7%	9.1%	18.2%	5.5%	25.5%	7.3%
	三河三谷駅(n=96)	5.2%	13.5%	8.3%	10.4%	4.2%	19.8%	10.4%
	三河塩津駅(n=36)	8.3%	16.7%	11.1%	22.2%	0.0%	13.9%	13.9%
	蒲郡競艇場前駅(n=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	三河鹿島駅(n=17)	0.0%	29.4%	11.8%	17.6%	0.0%	17.6%	17.6%
	形原駅(n=27)	7.4%	33.3%	14.8%	22.2%	14.8%	18.5%	3.7%
	西浦駅(n=37)	13.5%	5.4%	13.5%	10.8%	0.0%	27.0%	13.5%
	その他(n=38)	5.3%	18.4%	7.9%	7.9%	5.3%	36.8%	5.3%

太字：利用駅ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とにならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇年齢別

- ・全ての年代で、「スーパーや飲食店などの商業施設」の割合が最も高くなっており、特に30歳代以下は40%以上と高くなっています。
- ・20歳未満は、他の年代と比較して、「ベンチなどがある屋外でゆっくりできる空間」の割合が33.3%と高くなっています。

		駅に必要だと思う施設						
		施設 スーパーや飲食店などの商業	医療施設 病院や診療所などの	郵便局などの業務施設・	支援施設 保育所などの子育て	集会施設 イベントや会議のための	公園や緑地	ベンチなどがある屋外で ゆっくりできる空間
年齢	20歳未満(n=18)	55.6%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	33.3%
	20歳代(n=55)	54.5%	12.7%	10.9%	9.1%	0.0%	9.1%	14.5%
	30歳代(n=62)	43.5%	8.1%	6.5%	9.7%	0.0%	24.2%	14.5%
	40歳代(n=55)	25.5%	9.1%	10.9%	0.0%	1.8%	14.5%	12.7%
	50歳代(n=69)	39.1%	5.8%	8.7%	2.9%	2.9%	14.5%	13.0%
	60歳代(n=78)	30.8%	10.3%	10.3%	2.6%	1.3%	9.0%	14.1%
	70歳代以上(n=86)	26.7%	16.3%	10.5%	0.0%	1.2%	11.6%	11.6%

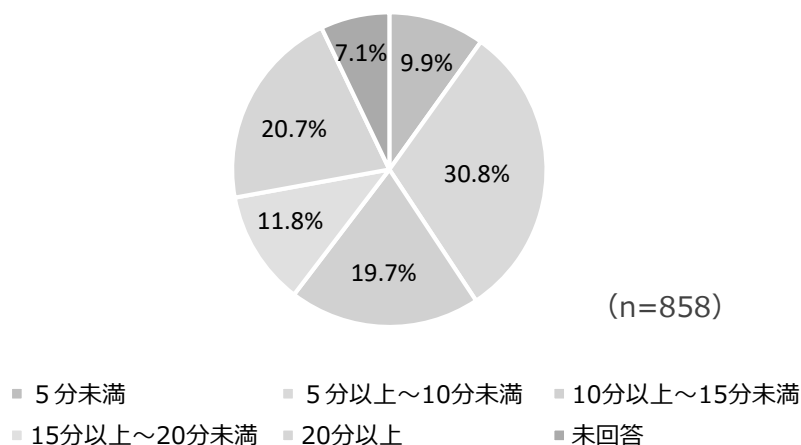
		駅に必要だと思う施設						
		多くの人が集まることが できる広場	駅前での送迎が可能な 車場の広場	生活道路が通行しやすい 車両が道路	歩行空間が確保された 生活道路	駐輪場	駐車場	その他
年齢	20歳未満(n=18)	16.7%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	20歳代(n=55)	1.8%	10.9%	1.8%	7.3%	3.6%	16.4%	12.7%
	30歳代(n=62)	8.1%	14.5%	12.9%	17.7%	3.2%	22.6%	4.8%
	40歳代(n=55)	7.3%	18.2%	7.3%	14.5%	9.1%	23.6%	14.5%
	50歳代(n=69)	7.2%	20.3%	13.0%	8.7%	4.3%	30.4%	7.2%
	60歳代(n=78)	3.8%	15.4%	10.3%	10.3%	3.8%	21.8%	10.3%
	70歳代以上(n=86)	5.8%	11.6%	9.3%	10.5%	2.3%	16.3%	1.2%

太字：年齢ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とにならない

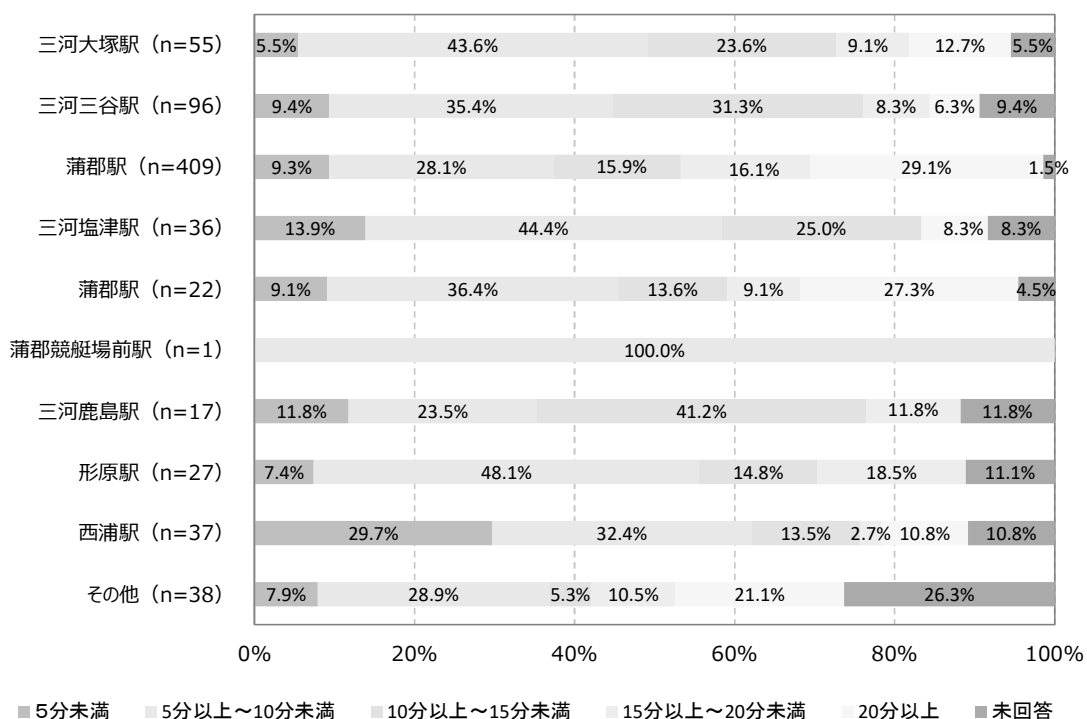
(問4) 駅を利用する場合に、徒歩で向かおうと思う所要時間

- ・「5分以上～10分未満」の割合が30.8%と最も高く、次いで「20分以上」の割合が20.7%、「10分以上～15分未満」の割合が19.7%となっています。



◇利用駅別

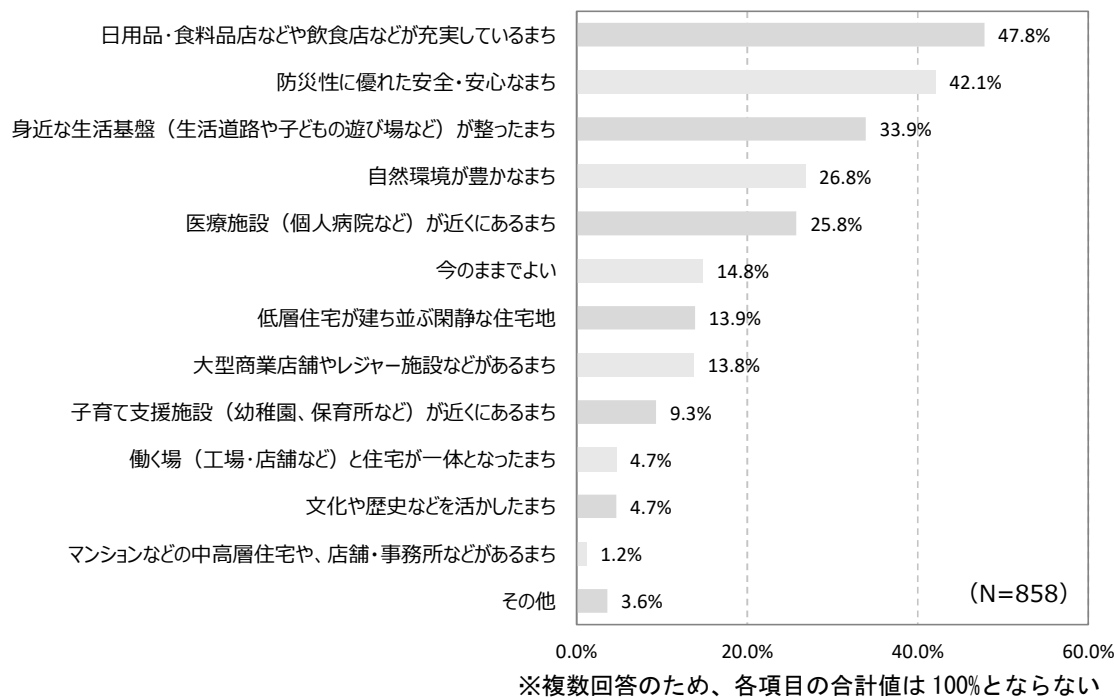
- ・全ての駅で「15分未満」の割合が半数を超えていますが、特に「三河塩津駅」「形原駅」「西浦駅」は、「10分未満」が半数を超えています。



〇お住まいの地区について

（問5）お住まいの地区がどのようなになったら良いと思うか

- ・「日用品・食料品店などや飲食店などが充実しているまち」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「防災性に優れた安全・安心なまち」の割合が 42.1%、「身近な生活基盤（生活道路や子どもの遊び場など）が整ったまち」の割合が 33.9%となっています。



◇居住地別

- ・どの中学校区についても「日用品・食料品店などや飲食店などが充実しているまち」の割合が高く、特に、大塚中学校区、西浦中学校区は半数を超えています。
- ・中部中学校区、塩津中学校区、形原中学校区は、「防災性に優れた安全・安心なまち」の割合が最も高くなっています。
- ・西浦中学校区は、他の中学校区と比較して、「医療施設（個人病院など）が近くにあるまち」の割合が32.2%と高くなっています。

		お住まいの地区がどのようになったら良いと思うか						
		閑静な住宅地が建ち並ぶ	住宅やマンションなどの中高層など	日用品・食料品店などが充実している	大型商業店舗やレジャー施設	働く場（工場・店舗など）と	子どもたちの遊び場（生活道路や	医療施設（個人病院など）があるまち
居住地	大塚中学校区 (n=69)	5.8%	2.9%	62.3%	29.0%	5.8%	33.3%	17.4%
	三谷中学校区 (n=117)	12.0%	0.9%	48.7%	11.1%	4.3%	24.8%	28.2%
	蒲郡中学校区 (n=194)	16.0%	1.5%	47.9%	16.0%	4.1%	33.0%	27.3%
	中部中学校区 (n=114)	20.2%	1.8%	36.8%	10.5%	4.4%	37.7%	22.8%
	塩津中学校区 (n=98)	13.3%	1.0%	40.8%	10.2%	1.0%	35.7%	19.4%
	形原中学校区 (n=165)	11.5%	0.0%	47.9%	12.7%	4.8%	38.2%	27.9%
	西浦中学校区 (n=88)	14.8%	0.0%	60.2%	10.2%	8.0%	36.4%	31.8%
	わからない(n=9)	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	11.1%	22.2%	33.3%

		お住まいの地区がどのようになったら良いと思うか				
		子育て支援施設（幼稚園、保育園）	自然環境が豊かなまち	文化や歴史などを活かしたまち	防災性に優れた安全・安心なまち	今のままでよい
居住地	大塚中学校区 (n=69)	10.1%	14.5%	5.8%	47.8%	4.3%
	三谷中学校区 (n=117)	10.3%	29.9%	7.7%	41.9%	14.5%
	蒲郡中学校区 (n=194)	7.7%	28.4%	5.2%	35.6%	19.1%
	中部中学校区 (n=114)	6.1%	28.9%	5.3%	45.6%	22.8%
	塩津中学校区 (n=98)	13.3%	26.5%	1.0%	48.0%	16.3%
	形原中学校区 (n=165)	9.1%	26.1%	6.1%	49.7%	12.7%
	西浦中学校区 (n=88)	12.5%	29.5%	0.0%	29.5%	5.7%
	わからない(n=9)	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%

太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの
※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇年齢別

- ・どの年代についても「日用品・食料品店などや飲食店などが充実しているまち」の割合が40%以上と高く、特に、20歳代は55.0%と高くなっています。
- ・20歳未満と60歳代は「防災性に優れた安全・安心なまち」も割合が50%以上と最も高くなっています。
- ・30歳代は、他の年代と比較して、「身近な生活基盤（生活道路や子どもの遊び場など）が整ったまち」の割合が47.4%、70歳代以上は、「医療施設（個人病院など）が近くにあるまち」の割合が41.6%と高くなっています。

		お住まいの地区がどのようなになったら良いと思うか						
		閑静な住宅が建ち並ぶ	住宅がまちなまち	日用品・食料品店などが充実している	大型商業店舗やレジャー施設などがあるまち	働く場（工場・店舗など）と住居が一体となったまち	子どもの遊び場など（生活道路）が整ったまち	医療施設（個人病院など）が近くにあるまち
年齢	20歳未満(n=29)	6.9%	0.0%	48.3%	24.1%	10.3%	27.6%	24.1%
	20歳代(n=109)	12.8%	0.0%	55.0%	26.6%	2.8%	28.4%	18.3%
	30歳代(n=137)	13.9%	0.7%	48.2%	21.2%	6.6%	47.4%	16.1%
	40歳代(n=128)	17.2%	0.8%	46.1%	14.1%	5.5%	36.7%	18.8%
	50歳代(n=159)	15.1%	0.6%	50.3%	10.7%	3.1%	30.2%	28.3%
	60歳代(n=153)	11.1%	3.3%	46.4%	7.2%	3.9%	35.9%	28.8%
	70歳代以上(n=137)	15.3%	1.5%	42.3%	5.1%	3.6%	26.3%	41.6%
		お住まいの地区がどのようなになったら良いと思うか						
		子育てなど支援施設（幼稚園、保育園）が近くにあるまち	自然環境が豊かなまち	文化・歴史など活かしたまち	防災性に優れた安全・安心なまち	今のままでよい	その他	
年齢	20歳未満(n=29)	10.3%	6.9%	0.0%	51.7%	20.7%	0.0%	
	20歳代(n=109)	18.3%	21.1%	9.2%	42.2%	10.1%	0.9%	
	30歳代(n=137)	17.5%	28.5%	2.9%	38.7%	9.5%	2.9%	
	40歳代(n=128)	9.4%	28.9%	5.5%	34.4%	15.6%	3.9%	
	50歳代(n=159)	3.8%	34.6%	5.7%	42.1%	14.5%	6.3%	
	60歳代(n=153)	5.9%	22.9%	2.6%	54.9%	15.0%	2.0%	
	70歳代以上(n=137)	4.4%	27.7%	4.4%	37.2%	21.9%	5.8%	

太字：年齢ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

(問6) お住まいの地域で、誇りに思う「モノ」や「コト」

・「自然・環境」や「歴史」に関する意見が多くなっています。「自然」の中でも、「山・川・海」があることに対する意見が多くなっています。また、「歴史」では、「三谷祭」が多くなっています。

■ 誇りに思う「モノ」や「コト」(1/2)

誇りに思う「モノ」や「コト」		回答者数(人)	合計(人)
住環境	地域の人との繋がり・人柄	25	78
	静か・のんびりとした環境	22	
	子育て環境の良さ	7	
	飲食店	2	
	ゴミが落ちていない	2	
	災害が少ない	5	
	公園	4	
	中央公園	2	
	図書館	2	
	その他	7	
交通	生活利便施設へのアクセス性	10	22
	市外へのアクセス性	3	
	交通の便の良さ	6	
	道路が整備されている	2	
	その他	1	
自然環境	自然環境(山・川・海など)	119	184
	山からの眺め	2	
	五井山からの眺め	2	
	景色・景観	20	
	自然環境(野生生物)	3	
	気候(温暖、雨が少ない)	8	
	空気が綺麗	2	
	清田の大樟(国指定天然記念物)	3	
	あじさいの里(あじさい祭り)	6	
	春日浦海岸	2	
	清掃活動がある	4	
	その他	13	
歴史	祭り	24	161
	三谷祭	47	
	蒲郡まつり(花火大会)	27	
	八百富神社例大祭	9	
	形原神社の桜まつり	4	
	御嶽神社例祭	2	
	盆踊り	3	
	手筒花火	4	
	伝統芸能	2	
	伝統芸能(チャラボコ)	10	
	神社・寺	2	
	形原城跡(古城稲荷社)	2	
	八百富神社の竹島弁財天	2	
	大宮神社	2	
	形原神社	2	
	子安弘法大師像(金剛寺)	4	
	委空寺(鼠小僧次郎吉の墓)	2	
	その他	13	

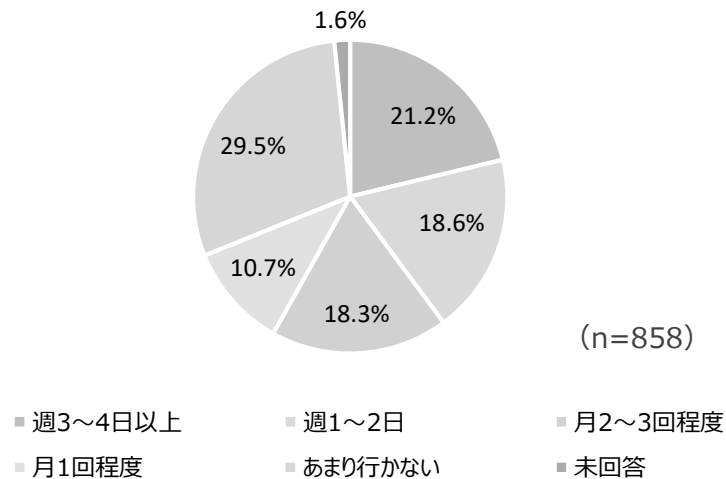
■誇りに思う「モノ」や「コト」(2/2)

誇りに思う「モノ」や「コト」		回答者数(人)	合計(人)
観光 娯楽	竹島	24	62
	竹島水族館	10	
	温泉・温泉旅館・温泉街	6	
	三河大島	5	
	大塚海浜緑地(ラグーナビーチ)	2	
	釣り・潮干狩がり	5	
	海水浴	3	
	海洋レジャー	3	
	ラグーナテンボス	3	
	その他	1	
特産品 名物	海鮮・海産物	10	22
	蒲郡みかん	9	
	農産物	3	
防犯	治安・防犯面の良さ	2	3
	その他	1	
地域活動 行事 イベント	地域活動	12	24
	市民会館でのイベント	2	
	森の文化祭	2	
	その他	8	
その他	市長・市政	3	7
	その他	4	

○蒲郡市の中心部（蒲郡駅周辺）について

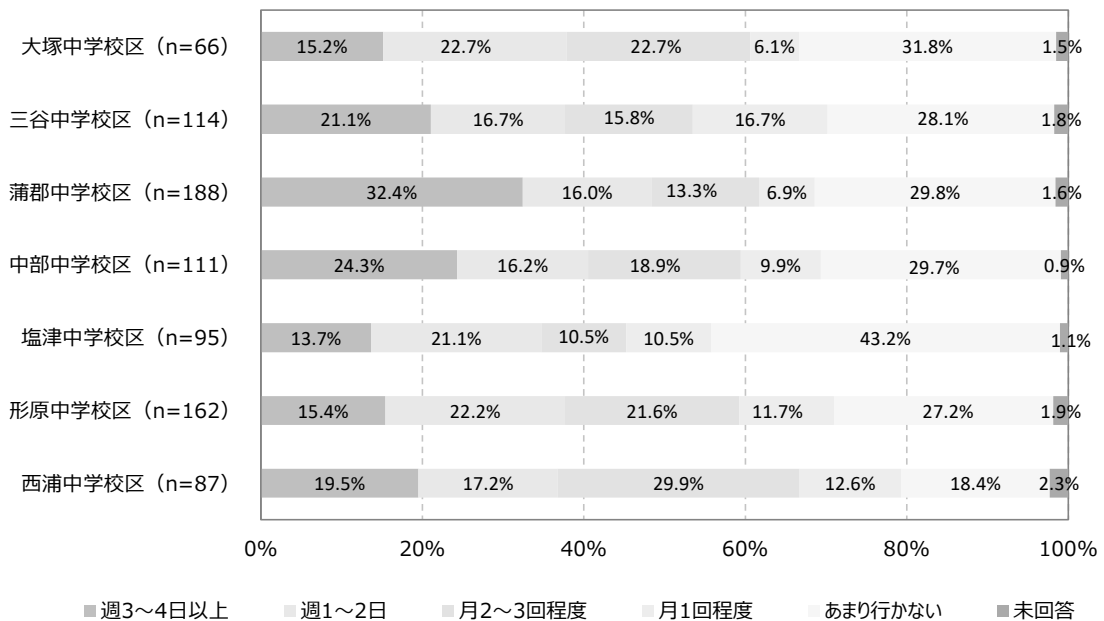
（問7）蒲郡市の中心部へ出かける頻度

- ・「あまり行かない」の割合が29.5%と最も高く、次いで「週3～4日以上」の割合が21.2%、「週1～2日」の割合が18.6%となっています。回答者のうち、半数以上が月2～3回以上中心部へ出かけています。



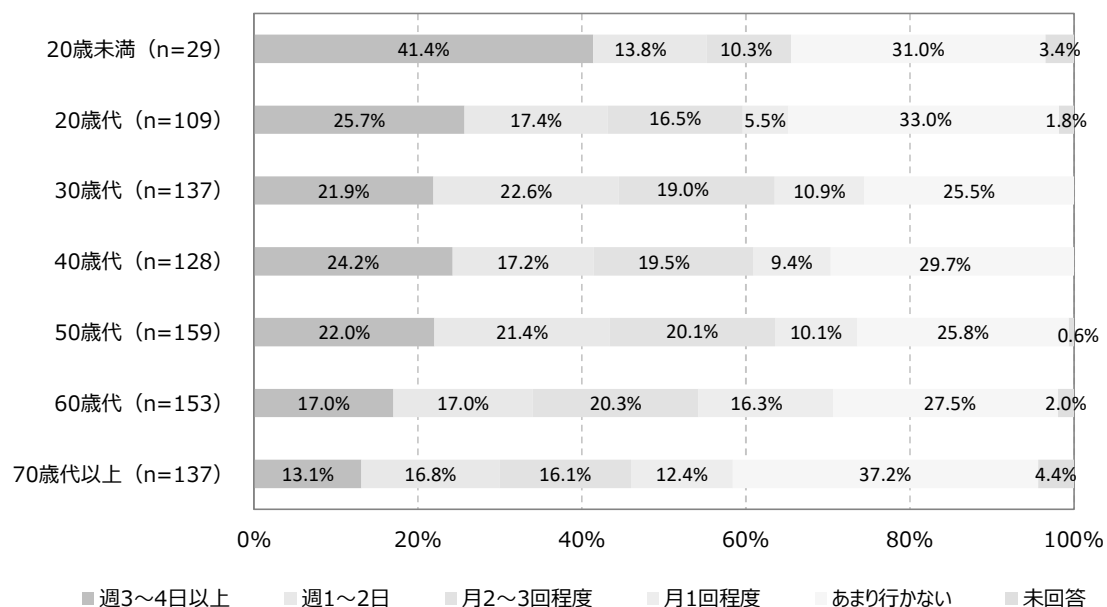
◇居住地別

- ・「週3～4日以上」の割合は蒲郡中学校区が32.4%と最も高くなっています。
- ・一方、「あまり行かない」の割合は、塩津中学校区が43.2%と最も高くなっています。



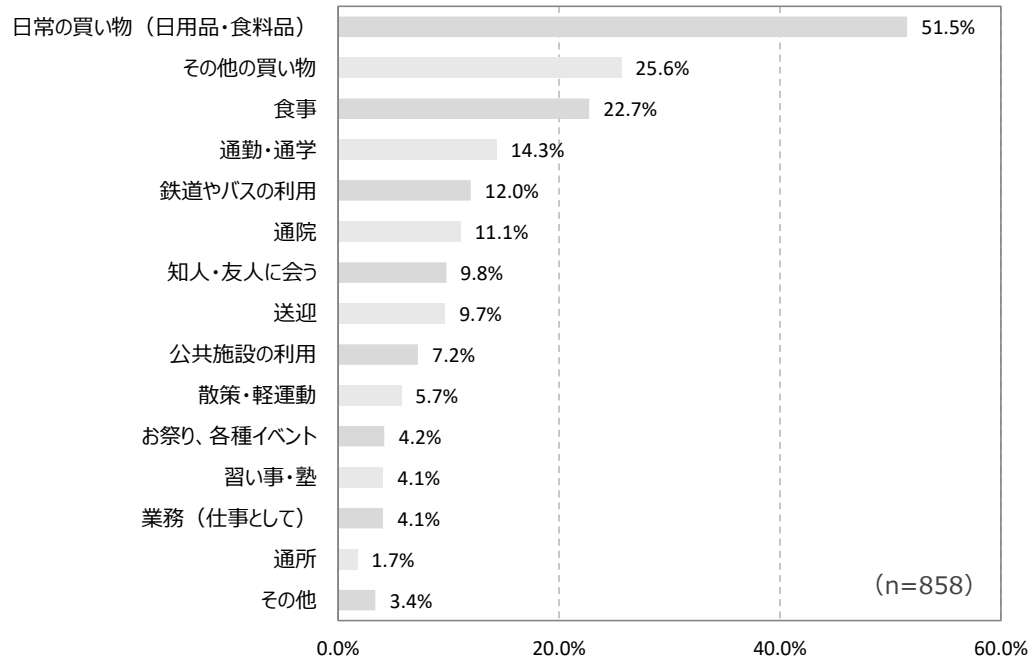
◇年齢別

- ・「週3～4日以上」の割合は20歳未満が41.4%と最も高く、「週1～2日以上」の割合は半数を超えています。
- ・一方、50歳代以降は、年代が上がるにつれ、「あまり行かない」の割合が高くなっており、70歳代以上では、37.2%となっています。



(問8) お出かけの主な目的

- ・「日常の買い物（日用品・食料品）」の割合が51.5%と最も高く、次いで「その他の買い物」の割合が25.6%、「食事」の割合が22.7%となっています。



※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

◇居住地別

- ・どの中学校区についても、「日常の買い物（日用品・食料品）」の割合が最も高く 40% 以上となっており、特に、大塚中学校区は 65.2%と高くなっています。
- ・蒲郡中学校区は、他の中学校区と比較して、「食事」の割合が 13.3%と低くなっています。

		お出かけの主な目的							
		通勤・通学	通院	通所	（日常の買い物・日用品・食料品）	その他の買い物	知人・友人に会う	食事	散策・軽運動
居住地	大塚中学校区 (n=66)	13.6%	13.6%	0.0%	65.2%	24.2%	12.1%	24.2%	3.0%
	三谷中学校区 (n=114)	13.2%	7.9%	2.6%	50.9%	23.7%	12.3%	26.3%	3.5%
	蒲郡中学校区 (n=188)	22.9%	9.0%	1.6%	51.6%	20.2%	9.0%	13.3%	7.4%
	中部中学校区 (n=111)	14.4%	9.9%	2.7%	53.2%	26.1%	7.2%	21.6%	13.5%
	塩津中学校区 (n=95)	8.4%	9.5%	2.1%	43.2%	28.4%	5.3%	21.1%	2.1%
	形原中学校区 (n=162)	10.5%	13.6%	1.9%	50.6%	30.9%	9.9%	30.9%	3.7%
	西浦中学校区 (n=87)	11.5%	16.1%	1.1%	48.3%	29.9%	13.8%	27.6%	4.6%
	わからない(n=22)	22.7%	9.1%	0.0%	63.6%	13.6%	9.1%	27.3%	9.1%

		お出かけの主な目的						
		習い事・塾	業務（仕事として）	公共施設の利用	鉄道やバスの利用	送迎	お祭り、各種イベント	その他
居住地	大塚中学校区 (n=66)	4.5%	1.5%	10.6%	9.1%	3.0%	1.5%	3.0%
	三谷中学校区 (n=114)	1.8%	7.0%	8.8%	4.4%	12.3%	1.8%	4.4%
	蒲郡中学校区 (n=188)	3.7%	3.2%	4.8%	15.4%	12.8%	5.3%	3.7%
	中部中学校区 (n=111)	5.4%	3.6%	9.0%	15.3%	12.6%	4.5%	3.6%
	塩津中学校区 (n=95)	5.3%	4.2%	4.2%	14.7%	10.5%	2.1%	3.2%
	形原中学校区 (n=162)	5.6%	3.1%	6.8%	11.7%	8.0%	7.4%	1.9%
	西浦中学校区 (n=87)	2.3%	6.9%	8.0%	11.5%	5.7%	3.4%	2.3%
	わからない(n=22)	0.0%	0.0%	9.1%	13.6%	4.5%	4.5%	9.1%

太字：居住地ごとで、割合が最も高いもの
 ※複数回答のため、各項目の合計値は 100%とならない

◇年齢別

- ・20歳代以上は、「日常の買い物（日用品・食料品）」の割合が半数を超えており、特に、30歳代は56.9%と最も高くなっています。
- ・20歳未満は、他の年代と比較して、「通勤・通学」の割合が48.3%と最も高く、また、「知人・友人に会う」の割合も34.5%と高くなっています。

		お出かけの主な目的							
		通勤・通学	通院	通所	（日用品の買い・食料品）	その他の買い物	知人・友人に会う	食事	散策・軽運動
年齢	20歳未満(n=29)	48.3%	0.0%	0.0%	24.1%	20.7%	34.5%	20.7%	6.9%
	20歳代(n=109)	23.9%	5.5%	1.8%	51.4%	18.3%	12.8%	28.4%	4.6%
	30歳代(n=137)	17.5%	10.2%	4.4%	56.9%	22.6%	9.5%	23.4%	4.4%
	40歳代(n=128)	14.1%	6.3%	1.6%	50.8%	30.5%	5.5%	25.8%	5.5%
	50歳代(n=159)	15.1%	8.8%	1.9%	53.5%	26.4%	3.1%	17.6%	7.5%
	60歳代(n=153)	9.2%	10.5%	0.7%	51.6%	25.5%	10.5%	21.6%	4.6%
	70歳代以上(n=137)	2.2%	26.3%	0.7%	51.1%	30.7%	13.1%	23.4%	7.3%

		お出かけの主な目的						
		習い事・塾	業務（仕事として）	公共施設の利用	鉄道やバスの利用	送迎	お祭り、各種イベント	その他
年齢	20歳未満(n=29)	3.4%	0.0%	3.4%	17.2%	6.9%	3.4%	3.4%
	20歳代(n=109)	2.8%	1.8%	4.6%	11.9%	5.5%	1.8%	2.8%
	30歳代(n=137)	6.6%	3.6%	6.6%	7.3%	2.9%	2.9%	5.1%
	40歳代(n=128)	8.6%	5.5%	5.5%	8.6%	18.0%	8.6%	1.6%
	50歳代(n=159)	0.6%	5.7%	8.8%	15.1%	13.2%	4.4%	1.3%
	60歳代(n=153)	1.3%	6.5%	7.2%	18.3%	13.1%	3.9%	4.6%
	70歳代以上(n=137)	5.8%	0.7%	10.2%	8.8%	5.1%	3.6%	4.4%

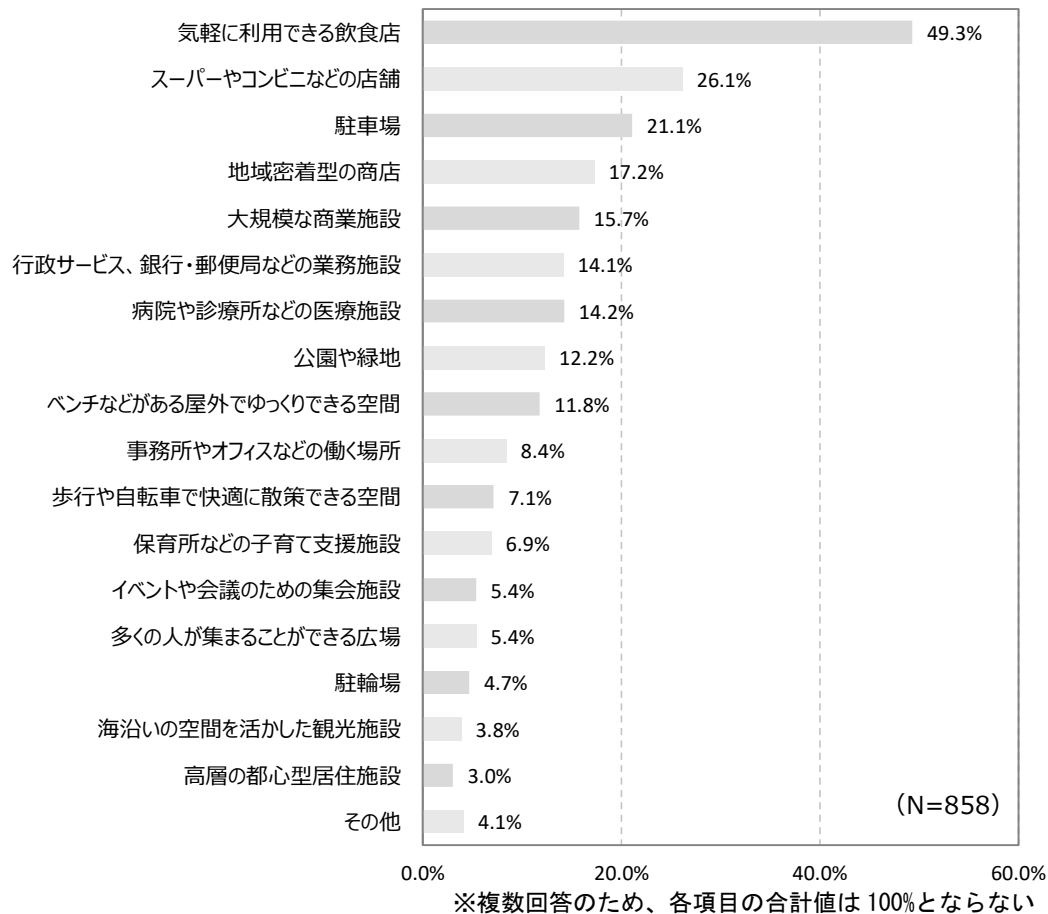
太字：年齢ごとで、割合が最も高いもの

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

(問9) 蒲郡市の中心部に重要だと思う施設

①北側

- ・「気軽に利用できる飲食店」の割合が49.3%と最も高く、次いで「スーパーやコンビニなどの店舗」の割合が26.1%、「駐車場」の割合が21.1%となっています。



◇年齢別

- ・どの年代においても、「気軽に利用できる飲食店」の割合が最も高く、特に、20歳代は58.7%と高くなっています。
- ・20歳代は、他の年代と比較して、「スーパーやコンビニなどの店舗」の割合が39.4%と高くなっています。

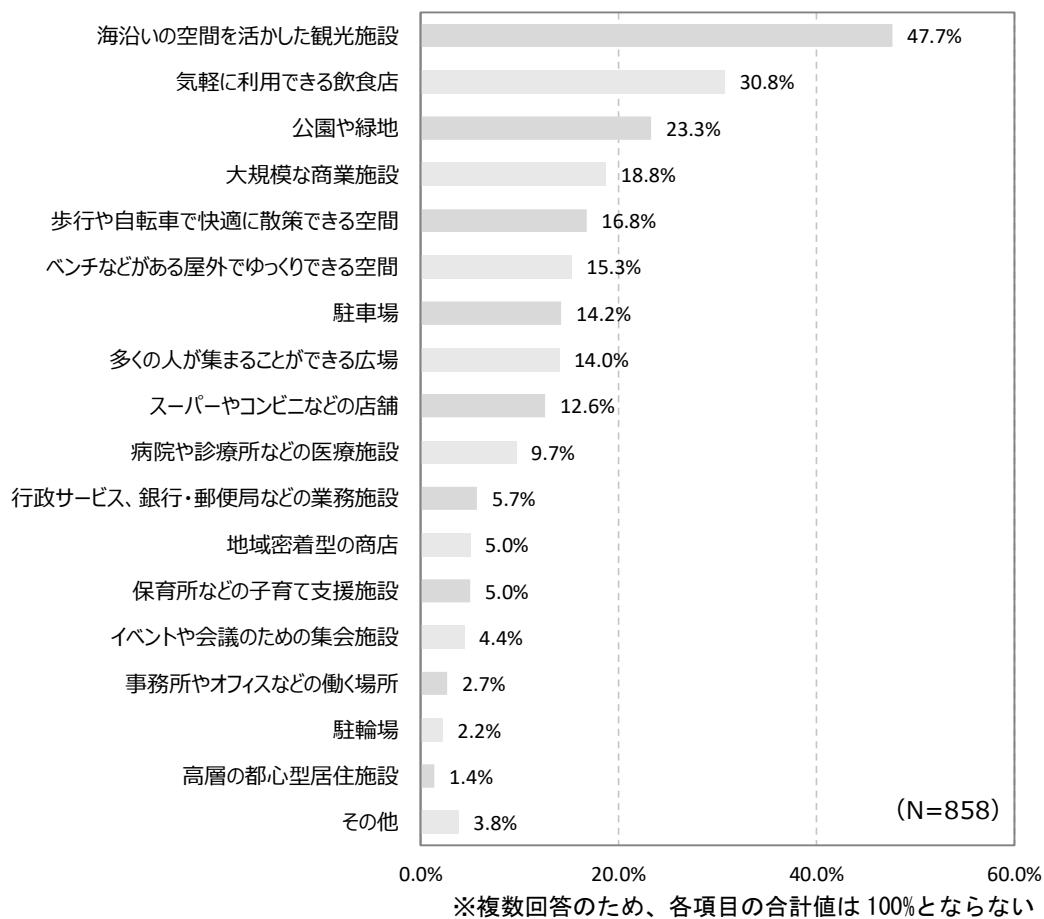
		中心部(北側)に重要だと思う施設								
		気軽に利用できる飲食店	店舗スーパーやコンビニなどの	地域密着型の商店	大規模な商業施設	病院や診療所などの医療施設	郵便局、行政サービス、銀行・業務施設	施設保育所などの子育て支援	高層の都心型居住施設	働く場所やオフィスなどの
年齢	20歳未満(n=29)	44.8%	24.1%	10.3%	20.7%	3.4%	10.3%	3.4%	3.4%	6.9%
	20歳代(n=109)	58.7%	39.4%	13.8%	26.6%	8.3%	11.0%	8.3%	0.0%	9.2%
	30歳代(n=137)	46.7%	29.9%	13.1%	17.5%	14.6%	11.7%	12.4%	2.9%	7.3%
	40歳代(n=128)	53.1%	30.5%	14.1%	19.5%	13.3%	14.1%	6.3%	3.1%	10.2%
	50歳代(n=159)	57.2%	30.8%	24.5%	11.3%	16.4%	17.6%	6.3%	4.4%	9.4%
	60歳代(n=153)	45.1%	18.3%	17.0%	14.4%	16.3%	15.7%	7.2%	3.9%	8.5%
	70歳代以上(n=137)	38.0%	11.7%	21.2%	8.0%	17.5%	13.1%	2.2%	2.9%	6.6%

		中心部(北側)に重要だと思う施設								
		集会施設 イベントや会議のための	観光施設 海沿いの空間を活かした	公園や緑地	多くの人が集まる場所	ベンチなどがある屋外空間	散歩や自転車などができる空間	駐輪場	駐車場	その他
年齢	20歳未満(n=29)	10.3%	10.3%	27.6%	10.3%	10.3%	13.8%	3.4%	24.1%	6.9%
	20歳代(n=109)	4.6%	6.4%	11.9%	3.7%	11.0%	2.8%	3.7%	13.8%	4.6%
	30歳代(n=137)	2.9%	5.1%	17.5%	4.4%	11.7%	9.5%	2.9%	15.3%	6.6%
	40歳代(n=128)	7.0%	5.5%	13.3%	5.5%	10.9%	6.3%	6.3%	16.4%	4.7%
	50歳代(n=159)	3.1%	2.5%	10.7%	3.1%	8.2%	6.9%	5.7%	29.6%	5.0%
	60歳代(n=153)	10.5%	1.3%	13.1%	5.9%	13.7%	7.2%	4.6%	23.5%	2.6%
	70歳代以上(n=137)	2.9%	2.2%	4.4%	8.8%	15.3%	8.0%	5.1%	24.1%	0.7%

太字：年齢ごとで、割合が最も高いもの
 ※複数回答のため、各項目の合計値は100%とにならない

②南側

- ・「海沿いの空間を活かした観光施設」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「気軽に利用できる飲食店」の割合が 30.8%、「公園や緑地」の割合が 23.3%となっています。



◇年齢別

- ・どの年代についても、「海沿いの空間を活かした観光施設」の割合が高く、特に 60 歳代は 59.5%と最も高くなっています。
- ・20 歳未満、40 歳代は、「気軽に利用できる飲食店」が最も高くなっています。
- ・20 歳代と 30 歳代は、他の年代と比較して、「大規模な商業施設」の割合が、それぞれ 30.3%、29.2%と高くなっています。

		中心部(南側)に重要だと思う施設								
		気軽に利用できる飲食店	店舗スパーやコンビニなどの	地域密着型の商店	大規模な商業施設	病院や診療所などの医療施設	郵便局などの業務施設・行政サービス	施設保育所などの子育て支援	高層の都心型居住施設	働く場所やオフィスなどの
年齢	20歳未満(n=29)	48.3%	17.2%	3.4%	17.2%	3.4%	0.0%	3.4%	3.4%	6.9%
	20歳代(n=109)	28.4%	22.0%	5.5%	30.3%	11.9%	3.7%	11.9%	0.9%	2.8%
	30歳代(n=137)	34.3%	10.2%	8.8%	29.2%	6.6%	8.8%	6.6%	0.7%	3.6%
	40歳代(n=128)	45.3%	18.0%	3.1%	22.7%	10.2%	7.0%	3.9%	3.1%	3.1%
	50歳代(n=159)	32.1%	11.9%	3.1%	16.4%	9.4%	6.9%	3.1%	0.0%	1.9%
	60歳代(n=153)	24.2%	7.8%	3.9%	13.1%	11.8%	4.6%	3.9%	3.3%	1.3%
	70歳代以上(n=137)	17.5%	7.3%	6.6%	5.8%	10.2%	2.9%	2.9%	0.0%	2.9%

		中心部(南側)に重要だと思う施設								
		集会施設 イベントや会議のための	観光施設の空間を活かした	公園や緑地	多くの人が集まること ができる広場	ベンチなどがある屋外 でつくりだせる空間	歩行や自転車での移動が 快適にできる空間	駐輪場	駐車場	その他
年齢	20歳未満(n=29)	3.4%	37.9%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	6.9%	24.1%	3.4%
	20歳代(n=109)	2.8%	36.7%	20.2%	14.7%	11.9%	7.3%	2.8%	14.7%	7.3%
	30歳代(n=137)	4.4%	40.9%	26.3%	10.9%	16.8%	16.1%	2.2%	10.2%	3.6%
	40歳代(n=128)	2.3%	43.8%	23.4%	18.8%	10.9%	13.3%	1.6%	14.1%	1.6%
	50歳代(n=159)	7.5%	58.5%	27.7%	13.8%	15.7%	22.6%	2.5%	15.7%	5.0%
	60歳代(n=153)	3.9%	59.5%	25.5%	13.7%	19.0%	19.6%	2.0%	13.7%	2.6%
	70歳代以上(n=137)	5.1%	45.3%	18.2%	13.1%	16.1%	19.7%	1.5%	14.6%	3.6%

太字：年齢ごとで、割合が最も高いもの
※複数回答のため、各項目の合計値は 100%とにならない

第3章 まちづくりに関する市民意向の把握

(問10) 蒲郡市の中心部のまちづくりに関するご意見やアイデアなど

- ・「欲しい施設やサービス」についての意見が多くなっています。中でも、「商業施設」「駐車場」「飲食店(カフェ・レストラン)」の意見が多くなっています。その他、「既存施設」「ターゲット」に関する意見も多くなっています。

■まちづくりに関するご意見やアイデア (1/2)

まちづくりに関するご意見やアイデア		回答者数(人)	合計(人)
ターゲット	子供	16	80
	学生・若い世代	25	
	子育て(大人)世代	11	
	高齢者	9	
	老若男女(家族・子供から大人まで)	10	
	観光客	9	
まち全体	まちなか開発・活気のあるまちづくり	15	57
	住みやすいまちづくり	5	
	働きやすいまちづくり	4	
	観光に特化したまちづくり	11	
	自然(海など)や景色を活かした施設・まちづくり	15	
	お金を使いたくなる環境	2	
	景色・景観の整備	5	
生活環境	治安・防犯面	15	61
	環境・衛生面	21	
	海岸整備	4	
	花・緑	13	
	防災・耐災面	5	
	その他	3	
道路・交通・歩道など	道路・交通整備	40	70
	公共交通機関(鉄道・バス)	17	
	観光地(施設)へのアクセス	6	
	散策できる道	4	
	散策マップ	2	
	その他	1	
駅周辺	駅前・地下・駅周辺の整備	20	26
	ステーションビル	2	
	その他	4	
既存施設	商店街の整備・活性化	17	86
	既存施設の活用	3	
	既存施設の維持	3	
	既存施設の整備(改築・リニューアル・改善)	27	
	既存施設の撤去	2	
	空地・空き家・空き店舗の活用	20	
	公共施設(学校・図書館など)の整備	14	
蒲郡市の名物など	まちのシンボル・象徴	2	12
	蒲郡名物	4	
	海鮮や特産物を売りにした施設	4	
	その他	2	

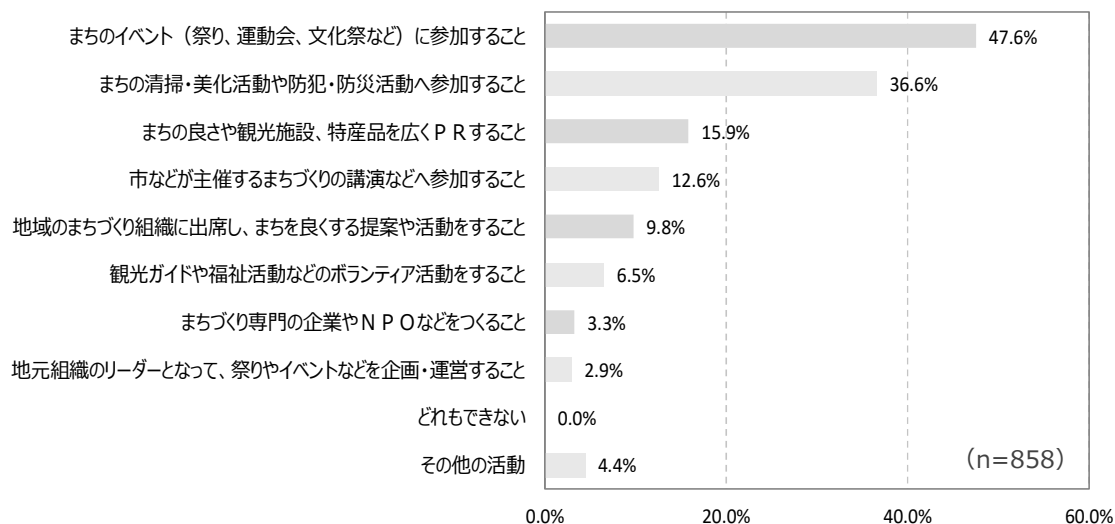
■まちづくりに関するご意見やアイデア（2/2）

まちづくりに関するご意見やアイデア		回答者数(人)	合計(人)
欲しい施設やサービス	行政サービス、銀行・郵便局などの業務施設	4	328
	居住施設	6	
	観光・レジャー施設	21	
	娯楽施設(銭湯・映画館・ゲームセンターなど)	15	
	商業施設	30	
	食料品・日用品などの店舗	14	
	飲食店	26	
	飲食店(テイクアウト)	4	
	飲食店(カフェ・レストラン)	29	
	飲食店(居酒屋)	2	
	食べ歩きできる場所	2	
	服飾・生活雑貨などの店舗	11	
	魅力のあるお店の誘致	10	
	運動施設	7	
	福祉施設(高齢者・障がい者・児童)	3	
	文化施設	2	
	イベント施設	8	
	多目的広場	16	
	子育て支援施設・サービス	6	
	学習・体験施設	2	
	人が集まれる施設	5	
	道の駅・サービスエリア	7	
	駐車場	30	
	駐輪場	2	
	公園	20	
	医療施設・医療サービス・医療費	10	
	休憩スペース・くつろぎの場	10	
	事務所やオフィスなどの働く場所	8	
	レンタサイクル	2	
	全天候型施設	7	
	その他	9	
市政	市役所	4	11
	補助金・給付金	4	
	その他	3	
その他	中心部以外のまちづくり	14	73
	イベント・行事の開催	11	
	バリアフリー・ノーマライゼーション	4	
	周知・PR	9	
	SNSの活用	6	
	他施設・他市町事例	20	
	現状維持でよい	5	
	その他	4	

○まちづくりへの参加意向について

(問 11) 蒲郡のまちづくりのために取り組めること

・「まちのイベント（祭り、運動会、文化祭など）に参加すること」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「まちの清掃・美化活動や防犯・防災活動へ参加すること」の割合が 36.6%、「まちの良さや観光施設、特産品を広く PR すること」の割合が 15.9%となっています。



※複数回答のため、各項目の合計値は 100% とならない

3-4 転出入者アンケート

(1) 調査概要

ここでは、令和2年度において、市民課窓口にて転入または転出の手続をした方の回答を整理します。

■調査概要

調査対象	市民課窓口にて転入または転出の手続をした方 (任意)
調査期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
回答数	501件

(2) 調査結果

アンケート調査内容のうち、まちづくりに相関の高い項目について整理します。

問 転入または転出のきっかけ

- ・職業や結婚、住宅事情による転居が多くなっています。
- ・生活環境、自然環境、交通の便といったまちづくりに関連する項目は、きっかけにはなっていない状況です。

	転入	転出
職業	59%	64%
学業	4%	4%
結婚	12%	14%
生活環境	2%	4%
自然環境	2%	0%
交通の便	1%	1%
住宅事情	11%	10%
介護	1%	2%
その他	9%	2%
合計	100%	100%

問 引っ越し先として選んだ理由

- ・「通勤先との距離が近い」や「家族・配偶者がいるから」、「良い物件があったから」が、転入・転出ともに引っ越し先として選んだ理由として多くなっています。
- ・都市別の傾向では、各都市の転出入とも既述の理由が多くなっていますが、豊橋市や岡崎市といった中核都市から本市への転入理由として「自然環境が良い」と回答した人が多くなっています。
- ・岡崎市や幸田町への転出者は、「買い物が便利」と回答した人が多くなっています。

	転入	転出
通勤先との距離が近い	35%	44%
家族・配偶者がいるから	31%	23%
自然環境が良い	6%	3%
子育て環境が良い	2%	2%
買い物が便利	2%	6%
家賃や地価が安い	5%	1%
良い物件があったから	10%	10%
災害面で安全	0%	0%
治安が良い	2%	1%
街のイメージが良い	3%	4%
会社・学校の都合	0%	0%
理由はない	4%	5%

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

■都市別の傾向

周辺都市間の移動	豊橋市		岡崎市		豊川市		西尾市		幸田町	
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出
通勤先との距離が近い	40%	35%	35%	56%	33%	29%	18%	47%	22%	29%
家族・配偶者がいるから	25%	20%	25%	22%	24%	14%	36%	33%	44%	29%
自然環境が良い	20%	0%	15%	0%	5%	0%	0%	7%	0%	0%
子育て環境が良い	0%	0%	0%	11%	5%	0%	9%	7%	0%	0%
買い物が便利	0%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14%
家賃や地価が安い	0%	0%	5%	0%	14%	14%	18%	0%	11%	0%
良い物件があったから	5%	15%	15%	0%	19%	43%	9%	7%	11%	21%
災害面で安全	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
治安が良い	5%	5%	0%	0%	0%	0%	9%	0%	0%	0%
街のイメージが良い	5%	5%	5%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
会社・学校の都合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
理由はない	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	7%

※複数回答のため、各項目の合計値は100%とならない

3-5 調査の結果のまとめ

A：市民意識調査
B：蒲郡市のまちづくりに関するアンケート
C：転出入者アンケート

個人属性（B 問 1）

- ・性別、年齢、居住地区いずれも均衡した回答が得られた。
- ・65 歳以上の高齢者と同居している人が多い。
- ・免許保有率、自動車保有率が高い。

生活実態（B 問 2）

- ・日用品の買い物は中学校区内が多いが、大塚中学校区、三谷中学校区、西浦中学校区では隣接校区に行く人が多い。
- ・日用品以外の買い物は、蒲郡中学校区や岡崎市に行く人が多い。
- ・病院・診療所は中学校区内が多いが、中部中学校区、塩津中学校区、西浦中学校区では隣接校区に行く人も多い。
- ・移動手段は、自家用車が多い。

駅の利用実態（B 問 3～4）

- ・利用駅は、大塚中学校区、三谷中学校区では中学校区内の駅が多いが、蒲郡中学校区以西の中学校区では、蒲郡駅が多い。
- ・駅までの移動手段は、蒲郡駅（蒲郡駅）では自家用車が多いが、それ以外の駅では徒歩が多い。
- ・移動時間は 10 分未満が多い。

蒲郡市の印象（A 問 1～問 4、B 問 6）、まちづくりの方向性（A 問 5～6、B 問 5、C）

- ・住みやすく、今後も住み続けたいと思っている人が多いが、西浦中学校区は全体と比較するとその割合が低い。
- ・海や山などの自然環境の保護や海とふれあうまちづくりの重要度、満足度がともに高く、また、周辺の中核市からの転入理由として評価が高いことから、本市の自然を活かしたまちづくりが望まれている。
- ・災害に強いまちづくりや交通安全・防犯対策の重要度が高く、安全・安心に暮らせるまちが望まれている。
- ・バス・鉄道の公共交通の利便性の重要度が高い一方で、満足度が低い。また、駅前などの市街地整備への重要度も高まる一方、満足度は低下している。日用品や食料品、飲食店の充実への要望も高く、住環境が整った快適なまちが望まれている。
- ・子育て世代には、生活道路や子どもの遊び場などの整備、高齢者には、身近な医療施設の整備が望まれている。

蒲郡市の中心部（蒲郡駅周辺）（B 問 7～10）

- ・ 蒲郡中学校区からの来訪者が最も多いが、市内全体から同程度の頻度で来訪がある。
- ・ 来訪の目的は、日常の買い物やその他の買い物、食事が多い。
- ・ 中心部に来訪する頻度は、通勤・通学が目的の 20 歳未満が高い。
- ・ 蒲郡駅の北側と南側のそれぞれで特色あるまちづくりが望まれている。

（北側で重要な施設）

- ・ 気軽に利用できる飲食店やスーパー、コンビニなどの店舗、地域密着型の商店など、日常的に利用する店舗
- ・ 駐車場

（南側で重要な施設）

- ・ 海沿いの空間を活かした観光施設
- ・ 気軽に利用できる飲食店や大規模な商業施設
- ・ 公園や緑地、歩行や自転車で快適に散策できる空間などの快適な屋外空間

蒲郡市の各拠点（A 問 4、5、B 問 2、3、5）

- ・ 名鉄の利用が少なく、蒲郡駅を利用する人が多い。
- ・ 駅周辺は、スーパーや飲食店などの商業店舗や、駐車場、車での送迎が可能な駅前広場などの自動車でのアクセス利便性の向上が望まれている。
- ・ 三河鹿島駅、形原駅、西浦駅周辺は、公園や緑地、ベンチなどがある屋外でゆっくりできる空間、歩行空間が確保された生活道路などの、歩行者などの快適な空間整備が望まれている。

まちづくりへの参加意向（B 問 11）

- ・ 祭りや運動会、文化祭などのまちのイベントや、清掃・美化活動、防犯・防災活動などの暮らしの身近な取り組みへの参画意向が高い。

■参考：アンケート調査票（蒲郡市市民意識調査）

令和2年度

蒲郡市 市民意識調査

市民の皆様には日頃から市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

蒲郡市では、平成23年度にスタートした「第四次蒲郡市総合計画」に基づき「三河湾に輝く人と自然が共生するまち 蒲郡」を目指すべく都市像としてまちづくりを進めてきております。取り組みを進めていくには、皆様のご意見を積極的にお伺いすることが重要であると考えております。

そこで、市民の皆様には市これまでの取り組みに対する評価をいただき、現在の生活環境や今後のまちづくりについてのご意見などをお伺いするため、市民意識調査を実施することといたしました。調査結果は、市民の皆様にご満足していただける市政の実現に向けて活用してまいります。

このアンケート調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に2,000人の方を選ばせていただきました。ご回答は無記名の上、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年7月

蒲郡市長 鈴木 寿明

◆調査票の記入について

・封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。

・尚、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談のうえご家族の方がご記入ください。

・回答にあたっては、設問によって選択する項目の数異なりますので、設問に従い○印をつけてください。ただし、「その他」を選択された場合は、()内に具体的にその内容をご記入ください。

◆調査票の回収について

回答されたアンケート用紙は、7月20日(月)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

◆調査についての不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

蒲郡市 企画部 企画政策課

電話:0533-66-1162 FAX:0533-66-1190

E-mail:kikaku@city.gamagori.lg.jp

1 あなた自身のことについてお答えします

問1 あなたの性別は(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢は(令和2年7月1日現在の満年齢)(○は1つだけ)

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代

5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳以上

問3 あなたの家族構成は(○は1つだけ)

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. 親と子の世帯

4. 三世以上世帯(孫と子と孫) 5. その他()

問4 あなたに18歳未満の子どもはいますか(該当する項目に○)

1. 0～2歳 2. 3～5歳 3. 小学生 4. 中学生 5. 高校生等 6. いない

問5 あなたの職業は(○は1つだけ)

1. 会社員・団体職員(常勤) 2. 公務員・教職員(常勤)

3. パートタイマー・アルバイト・内職 4. 自営業

5. 農林水産業 6. 学生

7. 専業主婦・主夫 8. 無職

問5で11～16に答えただけにお願いします

問5-1 あなたの通勤(就業)・通学先は(○は1つだけ)

1. 蒲郡市内 2. 豊橋市 3. 豊川市 4. 岡崎市

5. 幸田町 6. 西尾市 7. 名古屋市

8. 愛知県内(1～7以外の愛知県内) 9. 愛知県外

問5-2 あなたの通勤・通学の際の主な交通手段は(○は1つだけ)

1. 電車 2. バス 3. 自動車・二輪車(バイク・スクーター)

4. 自転車 5. 徒歩 6. その他()

問6 あなたの居住地区(中学校区)は

(※地域がわからない方は、住所(町名)をご記入ください。)(○は1つだけ)

1. 大塚中学校区 2. 三谷中学校区 3. 蒲郡中学校区

4. 中部中学校区 5. 堀津中学校区 6. 形原中学校区

7. 西浦中学校区 8. わからない(町名:)

問7 蒲郡市に住むことになったきっかけは(○は1つだけ)

1. 蒲郡で生まれたから 2. 就学、就業 3. 結婚

4. 親族がいてから 5. 魅力を感じたから 6. その他()

問8 蒲郡市における居住歴は(○は1つだけ)

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満

4. 10年以上20年未満 5. 20年以上

1

2 蒲郡市の住みやすさ・印象についておたずねします

問9 あなたは、蒲郡市は住みやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい

問10 あなたは、蒲郡市に愛着がありますか。(○は1つだけ)

1. とても愛着がある
2. やや愛着がある
3. どちらでもない
4. あまり愛着がない
5. 愛着がない

問11 あなたは、知人に住む場所として蒲郡市を薦めますか。(○は1つだけ)

1. 薦めたい
2. どちらかといえば薦めたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば薦めたくない
5. 薦めたくない

問12 あなたは、これからも蒲郡市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. ずっと住み続けたい
2. 当分の間は住み続けたい
3. いずれは市外へ引っ越したい
4. すぐにも市外へ引っ越したい

問12で「3」、「4」と答えた方にお聞きます

問12-1 どちらへ引っ越したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 豊橋市
2. 豊川市
3. 岡崎市
4. 幸田町
5. 西尾市
6. 名古屋
7. 愛知県内(1～6以外の愛知県内)
8. 愛知県外
9. その他()
10. わからない

問13 あなたは、蒲郡市に対しどのような良い印象をお持ちですか。(〇は3つまで)

1. 交通が便利である
2. 住宅地の環境が良い
3. 商業施設が立地して、生活に便利である
4. 働く場所が多い
5. 文化やスポーツなどの公共施設が充実している
6. 福祉・医療施設や福祉サービスが充実している
7. 子育てしやすい環境が整っている
8. 学校教育などの教育環境が整っている
9. 海や山林などの自然が残っている
10. 災害などの心配が少ない
11. 交通事故や犯罪などの危険が少ない
12. 道路の整備が進んでいる
13. 公園や緑地が多い
14. 上下水道やごみの収集などの生活環境が整っている
15. 近所づきあいなどが多く、人情味が感じられる
16. 外国人住民が暮らしやすい環境が整っている
17. 市民レベルでの国際化が進んでいる
18. その他（ ）
19. 特に良い印象はない

2

問14 あなたは、蒲郡市に對どのような悪い印象をお持ちですか。(〇は3つまで)

1. 鉄道やバスなどの交通の便が悪い
2. 住宅と工場が混在している
3. 買い物に不便である
4. まちに向く場所が少ない
5. 文化施設やスポーツ施設などが少ない
6. 廃棄・福祉施設が不十分である
7. 子育て環境が整っていない
8. 教育環境が整っている
9. 農地や山林が多く田舎の雰囲気である
10. 災害の危険がある
11. 交通事故や犯罪などが多い
12. 道路の整備が遅れている
13. 公園や緑地が少ない
14. 騒音、悪臭などの問題がある
15. 近所づきあいやなど少なく、人情味に欠ける
16. 外国入住民に対する行政サービスが遅れている
17. 市民レベルでの国際化が遅れている
18. その他（
特に悪い印象はない

3 日常生活や地域活動等の実態についておたずねします

問 15 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。

番号に○印をつけてください。

	記入例) ○○○○○○○○について	取得している取り組みの番号	取得している取り組みの内容	取得している取り組みの名称	取得している取り組みの担当者
(1)	日ごろから健康増進に取り組んでいる	4	③	2	1
(2)	身近な高齢者や障がい者を支援している	4	3	2	1
(3)	子育て世帯を支援している	4	3	2	1
(4)	再生品やエコマーク商品を購入している	4	3	2	1
(5)	ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる	4	3	2	1
(6)	ゴミ拾い等の身近な環境美化に取り組んでいる	4	3	2	1
(7)	学校や地域で子ども達の活動を見守っている	4	3	2	1
(8)	生涯学習活動や文化活動に取り組んでいる	4	3	2	1
(9)	災害に対する家庭内の備えができている	4	3	2	1
(10)	地域の防災・防犯活動に参加している	4	3	2	1
(11)	町内会や地区等、地域の自治活動に参加している	4	3	2	1
(12)	ボランティア活動に参加している（お住まいの地域以外）	4	3	2	1
(13)	外国人住民との交流に参加したことがある	4	3	2	1
(14)	男女が平等に生活や仕事に取り組んでいる	4	3	2	1
(15)	地元のお店でできるだけ買い物をしている	4	3	2	1

32

4 蒲郡市の暮らしの満足度と今後のまちづくりの重要度についておたずねします

問 16 あなたは、これまでの蒲郡市における(1)～(40)の現状について、どの程度満足していますか。
また、今後の蒲郡市のまちづくりにおいて、どれくらい重要であると思いますか。各項目の「満足度」と「重要度」それぞれ欄に、あなたのお考えに最も近いものを「1」つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	現状の満足度				今後の重要度			
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない
記入例) ○○○○○○について	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
1. 自然・環境について								
(1) 海や山などの自然環境の保護	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(2) 海とふれあうまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(3) ごみの減量化、リサイクル活動	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(4) 騒音、悪臭、大気・水質汚染対策	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(5) 省エネ対策や自然エネルギー活動	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
2. 基盤整備・交通について								
(6) 駅前などの市街地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(7) 景観・まちなみへの配慮	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(8) 幹線道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(9) 生活道路の整備	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(10) 公園・緑地の整備	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(11) 公共交通の利便性	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(12) 住宅・宅地の環境	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(13) 下水処理対策	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
3. 安全・安心について								
(14) 健康づくり・疾病対策	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(15) 地域医療体制	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(16) 地域での支え合い・福祉活動	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(17) 子育てに対する支援	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(18) 高齢者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(19) 障がい者への福祉施策	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(20) 低所得者の自立支援	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(21) 災害に強いまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(22) 消防・救急体制	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(23) 交通安全・防犯対策	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(24) 外国人住民への生活支援	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1

	現状の満足度				今後の重要度			
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらでもない
4. 教育・文化について								
(25) 小中学校の教育内容や環境	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(26) 生涯学習活動	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(27) 図書館、ホールなどの施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(28) 文化活動や文化の継承	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(29) スポーツ施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(30) 国際化、外国人との交流・共生	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
5. 産業について								
(31) 農業や水産業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(32) 工業の振興や企業誘致	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(33) 商業やサービス業の振興	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(34) 観光の振興	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(35) ポートレースの円滑な運営や活性化	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
6. その他								
(36) 男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(37) コミュニティ活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(38) ボランティア育成や市民活動支援	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(39) 市政の情報提供や市民の声の広聴	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1
(40) 周辺市町村との連携	5	4	3	2	1	5	4	3 2 1

5 これからのまちづくりについておたずねします

問 17 あなたは、蒲郡市の魅力を高めるために、どのような将来像を目指すべきだと思いますか。
(○は2つまで)

1. 住環境が整い暮らしやすい快適なまち	2. 観光、レジャー施設の充実したまち
3. 緑が豊かで海に親しめる自然環境と調和したまち	5. 事故や災害、犯罪のない安全なまち
4. 長寿や文化財、伝統などを大切にするまち	7. 産業が盛んで活力にぎわいのあるまち
6. まちなみの美しい景観にすぐれたまち	
8. 障がい者や子ども、高齢者などを大切にするまち	
9. スポーツに親しみ、健康づくりに取り組むまち	
10. 芸術や教育が充実した文化がはらるまち	11. 地域や市民の自主的な活動が盛んなまち
12. グローバル人材の育成を推進するまち	13. 外国人住民と共生を推進するまち
14. その他()	

問 18 あなたは、「協働」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 知っており、興味がある | 2. 知っているが、あまり興味がでない |
| 3. 聞いたことはあるが、意味はよくわからない | 4. 知らない |

※「協働」とは、住民や行政などの複数の主体が目標を共有し、それぞれに果たすべき責任と役割をもって、ともに力を合わせて活動すること

問 19 あなたは、地域をより良くするために、住民と行政がどのような役割を果たしたらよいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1. 住民が主体となって取り組み、行政は側面から支援する | |
| 2. 行政が主体となって取り組み、住民は参加・協力する | |
| 3. 住民と行政が話し合い、お互いに役割分担をしながら協力して取り組む | |
| 4. わからない | |
| 5. その他 () | |

問 20 あなたは、地域をより良くするために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 自治会や老人クラブ、女性会、子ども会などの地区の活動 | |
| 2. 福祉（介護、医療、子育て）に関わる活動 | |
| 3. 教育・文化に関わる活動 | |
| 4. 環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動 | |
| 5. 防災・防犯・交通安全に関わる活動 | |
| 6. 地域のまちづくりに関わる活動全般 | |
| 7. 国際化を推進する活動 | |
| 8. 多文化共生に関わる活動 | |
| 9. その他 () | |
| 10. 特に参加したいとは思わない | |

問 21 あなたは、最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 非常に親切に早く対応してくれた | 2. まあまあ親切に対応してくれた |
| 3. 以前と比べて対応が良くなった | |
| 4. いろいろな手続きや面倒な書類の記入などの説明が不十分だった | |
| 5. 対応が事務的で冷たい感じがした | 6. 課をたらい回しにされ、うんざりした |
| 7. 最近、市役所に行っていない | 8. その他 () |

問 22 行政情報は、ホームページや広報誌を始め、メール配信等複数のツールを使って発信されていますが、最も情報を得やすい手段は何ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. ホームページ | 2. 広報誌 |
| 3. メール配信（安ぷろろめー） | 4. ライン（LINE） |
| 5. フェイスブック（Facebook） | 6. ツイッター（Twitter） |
| 7. 防災行政無線 | |

6

問 23 次のうち、興味のある（参加してみたいまたは現在活動している）市民活動の分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 保健・医療・福祉 | 2. 教育・研究 |
| 3. まちづくり・まちおこし | 4. 芸術・文化・スポーツ |
| 5. 自然・環境保全 | 6. 災害救助支援 |
| 7. 地域安全 | 8. 人権・平和 |
| 9. 国際協力・交流・多文化共生 | 10. 子ども・青少年育成 |
| 11. 雇用促進・雇用支援 | 12. その他 () |

問 24 市民活動に興味のある（参加してみたいまたは参加している）理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため | |
| 2. 困っている人を支援したいと思う気持ち | |
| 3. 自分のスキルを市民活動に貢献したい | 4. 自分や家族が関係する活動への支援 |
| 5. 社会課題の解決に貢献したい | 6. 社会的に評価されたい |
| 7. その他 () | |

問 25 市民活動について、行政にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 市民活動を行う場所の充実 | 2. 情報提供や情報発信の充実 |
| 3. 学習機会の提供 | |
| 4. 市民活動に参加できるよう、休暇・休職制度の普及を奨励 | |
| 5. 経済的支援 | 6. その他 () |

問 26 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 聞いたことがあり、意味も理解している | |
| 2. 聞いたことはあるが、意味はあまり理解していない | |
| 3. 聞いたことはない | |

問 27 外国人の相談にのったり、助けたりしたことがありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
| 3. 相談にのろうとしたが、言葉が通じなかった | |
| 4. 困っていることはわかったが、声がかけられなかった | |

問 28 外国人市民の人口は増え続けています。ともに暮らしやすい地域をつくっていくために、私たちが日本人は何をすべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする | |
| 2. 外国人にあいさつを積極的に言う | |
| 3. 地域の活動等に外国人の参加を呼びかける | |
| 4. 日本の生活ルールを守るように呼びかける | |
| 5. 日本語や日本文化を外国人に教える | |
| 6. 外国の言葉や文化を学び、外国人の背景を理解する | |
| 7. 日本人がすべきことは待たない | |

7

問 29 外国人市民と今後どのような交流をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外国人市民から出身国、地域の文化や習慣を学びたい
2. 一緒に地域のイベントに参加したい
3. 一緒にボランティア活動をしたい
4. 家庭のことや子育てについて相談や情報交換をしたい
5. 友達づきあいをしたい
6. 外国人市民に日本の文化や習慣を紹介したい
7. 交流したいとは思わない

6 子育て支援についておたずねします

問 30 蒲郡市は子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)

1. 子育てしやすいまちだと思います
2. どちらかといえば子育てしやすいまちだと思います
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば子育てしにくいまちだと思います
5. 子育てしにくいまちだと思います

問 30 で「4」、「5」と答えた方にお聞きします

問 30-1 子育てにいくほどどこなところですか。(○は2つまで)

1. 子どもが安全に遊べる場所が少ない
2. 子育てに関する情報が少ない
3. 地域や近所の子育て支援が少ない
4. 保育園・放課後児童クラブなどの環境が十分でない
5. 医療費の助成や経済的な支援が少ない
6. 子育ての相談窓口が少ない
7. 車がないため病院や児童館等を利用しにくい
8. その他 ()

問 31～問 34 については子育てしている方もしくは、子育てしていた方のみご回答ください。

問 31 あなたが子育てや子どものことに関して悩みや不安を抱えたとき、相談できる人は誰ですか。またそれはどんな場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者
2. 親など、配偶者以外の親戚
3. 友人や知人、職場の人
4. 民生委員・児童委員
5. 保育園や幼稚園・学校の先生
6. 保健センターの保健師
7. かかりつけの医師や医療機関
8. 子育てコンシェルジュ
9. 市役所・家庭児童相談室
10. 子育て世代包括支援センター (うみのこ)
11. インターネットやメールでの相談
12. その他 ()
13. 相談しない

問 32 子育てに関する情報に満足していますか。(○は1つだけ)

1. 満足している
2. どちらかという満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかという満足していない
5. 満足していない
6. わからない

問 33 子育てに関する情報として、信頼して活用しているものを、どこから入手していますか。(○は3つまで)

1. 友人や知人、職場の人
2. 配偶者や親などの親戚
3. 子育てに関するホームページ
4. 保健師等育児の専門家
5. 育児書、育児雑誌
6. 保育士や幼稚園、学校の先生
7. テレビやラジオの育児番組
8. 広報
9. 子育て応援アプリ (うーみんナビ)
10. その他 ()
11. 活用していない

問 34 市の子育て情報の掲載や予防接種・健診・育児日記等が記録及び管理できる子育て応援アプリ(うーみんナビ)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 34 で「1」知っていると答えた方にお聞きします。

問 34-1 子育て応援アプリ(うーみんナビ)に登録していますか。(○は1つだけ)

1. 登録している
2. 登録していない

問 34-1 で「2」と答えた方にお聞きします

問 34-2 登録していない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要と感ぜなかった
2. 登録がわかりにくい
3. 役立つ情報がない
4. その他 ()

7 健康づくり・スポーツ習慣についておたずねします

問 35 あなたは、かかりつけ医をもっていますか。(○は1つだけ)

1. 持っている
2. 持っていない

問 36 あなたは、かかりつけ薬局をもっていますか。(○は1つだけ)

1. 持っている
2. 持っていない

問 37 あなたは普段、健康だと感じますか。(○は1つだけ)

1. 健康である
2. まあまあ健康である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 38 あなたが健康感を判断する際に、重視する事項は何ですか。(○は3つまで)

1. 病気がないこと
2. 美味しく飲食できること
3. ぐっすりと眠れること
4. 不安や悩みがないこと
5. 幸せを感じる事
6. 生きがいを感じること
7. 家族・人間関係がうまくいくこと
8. 経済的に安定していること
9. 他人から認められること
10. その他 ()

問 39 あなたの健康にとって、最もリスクとなることはどれだとお考えですか。(○は3つまで)

1. 食生活
2. 運動不足
3. お酒
4. たばこ・受動喫煙
5. インフルエンザ等の感染症
6. ストレス
7. 大気汚染、水質汚濁等の環境汚染
8. 食中毒等の食品汚染
9. 花粉症、アトピーなどのアレルギー
10. 災害や交通事故といった不慮の事故
11. 加齢や遺伝
12. 医療事故
13. その他 ()

問 40 健康に関してどのような情報が必要だとお考えですか。(○は3つまで)

1. からの働きや病気についての情報
2. 医療・医療施設についての情報
3. 運動についての情報
4. 休養・ストレスについての情報
5. お酒と健康についての情報
6. タバコと健康についての情報
7. 食事・栄養についての情報
8. 健康診断についての情報
9. 健康づくりのための国・自治体等の目標値
10. 特になし

問 41 健康診査(特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等)がん検診を受けていますか。
(○は1つだけ)

①【健康診査】(特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等)

1. 毎年受けている
2. 時々受けている
3. 受けていない

②【がん検診】

1. 毎年受けている
2. 時々受けている
3. 受けていない

問 41-1 ①【健康診査】で「1」、「2」に答えた方にお聞きします

問 41-1 どこで受診していますか。(あてはまるものすべてに○)

①【健康診査】(特定健診・後期高齢者検診・その他の健康診断等)

1. 医療機関
2. 職場の健診
3. 人間ドック
4. その他 ()

問 41-2 ②【がん検診】で「1」、「2」に答えた方にお聞きします

問 41-2 どこで受診していますか。(あてはまるものすべてに○)

②【がん検診】

1. 市のがん検診
2. 職場のがん検診
3. 人間ドック
4. その他 ()

問 42 あなたはCKD(慢性腎臓病)という病気を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 43 生活習慣病はCKD(慢性腎臓病)となるリスクを高める要因であることを知っていますか。
(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 44 あなたは、フレイル(虚弱)という言葉の意味を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らないが聞いたことがある
3. 知らないし聞いたこともない

問 45 あなたは、この1年間にスポーツ(楽しみを求めたり勝敗を競ったりする目的で行われる身体運動で、陸上、水泳、球技、格闘技などの競技スポーツのほか体力づくり、レクリエーションとして行われるものを含む)を行いましたか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

→ 問 45-2へ

問 45-1-1 スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。
(○は1つだけ)

1. 週に3回以上(年151日以上)
2. 週に1~2回(年51日~150日)
3. 月に1~3回(年12日~50日)
4. 3カ月に1~2回(年4日~11日)
5. 年に1~3回
6. わからない

問 45-1-2 あなたがスポーツをしたのはどのような理由からですか。(○は3つまで)

1. 健康のため
2. 体力増進・維持のため
3. 運動不足を感じるから
4. 楽しみ、気晴らしとして
5. 筋力増進・維持のため
6. 肥満解消、ダイエットのため
7. 友人・仲間との交流として
8. 家族のふれあいとして
9. 自己の記録や能力を向上させるため
10. 美容のため
11. 精神の修養や訓練のため
12. わからない
13. その他 ()

問 45～2 この1年間に、スポーツをしながらのどのような理由からですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が忙しくて時間がいないから | 3. 運動・スポーツが嫌いだから |
| 2. 生活や仕事を動かしているから | 6. 年をとったから |
| 4. 運動・スポーツ以上に大切なことがあるから | 8. お金がかかるから |
| 5. 面倒くさいから | 10. 仲間がいないから |
| 7. 体が弱い(病氣・ケガを含む)から | 12. 機会がなかった |
| 9. 場所や施設がないから | 14. その他() |
| 11. 指導者がいないから | |
| 13. 特に理由はない | |

8 環境保全についておたずねします

問 46 家庭から出るごみの量は多いと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 多いと感じる | 2. どちらかというときと多いと感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというときと少ないと感じる |
| 5. 少ないと感じる | |

問 47 どのようなごみが多いと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. プラスチック製容器包装 | 2. プラスチック製品(容器包装以外) |
| 3. ペットボトル | 4. 空き缶 |
| 5. びん | 6. 生ごみ |
| 7. 小型家電 | 8. 陶磁器、ガラス、蛍光灯など |
| 9. 新聞、ちらし、雑誌 | 10. ダンボール |
| 11. 細かな雑がみ | 12. 古着 |
| 13. 草木 | 14. その他() |

問 48 国民一人当たりお茶碗約1杯分(約140g)の食品ロス(まだ食べられるのに廃棄される食品)が家庭から毎日捨てられていると言われます。ご家庭の食品ロスの状況をどのように感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 多いと感じる | 2. どちらかというときと多いと感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというときと少ないと感じる |
| 5. 少ないと感じる | |

問 49 蒲郡市では令和10年度までに「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量を500gに削減すること」を新たに目標に定め、ごみの減量を推進しています。あなたは、ごみの減量やリサイクルのため、ご家庭ではどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 資源物を正しく分別している | 2. 集団(資源)回収に協力している |
| 3. ごみ出し便り帳や資源物収集カレンダーにより正しいごみ出しを行っている | 4. 資源・ごみ分別アプリ(さんあへる)を活用している |
| 5. 生ごみ処理機等を活用し堆肥化を行っている | 6. 生ごみを捨てる際は水切りを徹底している |
| 7. 食品を粗末にしないよう適量を購入し、使い切り、残さないようにしている | 8. マイバッグを使用し、レジ袋を使用しない |
| 9. 過剰包装を断り、ごみの発生を抑制している | 10. 使い捨て商品の使用を控え、再生品を購入している |
| 11. 空き箱や封筒など細かな雑がみを資源物に分別している | 12. マイボトルを使用し、ペットボトルを控えている |
| 13. プラスチック製品(食品容器、ストロー)の使用を控えている | 14. 資源物の店頭回収を利用している |
| 15. 広報がまごおり等ごみに関する情報に関心をもってしている | 16. 市が開催するごみ出しマナー教室(出前講座)に参加している |
| 17. その他() | |

問 50 ごみの減量やリサイクルのためには、どのような取り組みが必要であるとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. ごみ出し便利帳やアプリでの啓発 | 2. 資源回収団体の活動支援 |
| 3. 生ごみ処理機等の購入補助 | 4. 食品ロス削減の取り組み |
| 5. マイバッグ運動の推進 | 6. 3R、5R行動の推進 |
| 7. 雑がみの資源化の推進 | 8. プラスチックごみの発生抑制 |
| 9. 店頭回収の拡充 | 10. ごみ処理の有料化 |
| 11. 住民説明会等の開催 | 12. わかりやすい分別やゴミ出し方法の講座 |
| 13. その他() | |

問 51 地球温暖化対策の取り組みとして家庭で実践している取り組みは次のうちどれですか。
実践している取り組みに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1. エコバックを活用しビニール袋をなるべく使わないようにしている
2. マイボトルを活用しなるべくペットボトルを購入しないようにしている
3. 新しい家電を購入するときは、省エネ家電を選ぶようにしている
4. 太陽光発電や蓄電池といった環境に配慮した設備を家に設置している
5. エコカー（EV、HEV、PHV、FCV等）に乗っている
6. 不要な電気を消したり、使っていない家電のコンセントを抜くなど、常に省エネ行動を心がけている
7. 冷房28℃、暖房20℃を目安に設定している（クールズ、ウォーミングの実践）
8. 夏の暑いときは図書館やデパートなど涼しい所に出かけるようにしている（クールズ、ウォーミングの実践）
9. なるべく車ではなく自転車や徒歩、公共交通機関を利用して移動している（エコモビ実践）
10. 環境を考慮して作られたものを購入するようにしている（グリーン購入実践）
11. エコドライブを心がけている
12. ごみの減量に努めている
13. プラスチックや雑がみなどは分別を行い、資源物として出している
14. 家庭での食品ロスを減らすように心がけている
15. その他（ ）
16. 特に何もしていない

9 新型コロナウイルス感染症についておたずねします

問 52 新型コロナウイルス感染症について相談しましたか。(○は1つだけ)

1. した
2. していない → 問 52-2へ

問 52-1 相談をした場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 保健所
2. 保健センター
3. 市役所
4. 医療機関
5. その他（ ）

問 52-2 相談をしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

問 52-2 相談をしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談先がわからなかった
2. メディアなどで情報がはいるから
3. 家族など身近な人に相談できた
4. 自分で解決できた
5. 相談することがなかった
6. 相談しても仕方ないと思ったから
7. その他（ ）

問 53 新型コロナウイルス感染症でどんなことが困りましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康なこと
2. 外出制限のこと
3. 学校などの休校
4. ストレス
5. 経済的なこと
6. 病気のことで
7. 医療体制について
8. 受診のタイミング
9. その他（ ）
10. 困りごとはない

問 54 新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言中の生活の制限がある中で、気をつけたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 外出の制限をした
2. 「3つの密」を避けた
3. 外出時にマスクを着用した
4. 咳エチケットを心がけた
5. 換気を十分にした
6. 手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒をした
7. 2mの距離を保つようにした
8. 仕切りやカーテンなどを設置した
9. その他（ ）
10. 特に何もしていない

問 55 新型コロナウイルス感染症対策で、どんなことがあったらよいと思いますか。ご自由にお書きください。

問 56 最後に、浜都市のこれらのまちづくりに関するご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。

回答されたアンケート用紙は、7月20日(月)までに同封の返信用封筒

〈切手不要〉に入れて、ポストに投函してください。

■参考：アンケート調査票（蒲郡市のまちづくりに関するアンケート調査）

あなたご自身についておたずねします

問1 以下の各項目について、あてはまる番号に○をつけてください。

① あなたの性別

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

② あなたの年齢（令和3年4月1日現在の満年齢）

1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代
4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
7. 70歳以上		

③ あなたの職業
（職業と仕事内容のそれぞれから、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。）

職業	仕事内容
1. 勤め人	1. 事務職 2. 研究・技術職 3. 工場・運搬業者 4. 企画・営業 5. 接客・販売業 6. 広報・デザイン 7. 会社役員 8. その他（ ）
2. 自営業（自由業）	9. 農林水産業 10. 製造業 11. 建設業 12. 卸・小売業 13. 飲食業 14. サービス業 15. その他（ ）
3. その他	16. 家事専業 17. パート、アルバイト 18. 学生 19. 無職 20. その他（ ）

④ あなたのお宅に同居されている人（あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。）

1. 就学前の乳幼児	2. 小学生
3. 中学生	4. 高校生
5. 65～74歳の方	6. 75歳以上の方
7. 1～6以外の同居人	8. 一人世帯（同居人はいない）

⑤ あなたの居住地区
（中学校区と町名のそれぞれから、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。）

中学校区	町名	
1. 大塚中学校区	2. 大塚町	3. 海陽町
2. 三谷中学校区	4. 三谷町	6. 平田町
3. 蒲郡中学校区	7. 豊岡町	9. 水竹町
4. 中部中学校区	10. 清田町	12. 神ノ郷町
5. 塩津中学校区	13. 府相町	14. 新井形町
6. 形原中学校区	16. 堀込町	17. 新井町
7. 西浦中学校区	19. 神明町	20. 本町
8. わからない	22. 中央木町	23. 元町
	25. 御幸町	26. 宮成町
	28. 旭町	29. 丸山町
	31. 松原町	32. 港町
	34. 柏原町	35. 竹谷町
	37. 拾石町	38. 鹿島町
	40. 一色町	41. 金平町
	43. 西浦町	44. わからない

蒲郡市のまちづくりに関する
アンケートにご協力ください。

市民の皆さまには、日頃から市政に対して理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
蒲郡市では、平成19年3月に、本市の目指すべき都市の将来像やそれを実現するための方針
を定めた都市計画マスタープランが策定され、概ね15年が経過しようとしています。
この間、人口減少・少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化など、蒲郡市を取り巻く環境が大
きく変化していることから、皆さまが健やかに安心して暮らすことができるような都市づくりを実現するために、
新たな計画を策定してまいります。

今回のアンケートは、皆さまの生活環境の現状や、令和元年7月に策定した立地適正化計画にお
いて本市の中心拠点として位置付けた蒲郡駅周辺の今後のまちづくりについてのご意見やご提案をお
聞かせ、これを計画づくりに役立てるために行うものです。

また、対象者は、令和3年7月1日現在で市内にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為に
2,200人を選びさせていただきます、お願いするものです。ご回答いただいた内容は、市民の皆さまに満
足していただける市政の実現に向けて活用いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろ
しくお願いいたします。

令和3年8月 蒲郡市長 鈴木寿明

ご記入にあたってのお願い

- 封筒の宛名のご本人が答えたいかどうかをお願いします。
なお、ご本人が回答できない場合は、ご本人と相談の上、ご家族の方がお答えください。
- 設問ごとの回答方法に沿って、あなたの考えに近い選択肢の番号に○印をつけていただくこと
を基本としています。なお、選択肢の設問で「その他」を選択された方は（ ）に具体的な内
容をご記入ください。
- アンケート結果は統計的に処理し、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。
- ご記入いただいた調査票は、8月31日（火）までに 同封の「返信用封筒」に
入れて返送してください。（切手は不要です）
- WEBによるアンケートへの回答も可能です。
右のQRコード、または <https://arcg.is/90yvf> からご回答ください。
（1端末につき1回までの回答が可能です。なお、WEB回答により
個人が特定されることはありません。）



アンケート調査についての問合せ先
蒲郡市役所 都市開発部 都市計画課 足立、大塩
電話：0533-66-1142

10～15分程度で終わりますので、是非ご協力ください。

⑥ 自動車の運転免許の保有状況

1. 免許を持っている 2. 免許を持っていない

⑦ 自動車の保有状況

1. 自分の車を持っている 2. 自分を持っていないが、家族が所有している
3. 家族の誰か車を持っていない

問2 買い物や通院の際の主な行先や交通手段について、①～③の項目ごとに回答してください。（わかる範囲で結構です。）

項目	主な行先		主な交通手段 (番号)
	地区 (番号)	具体的な施設名	
①毎日の食料品や日用品			
②衣料品・家電・家具などの日用品以外			
③病院・診療所			

番号を回答欄に記入

地区	
1. 大塚中学校区	2. 三谷中学校区
4. 中部中学校区	5. 塩津中学校区
7. 西浦中学校区	8. 市内（不明）
9. 豊橋市	10. 豊川市
12. 幸田町	13. 西尾市
15. その他市外	16. 出がない

番号を回答欄に記入

主な交通手段	
1. 自家用車（自分で運転）	2. 自家用車（送迎等）
3. タクシー	4. 路線バス（名鉄バス）
5. 支線バス（くろりんバス）	6. 鉄道
7. バイク	8. 自転車
9. 徒歩	10. その他（ ）

問3 鉄道駅を利用する際の目的や移動手段等について、以下の各項目に回答してください。

① 最も利用する駅（あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。）

J R	1. 三河大塚駅	2. 三河三谷駅	3. 蒲郡駅
名鉄	4. 三河塩津駅	5. 蒲郡駅	6. 蒲郡競艇場前駅
	7. 形原駅	8. 西浦駅	9. 三河鹿島駅
	10. その他（ ）		

② 主な利用目的（あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。）

1. 通勤・通学 2. 通院 3. 日常の買い物（日用品・食料品）
4. その他の買い物 5. 知人・友人に会う 6. その他（ ）

③ 利用頻度（あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。）

1. 週3～4日以上 2. 週1～2日 3. 月2～3回程度
4. 月1回程度 5. あまり行かない

④ 駅までの移動手段（あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。）

1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（送迎等） 3. タクシー
4. 路線バス（名鉄バス） 5. 支線バス（くろりんバス） 6. バイク
7. 自転車 8. 徒歩 9. その他（ ）

⑤ 駅までの移動時間（あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。）

1. 5分未満 2. 5分以上～10分未満 3. 10分以上～15分未満
4. 15分以上～20分未満 5. 20分以上

⑥ ①で回答した駅の周辺について、必要だと思う施設は何ですか。

（あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。）

※①で「蒲郡駅」と回答した方は、この問いに回答せずに、次の問4へ進んでください。

1. スーパーや飲食店などの商業施設	2. 病院や診療所などの医療施設
3. 行政サービス、銀行・郵便局などの業務施設	4. 保育所等の子育て支援施設
5. イベントや会議のための集会施設	6. 公園や緑地
7. パンチ等がある屋外でゆつくりできる空間	8. 多くの人が集まることのできる広場
9. 車での送迎が可能な駅前広場	10. 車両が通行しやすい生活道路
11. 歩行空間が確保された生活道路	12. 駐輪場
13. 駐車場	14. その他（ ）

問4 駅を利用する場合に、徒歩で向かおうと思う所要時間は何分程度ですか。

（あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。）

1. 5分未満 2. 5分以上～10分未満 3. 10分以上～15分未満
4. 15分以上～20分未満 5. 20分以上

あなたのお住まいの地区についておたずねします

問5 お住まいの地区がどのようなふうになったら良いと思いますか。

（あてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。）

1. 低層住宅が建ち並び閑静な住宅地
2. マンション等の中高層住宅や、店舗・事務所等があるまち
3. 日用品・食料品・店等や飲食店等が充実しているまち
4. 大型商業店舗やレジャー施設等があるまち
5. 働く場（工場・店舗等）と住宅が一体となったまち
6. 身近な生活基盤（生活道路や子どもの遊び場等）が整ったまち
7. 医療施設（個人病院など）が近くにあるまち
8. 子育て支援施設（幼稚園、保育所など）が近くにあるまち
9. 自然環境が豊かなまち
10. 文化や歴史等を活かしたまち
11. 防災性に優れた安全・安心なまち
12. 今のままでよい
13. その他（ ）

問6 お住まいの地域で、誇りに思う「モノ」や「コト」（文化、歴史、自然、お祭り、地域活動など）について、自由にご記入ください。

【記入欄】

蒲郡市の中心部（蒲郡駅周辺）についておたずねします

問7 蒲郡市の中心部へ、どの程度出かけますか。
(あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。)

1. 週3～4日以上
2. 週1～2日
3. 月2～3回程度
4. 月1回程度
5. あまり行かない

問8 お出かけの主な目的は何ですか。
(あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。)

1. 通勤・通学
2. 通院
3. 通所
4. 日常の買い物(日用品・食料品)
5. その他の買い物
6. 知人・友人に会う
7. 食事
8. 散歩・軽運動
9. 習い事・塾
10. 業務(仕事として)
11. 公共施設の利用
12. 鉄道やバスの利用
13. 送迎
14. お祭り、各種イベント
15. その他 ()

問9 蒲郡市の中心部に重要だと思ふ施設は何ですか。
(蒲郡駅の北側、南側それぞれについて、あてはまるものを3つまで選び、回答してください。)

重要だと思ふ施設	「18. その他」を選択した方は、その内容をご記入ください
北側	(, ,) ()
南側	(, ,) ()

番号を回答欄に記入

重要だと思ふ施設	
1. 気軽に利用できる飲食店	2. スーパーやコンビニ等の店舗
3. 地域密着型の商店	4. 大規模な商業施設
5. 病院や診療所などの医療施設	6. 行政サービス、銀行・郵便局などの業務施設
7. 保育所等の子育て支援施設	8. 高層の都心型居住施設
9. 事務所やオフィス等の働く場所	10. イベントや会議のための集会施設
11. 海沿いの空間を活かした観光施設	12. 公園や緑地
13. 多くの人が集まることができる広場	14. ベンチ等がある屋外でゆっくりできる空間
15. 歩行や自転車で快適に散策できる空間	16. 駐輪場
17. 駐車場	18. その他

問10 蒲郡市の中心部のまちづくりについて、ご意見やアイデア等がありましたらご記入ください。

【記入欄】

まちづくりへの参加意向についておたずねします

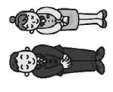
問11 蒲郡のまちづくりのために、あなたが取り組めることは何ですか。
(あてはまるものを全て選び、番号に○をつけてください。)

1. まちのイベント(祭り、運動場、文化祭など)に参加すること
2. まちの清掃・美化活動や防犯・防災活動へ参加すること
3. まちの良さを観光施設、特産品を広くPRすること
4. 市などが主催するまちづくりの講演などへ参加すること
5. 地域のまちづくり組織に出席し、まちを良くする提案や活動すること
6. 地元組織のリーダーとなって、祭りやイベントなどを企画・運営すること
7. 観光ガイドや福祉活動などのボランティア活動すること
8. まちづくり専門の企業やNPO※などをつくること
9. その他の活動 ()
10. どれもできない

※) NPOとは：株式会社などの営利企業とは異なり、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体のことです。

アンケート調査は以上で終了です。
ご協力ありがとうございました。

調査票は、同封の「返信用封筒」に入れて8月31日(火)までにポストへ投函してください。



■参考：アンケート調査票（転出入者アンケート）

「No」																											
転入・転出アンケート 差支えなければ、アンケートにご協力お願いいたします。 いただいた情報は、まちづくりのための調査・統計に活用させていただきます。他の用途には利用しません。																											
【転入する方】転入する前の居住地を記入してください。（転入市からの転入の場合は「豊橋市」） 【転出する方】転出する先の居住地を記入してください。（転出市への転出の場合は「豊橋市」）	☐ 愛知県内 ☐ 愛知県外 ☐ 海外 （市町村名を記入してください）（都道府県名を記入してください） 例：豊橋市、豊川市、岡崎市、幸田町など 例：東京都、大阪府、静岡県など																										
問 8	問 9 【転入する方】引越先として蒲郡市を選んだ理由 【転出する方】引越先として「問8」で答えた市町村を選んだ理由 （当てはまる選択肢の番号を記入してください ※最大3つまで） <table border="1"> <tr> <td>1 通勤(通学)先と距離が近いから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 電車や車での移動が便利そうだから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 出身地だから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 家族や配偶者が住んでいる土地だから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 自然環境が良さそうだから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 子育て環境が良さそうだから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 買い物に便利そうだから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 家賃や地価が安いから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 たまたま良い物件(土地・家)があったから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 災害面で安全そうだから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 治安が良さそうだから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 街のイメージが良かったから</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 特に理由はない</td> <td></td> </tr> </table> 番号で記入（最大3つ）	1 通勤(通学)先と距離が近いから		2 電車や車での移動が便利そうだから		3 出身地だから		4 家族や配偶者が住んでいる土地だから		5 自然環境が良さそうだから		6 子育て環境が良さそうだから		7 買い物に便利そうだから		8 家賃や地価が安いから		9 たまたま良い物件(土地・家)があったから		10 災害面で安全そうだから		11 治安が良さそうだから		12 街のイメージが良かったから		13 特に理由はない	
1 通勤(通学)先と距離が近いから																											
2 電車や車での移動が便利そうだから																											
3 出身地だから																											
4 家族や配偶者が住んでいる土地だから																											
5 自然環境が良さそうだから																											
6 子育て環境が良さそうだから																											
7 買い物に便利そうだから																											
8 家賃や地価が安いから																											
9 たまたま良い物件(土地・家)があったから																											
10 災害面で安全そうだから																											
11 治安が良さそうだから																											
12 街のイメージが良かったから																											
13 特に理由はない																											
問 10	問 11 転入する方のみお答えください。以前、蒲郡市に住んでいたことがありますか？ ☐ はい ☐ いいえ 転出する方のみお答えください。蒲郡市は住みやすかったですか？ ☐ とても住みやすかった ☐ どちらかと言えば住みやすかった ☐ どちらかと言えば住みづらかった ☐ 住みづらかった																										
ご協力ありがとうございました。 ご記入いただいたアンケートは、職員にお渡しただくか、市民課フロアーに備え付けのアンケート用紙投函箱にお入れください。																											

